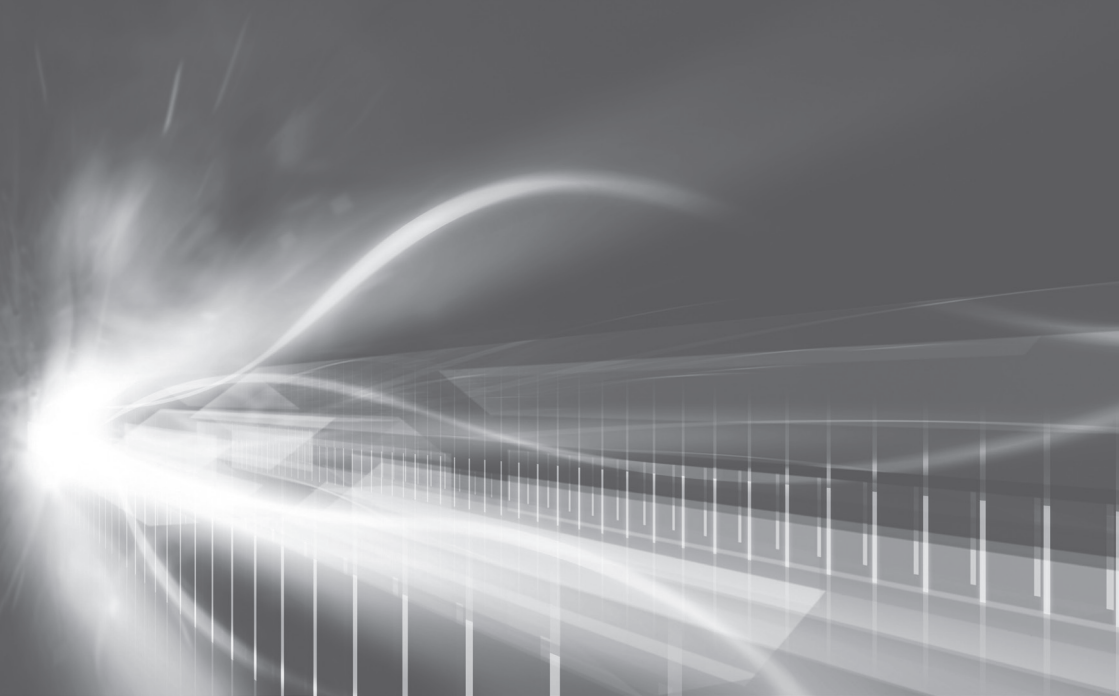




ナビゲーション 取扱書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。



ナビゲーション	・地図画面を使用するには ・地図を検索するには ・ルート案内させるには	1
音声操作システム	・ナビゲーションや電話を音声で操作するには	2
T-Connect (T-Connect ナビキット装着車)	・T-Connect を利用するには	3
ETC/ETC2.0 システム	・ETC2.0 システムを利用するには ・ETC システムを利用するには	4
ご参考に	・アフターサービスの情報など	5
さくいん	・五十音で検索 ・アルファベットで検索	

知っておいていただきたいこと	4
本書の見方	6
検索のしかた	7
本書の使い方	8

1 ナビゲーション

1-1. ナビをお使いになる前に	
ナビゲーションについて	10
1-2. 基本操作	
地図画面を操作する	12
ルート案内をする	13
自宅を登録する	14
地図画面について	15
1-3. 地図の操作	
地図の表示／設定	18
1-4. 情報について	
VICS・交通情報を使う	35
交通ナビ関連情報について	57
1-5. 目的地を探す	
目的地の検索	59
検索した地図の操作	68
目的地を設定してルート探索	71
全ルート図表示について	76
目的地案内の開始／中止	80
ルート案内について	81
ルートの再探索	90
ルートを変更する	92
1-6. 地点の登録	
メモリ地点を登録する	102
1-7. ナビを使いこなす	
ナビゲーションの設定	113
安全・快適走行の設定	130
NaviCon（スマートフォン連携）	139
先読みエコドライブ	141
1-8. 知っておいていただきたいこと	
GPS について	143
地図データ情報	146

こんなメッセージが表示されたとき	149
故障とお考えになる前に	152

2 音声操作システム

2-1. 音声操作システムについて	
音声操作システム	156
2-2. 音声認識の操作	
音声認識を利用する（T-Connect 契約がないとき）	158
音声認識コマンド一覧	160
音声認識の設定	165

3 T-Connect (T-Connect ナビキット装着車)

3-1. はじめに	
T-Connect について	168
3-2. T-Connect トップ画面	
T-Connect トップ画面	169
3-3. 画面操作の説明	
T-Connect Viewer	170
TC 情報マークを表示する	173
3-4. サービスの使い方	
マップオンデマンド（地図差分更新）	174
ハイブリッドナビ	181
T ルート探索（プローブ情報付）	182
オペレーターサービス	184
エージェント	187
渋滞予測を表示する	191
WEB で目的地を検索する	195
G メモリ地点	196
T-Connect の Apps を使用する	197
3-5. 各種登録・設定	
T-Connect 設定を変更する	201
契約内容・契約者情報の確認・変更	206

3-6. ESPO

ESPO について 208

4 ETC/ETC2.0 システム

4-1. ETC2.0 ユニット (VICS 機能付)

ETC2.0 サービスについて 210

4-2. ETC システム

ETC サービスについて 212

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの
操作..... 217

ETC/ETC2.0 画面の操作..... 227

エラーコードについて 232

道路事業者からのお願い..... 235

お問合せ先一覧 241

5 ご参考に

5-1. 参考情報

アフターサービスについて 244

お手入れについて 244

さくいん

五十音順さくいん 246

アルファベット順さくいん 250

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

- 本書は、ナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱書およびマルチメディア取扱書とあわせてお読みください。
- トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- 本書に記載されているサービスや仕様は、予告なく変更あるいは終了する場合があります。
- 本書の内容は、仕様変更やソフトウェアの更新などによりお車と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の画面と実際の画面は、装備や契約の有無・地図データの作成時期等によって異なります。
- 操作状況によっては、画面の切り替えに時間がかかったり、黒画やちらつきが生じることがあります。
- 別冊「マルチメディア取扱書」の2章「本機の操作」には、各機能共通の操作内容、およびはじめに設定しておくことがまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章からお読みになることをおすすめします。
- 本書に記載されている会社名・商品名等は、各社の商標及び登録商標です。

- お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。

ナビゲーションについて

ナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するとき、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

販売店装着オプションについて

以下の装備は、販売店装着オプションです。

- T-Connect ナビキット
- エントリーナビキット
- ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ（光ビーコン機能付）
- ETC車載器（ビルトイン）ナビキット連動タイプ

お車を手放す際は

- お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず個人情報の初期化を実施してください。詳しくは、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。
- T-Connectをご利用のお客様につきましては、ご契約内容を確認のうえ、必ず解約手続きを行ってください。詳しくは、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

リコール等の大切なお知らせについて※

※ T-Connect ナビキット装着車

トヨタまたはトヨタ販売店からリコール情報等、お車に関する大切なお知らせを T-Connect 利用契約の有無にかかわらず、通信モジュール (DCM) を利用して、リモートメンテナンスメールによりお送りする場合があります。あらかじめご了承ください。

QRコードについて

QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

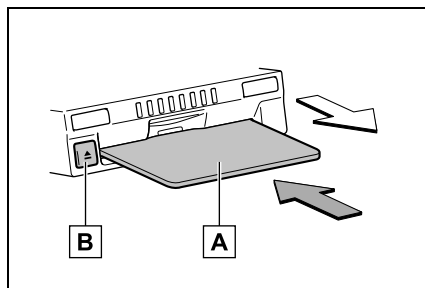
本書の見方

本書で使用している記号について説明します。

本文の記号について

記号	意味
	警告： お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。
	注意： お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。
	操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。
	機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

イラスト上の記号について



記号	意味
	押す、まわすなど、していただきたい操作を示しています。
	フタが開くなど、操作後の作動を示しています。

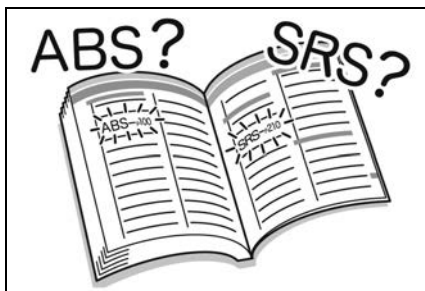


記号	意味
	説明の対象となるもの・場所を示しています。

検索のしかた

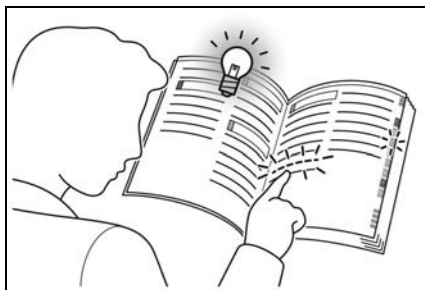
■ 名称から探す

- 五十音順さくいん：→P.246
- アルファベット順さくいん：→P.250



■ タイトルから探す

- 目次：→P.2



本書の使い方

画面外の操作スイッチ、メニュー画面、ディスプレイ等の操作は、別冊「マルチメディア取扱書」に記載されています。本書は、別冊「マルチメディア取扱書」とあわせてお読みください。

1-1. ナビをお使いになる前に	
ナビゲーションについて	10
1-2. 基本操作	
地図画面を操作する	12
ルート案内をする	13
自宅を登録する	14
地図画面について	15
1-3. 地図の操作	
地図の表示／設定	18
1-4. 情報について	
VICS・交通情報を使う	35
交通ナビ関連情報について	57
1-5. 目的地を探す	
目的地の検索	59
検索した地図の操作	68
目的地を設定してルート探索	71
全ルート図表示について	76
目的地案内の開始／中止	80
ルート案内について	81
ルートの再探索	90
ルートを変更する	92
1-6. 地点の登録	
メモリ地点を登録する	102
1-7. ナビを使いこなす	
ナビゲーションの設定	113
安全・快適走行の設定	130
NaviCon（スマートフォン連携）	139
先読みエコドライブ	141
1-8. 知っておいていただきたいこと	
GPS について	143
地図データ情報	146

こんなメッセージが表示されたとき	149
故障とお考えになる前に	152

ナビゲーションについて

目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

知っておいていただきたいこと

□ 知識

- 走行するときは、実際の交通規制に必ずしたがってください。
- 安全のため、走行状態になると操作できなくなる機能があります。
- 目的地案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行けるルートなどではありません。
- 道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(→P.128)
このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- 自転車位置マークは、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。
このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

- 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されている（自転車位置マークがずれている）ことがあります。

- ・ 人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自転車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自転車位置マークがずれることがあります。

ただし、地図の自転車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチング※や GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

「ナビの精度について」もあわせてご覧ください。(→P.143)

- ※ マップマッチングとは、GPS 情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自転車位置マークを表示させるシステムです。

 警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
- 走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートが表示されることがあります。

**ナビゲーション用アンテナ
(GPS アンテナ) について**

インストルメントパネル中央付近に内蔵されています。

 注意

- インストルメントパネル上やウィンドウガラス面には、次の物を設置しないでください。ナビゲーションシステム本来の性能が発揮できないおそれがあります。
 - ・ 金属を含有するウインドウフィルム
 - ・ その他の金属物（トヨタ純正品以外の電子機器やアンテナなど）
- 詳しくは「GPS について」（→P.143）をご覧ください。

地図画面を操作する

地図に現在の車の位置を表示する

1 “MAP” スイッチを押す。

- 現在の車の位置  が表示されます。



■ 地図画面の表示について

次のような表示をすることもできます。

- 地図の向きをかえる (→P.21)
- 地図を立体的に表示する (→P.21)
- 地図の表示色をかえる (→P.115)
- 市街図を表示する (→P.20)

地図を動かす

1 地図を選択。



- 選択した位置が画面の中央に移動します。



- “MAP” スイッチを押すと、現在地に戻ります。

地図を拡大／縮小する

■ 地図を拡大する

1  を選択、またはピンチアウト操作をする。タッチスクリーンの操作方法については、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

■ 地図を縮小する

1  を選択、またはピンチイン操作をする。タッチスクリーンの操作方法については、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

ルート案内をする

目的地を決める

- 1 “MAP” スイッチを押す。
- 2 “目的地” を選択。
- 3 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。(→P.59、68)



- 4 “目的地セット” を選択。
- 5 “案内開始” を選択。

ルート案内を中止する

ルート案内中に寄り道をしたいときなどには、ルート案内を中止することができます。中止しても目的地は消去されません。

- 1 “MENU” スイッチを押す。
 - 2 “設定・編集” を選択。
 - 3 “ナビ” を選択。
 - 4 “案内中止” を選択。
- 案内を再開するときは、“案内再開” を選択。

目的地を消去する

ルート案内が不要になったときには、目的地を消去することができます。

- 1 “MAP” スイッチを押す。
- 2 “目的地” を選択。
- 3 “目的地消去” を選択。
- 4 “はい” を選択。

自宅を登録する

自宅を登録する

- 1 “MAP” スイッチを押す。
- 2 “目的地” を選択。



- 3 “自宅登録” を選択。



- 4 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。
(→P.59、68)
- 5 “セット” を選択。

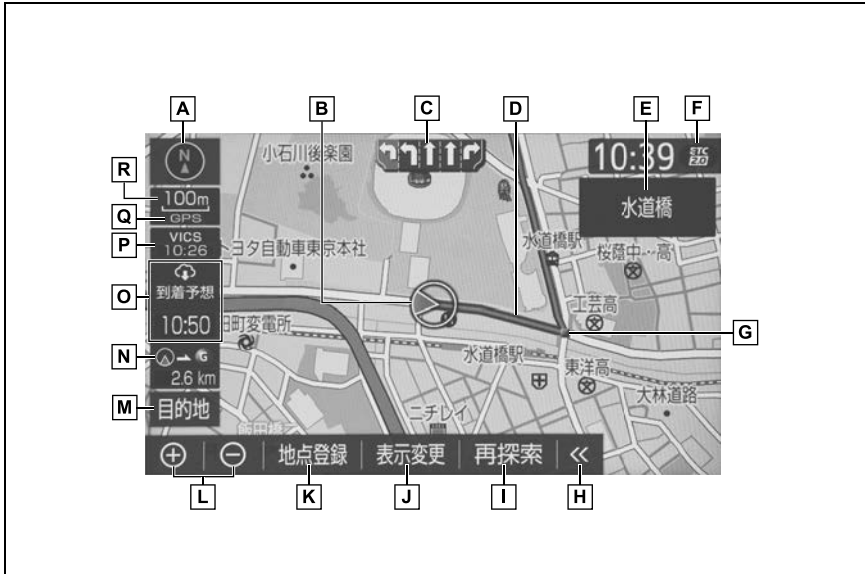
自宅を目的地に設定する

- 1 “MAP” スイッチを押す。
- 2 “目的地” を選択。
- 3 “自宅に帰る” を選択。

地図画面について

地図画面を表示するには“MAP”スイッチを押します。

地図画面の見方



A 方位マーク (→P.21)

地図の方角を表示します。



：ノースアップ表示



：ヘディングアップ表示



：3D 表示

・ 地図向きの切り替えについては、「地図の向きを切り替える」を参照してください。

B 自車位置マーク (→P.12、18)

現在位置と車が向いている方角を表示します。

C レーン（車線）表示

通過・分岐する交差点の車線を表示します。（地図データに情報のある交差点のみ）

・ 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示されます。

D ルート表示 (→P.71、116)

目的地を設定したとき、目的地までのルートを表示します。

・ ルートの表示色の設定については「ルートの色を設定する」を参照してください。

E 名称表示

状況により次のものを表示します。(地図データに情報のある地点のみ)

- ・ 通過・分岐する交差点の名称
- ・ 走行している道路の名称
- ・ 通過する IC・SA・PA の名称 (高速道路を走行しているときのみ)
- ・ 分岐する IC・JCT の方面名称 (高速道路を走行しているときのみ)

F ETC/ETC2.0 表示 ※ (→P.228)

ETC カードが挿入されると表示されます。

G 案内ポイント

目的地案内中、通過・分岐する交差点に表示されます。

H オフスイッチ

地図上のスイッチ類の表示を少なくすることができます。

- ・ もう一度押すと再表示できます。
- ・ このスイッチを選択したときに表示するスイッチ類を設定できます。(→P.125)

I 再探索スイッチ (→P.90)

ルートの再検索画面を表示し、目的地の追加などを設定できます。

J 表示変更スイッチ (→P.22)

表示変更画面を表示し、周辺施設の表示設定などを設定できます。

K 地点登録スイッチ (→P.105)

現在表示している地点をメモリ地点として登録します。

L 拡大／縮小スイッチ (→P.19)

地図の表示を拡大／縮小します。

M 目的地スイッチ (→P.59)

目的地の検索画面を表示します。

N 残距離表示 (→P.86)

現在地から目的地までの距離を表示します。

- ・ 表示されているルートを通っての距離を表示します。ルートからはずれたときは、直線距離を表示します。
- ・ 残距離表示の切り替えについては、「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」を参照してください。

O 到着予想時刻表示／目的地方向マーク (→P.86、119)

状況により次のマークを表示します。

到着予想時刻表示  (アナログ)  (デジタル)

目的地への到着予想時刻を表示します。

- ・ 到着予想時刻表示の切り替えについては、「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」、「到着予想時刻の表示を切り替える」を参照してください。

目的地方向マーク

- ・ ルートからはずれたとき、目的地の方向を表示します。

P VICS タイムスタンプ (→P.36)

VICS・交通情報が発信されている地域で、VICS・交通情報が提供された時刻を表示します。

- ・ ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色が変わります。

Q GPS マーク (→P.143)

人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに表示されます。

- ・ GPS マークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。

R スケール表示 (→P.19)

表示させている地図の縮尺を表示します。

- ・ スケール表示については、「地図のスケール表示について」を参照してください。

※ ETC 車載器（ビルトイン）ナビキット連動タイプ装着車／ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ（光ビーコン機能付）装着車

知識

- 本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、GPS マーク非表示、VICS 非表示の画面を使用しています。

地図の表示／設定

現在位置表示や地図のスクロールなど、地図表示に関する基本操作について説明します。

現在の車の位置を表示する

- 1 “MAP” スイッチを押す。
- 2 現在地地点が表示される。



□ 知識

- 現在地画面で、“MAP” スイッチを押すと、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。
- 走行中は表示される道路が制限されます。(幅 5.5m 未満の道路などは表示されません。) ただし、幅 5.5m 未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。
- 新車時、および 12V バッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自転車位置マーク  が表示されている (自転車位置マーク  がずれている) ことがあります。ただし、地図の自転車位置マーク  がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。)

GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。(→P.127)

- 地図データに情報がないときは、路線名・路線番号は表示されません。
- 200m 図より広域な地図を表示しているときは、路線名は表示されません。

地図のスケール（縮尺）を切り替える

- 1 ☐ **+** (拡大) または ☐ **-** (縮小) を選択。



- ピンチアウト／ピンチイン操作でも縮尺を切り替えることができます。タッチスクリーンの操作方法については、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。
- 13段階に切り替えることができます。
- ・を長押しすると無段階に縮尺が切り替わります。
- またはを選択するとスケールバーが表示されます。スケールバー上の数字を直接選択しても縮尺を切り替えることができます。

知識

- 目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルート表示縮尺に切り替えることができます。(→P.86)
- 1/2048 万図～ 1/5 千図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。
- 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、または スケールバーの数字を選択して縮尺を切り替えることはできません。

地図のスケール表示について

地図左上に表示される  の  の長さが約 100m であり、表示されている地図が 1/1 万縮尺であることを示しています。



スケール表示	縮尺
	1/2500
	1/5 千
	1/1 万
	1/2 万
	1/4 万
	1/8 万
	1/16 万
	1/32 万
	1/64 万
	1/128 万
	1/256 万
	1/512 万
	1/1024 万
	1/2048 万

知識

- 1/2500 図は市街図表示 (→P.20) に切り替えたとき、表示することができません。

市街図を表示する

- 1/5 千図表示中 (スケール表示が 50m) のとき **+** を選択。



- 市街図表示には 1/5 千市街図と 1/2500 市街図があります。
+・**-** を選択、またはピンチイン/ピンチアウト操作をして切り替えます。
- 市街図表示を解除するときは、1/5 千市街図表示中に **-** を選択、またはピンチイン操作をします。

知識

- 地図データに情報がないときは、市街図は表示されません。
- 市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。
- 1/2500 市街図にすると **→** (一方通行) を表示します。

地図の向きについて

▶ ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示します。



▶ ヘディングアップ表示

車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。



▶ 3D 表示

地図を立体的に表示させることができます。3D 表示に切り替えているときは、車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。



地図の向きを切り替える

- 1  (ノースアップ表示)、 (ヘディングアップ表示) または  (3D 表示) を選択。



- 選択することにより、ノースアップ表示・ヘディングアップ表示・3D 表示に切り替わります。

知識

- 3D 表示の角度を調整することができません。(→P.113)
- ヘディングアップ表示と 3D 表示は、現在地画面以外の地図(目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など)にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示または 3D 表示に復帰します。

3D 表示の地図を回転する

- 1 地図上を選択。
- 2  (時計まわり)、 (反時計まわり) を選択し、地図を回転する。

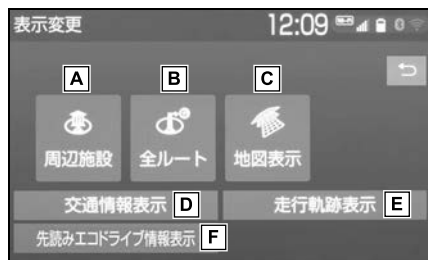


知識

- 現在地画面にすると、もとの表示状態(回転前の状態)に復帰します。

表示変更画面

- 1 地図画面上の“表示変更”を選択。
- 2 希望の項目を選択。



A 周辺施設 (→P.24)

地図上に表示する施設記号を設定することができます。

B 全ルート (→P.76)

全ルート図画面を表示することができます。

C 地図表示 (→P.26、P.33)

地図画面の表示方法を変更することができます。

D 交通情報表示 (→P.37)

交通情報の表示設定をすることができます。

E 走行軌跡表示 (→P.27)

走行した経路(軌跡)の表示／非表示を切り替えることができます。

F 先読みエコドライブ情報表示／解除★ (→P.141)

先読みエコドライブ情報の表示／非表示を切り替えることができます。

★: 車種、グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

地図を動かす

▶ スライドタッチ

地図上をタッチし、スライドまたはフリック操作で地図を動かします。

- タッチスクリーンの操作方法については、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。
- スライド操作の時は、指の動きに合わせて地図が動きます。
- フリック操作をした時は、指を払った方向に地図がスクロールします。
- ・ スクロールする量は、払う速度により変化します。
- ・ スクロールは、自動で止まります。スクロール中に画面にタッチしても止めることができます。

□ 知識

- 走行中は、スライドタッチができません。

▶ 通常のタッチ操作

選択した地点が画面の中心になるように地図を動かすことができます。地図データに情報があるときは、画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。

1 地図上の地点を選択。

- 選択した地点が画面の中心になるように移動します。
- 地図を移動させた場所または施設を目的地に設定、メモリ地点に登録することができます。また、施設に情報がある場合は表示することができます。(→P.23、73、105)

- “MAP” スイッチを押すと、現在地に戻ります。

知識

- 地図を動かすと、現在地からの直線距離が表示されます。



- 走行中は安全のため、一定の速度でしか移動しません。また、走行中で市街図(→P.20)を表示しているときは、地図を移動することはできません。
- 地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。この場合、“MAP”スイッチを押し現在地の表示にすると、地図が動くようになります。
- 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え(→P.21)ができないことがあります。
- 地図データに情報があるときは、画面中央付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。地名の表示は、地図の移動をやめると、約6秒後自動的に消えます。
- 路線名は、200m図より広域な地図を表示しているときは、表示されません。

施設の情報を表示する

地図画面上の施設などの情報を確認することができます。

- 1 地図表示中、施設アイコンなどをカーソルで選択。
- 2 “情報”を選択。



- 施設によっては“情報”が表示されない場合もあります。

施設記号を表示する

ガソリンスタンドなどの施設記号を地図上に表示することができます。



- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
- 2 “周辺施設”を選択。
- 3 施設のジャンルを選択。



- 5つまで選択することができます。
- 表示されている以外のジャンルを選択するときは、“全ジャンル” → 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順に選択します。
- 施設記号の表示を個別に消去するときは、選択済みの施設のジャンルを選択します。すべて消去するときは、“表示解除”を選択します。
- “TC 情報マーク表示” は、T-Connect を利用しているときのみ使用できます。詳しくは、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

知識

- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 1/8 万図より広域の地図には表示されません。(全ルート図表示画面を除く)
- 表示することができる施設は、自転車位置マーク  または  から半径約 10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)
- 施設記号の表示／消去はナビ詳細設定画面でも設定できます。(→P.115)
- 複数の表示施設を同時に表示させることができない場合、“+” マーク付きの施設記号が表示されます。地図の縮尺を拡大することにより、複数の施設記号を表示させることができます。また“+” マーク付きの施設記号を選択するごとに、表示されていない他の施設記号の情報が表示されます。
- ナビ詳細設定の周辺施設表示からも表示施設の設定を行うことができます。(→P.115)

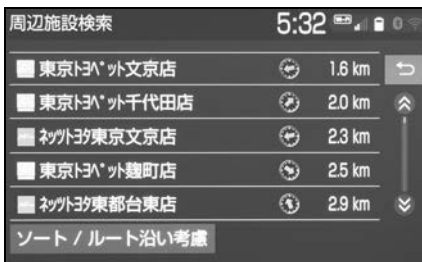
- 避難所[※] は自治体が整備・公表している指定緊急避難所の情報を元に収録しています。災害の種類によって開設される避難所が異なるため、災害時に避難所開設されているかは直接自治体にご確認ください。

[※] T-Connect ナビキット装着車

近くの施設を検索する

現在地周辺にある施設記号の名称と距離を知ることができます。

- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
- 2 “周辺施設”を選択。
- 3 検索する施設記号を選択。
- 4 “施設検索”を選択。
- 5 施設名称を選択。



- 表示されている矢印は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。
- “ソート / ルート沿い考慮”を選択することで以下の並べ方をすることができます。

- ・ “距離順”：自車位置マークまたはから近い施設の順
- ・ “種類順”：施設記号順

- 6 選択した施設の地図が表示される。

- “情報”を選択すると、施設の内容が表示されます。(→P.69)

知識

- 検索することができる施設は、自車位置マークまたはから半径約10km以内にある施設のみです。(最大200件まで)
- 施設によっては、内容が表示されない

施設もあります。

ルート沿いにある施設のリストを表示する

- 1 目的地設定中の地図画面で“表示変更”を選択。
- 2 “周辺施設”を選択。
- 3 “施設検索”を選択。
- 4 “ソート / ルート沿い考慮”を選択。
- 5 “ルート沿い考慮”を選択。



- 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右のどちらの方向にあるかを表示します。

知識

- 表示することができる施設は、ルート沿いにある施設のみです。

立体ランドマーク施設情報を表示する

- 1 地図表示中、立体ランドマークにカーソルをあわせて選択。
- 名称と現在地からの直線距離が表示されます。
- 2 “情報” を選択。



画面を分割表示する

画面を左右2分割して表示することができます。画面の分割表示および右画面の表示設定はナビ詳細設定画面でも設定できます。(→P.113)

- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
- 2 “地図表示”を選択。
- 3 “地図2画面”を選択。
- 解除するときは“地図1画面”を選択します。

右画面を地図画面から設定する

- 1 右画面の地図上を選択。
- 2 右画面の設定をする。



- 周辺施設表示、VICS 表示については、「地図表示設定をする」(→P.113)をご覧ください。

走行した経路を表示する（走行軌跡）

走行した道路を約 1000km 分保存し、軌跡を表示することができます。



- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
- 2 “走行軌跡表示”を選択。

- 走行軌跡を消去するときは、“走行軌跡解除”→“はい”の順に選択します。

知識

- 保存できる距離を超えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。
- 1/2500図～1/512万図で表示することができます。
- 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

地図記号・地図表示について

表示	内容
 (紫色)	高速道路 (都市高速道路・有料道路を含む)
 (淡黄)	国道
 (白色)	主要道・都道府県道・一般幹線道
	トンネルまたは整備計画区間 (各道路で表示色は異なります。)
	私鉄
	JR
 (青色)	水域
	都道府県界
 (緑色)	緑地
 (薄茶色)	駅舎・敷地

知識

- 選択した地図色によって、道路の表示色は異なります。(→P.115)
- VICS・交通情報を表示する設定になっているときは、道路の表示色が異なります。(→P.37)

表示	内容
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京 23 区役所
	町村役場・東京以外の区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
	IC (インターチェンジ)
	SA (サービスエリア)
	PA (パーキングエリア)
	スマート IC (ETC 専用インターチェンジ)
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
	幼稚園
	病院・医院

表示	内容
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリーナ・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園

表示	内容
	温泉
	山
	その他の施設
	通常の踏み切り
	ボトルネック踏み切り ※
	トヨタ販売店・トヨタ共販店
	ネット店
	ダイハツ販売店
	トヨタ L & F
	GR ガレージ

※ 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

知識

- 地図データに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成しています。
- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して 1 つのマークで表示されることがあります。

DSSS (Driving Safety Support Systems) 運転支援機能について ※

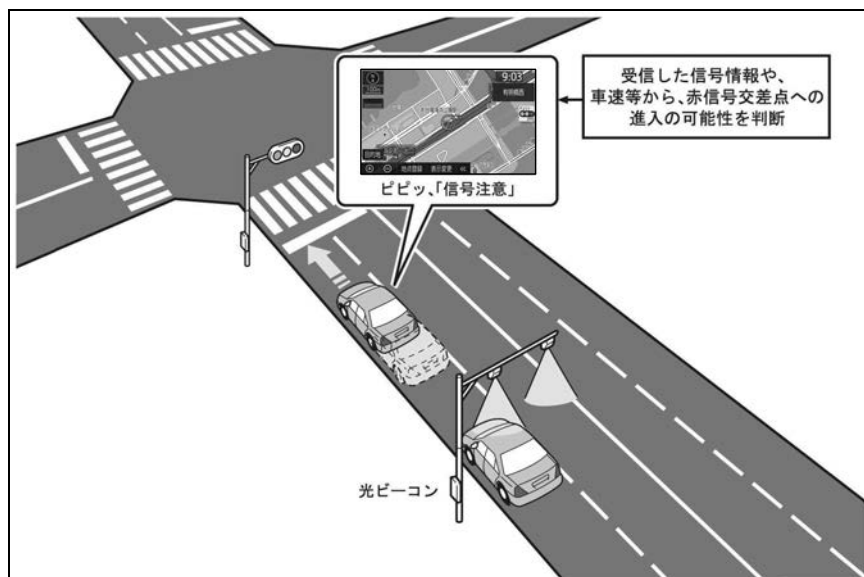
※ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ（光ビーコン機能付）装着車

DSSS (Driving Safety Support Systems) は、ドライバーの認知・判断の遅れや誤りを低減するための運転支援機能です。

見通しの悪い周辺の状況や、信号または標識などの交通規制情報を、道路上に設置された DSSS 用光ビーコンから受信し、車の走行状態や受信情報から、必要に応じてドライバーに周辺の危険要因に対する注意を促します。

DSSS では、次のような案内・注意喚起を行います。

- 一時停止注意喚起
- 赤信号注意喚起
- 信号待ち発進準備案内
- 前方停止車両存在案内
- わき道車両存在案内



- 本サービスの対象交差点などの DSSS に関するお問い合わせについては、「VICS・ETC2.0 (ITS スポット)・DSSS の問い合わせ先について」(→P.49) をご覧ください。
- DSSS に関する規格は、一般社団法人 UTMS 協会によって策定されています。また、DSSS のシステム定義は DSSS 有識者懇談会によって策定されています。本製品はそれらに基づいて作られています。

警告

- DSSS 運転支援機能はあくまでも補助機能です。
案内・注意喚起を過信せず、常に道路標識・表示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知識

- 運転支援情報を受信したときは、ナビゲーション画面の右上に案内マークが表示されます。
- ITS Connect ★を装着した場合、DSSS の案内・注意喚起は、ブザー音とともにマルチインフォメーションディスプレイなどに表示されます。また、DSSS の設定項目は、マルチインフォメーションディスプレイで設定できます。詳しくは、別冊「取扱書」をご覧ください。
- ナビゲーション画面の右上に表示される案内マークは、一定時間経過または支援対象区間通過後に消えます。
- 表示中の画面によっては、案内マークが表示されない場合があります。
- 以下のような場合は、DSSS 機能が作動しないことや、案内・注意喚起の内容が実際の道路状況と異なる場合があります。
 - ・ ビーコンユニットの上に物を置いたり、窓が汚れたりして、DSSS 用光ビーコンとの通信が遮られたとき
 - ・ DSSS 用光ビーコンに木の葉や雪などが付着して、通信が遮られたとき
 - ・ 雨天時等、ワイパーが作動して DSSS 用光ビーコンの通信が遮られたとき
 - ・ DSSS 用光ビーコンやビーコンユニットに太陽光などが差し込んだとき
 - ・ DSSS 用光ビーコンの通信エリアに駐車車両があり、通信できないとき
 - ・ DSSS 用光ビーコンの通信エリアに他の車両と並走して進入したとき
- ・ DSSS 用光ビーコンや感知器、信号機など路側装置の機器メンテナンス作業や故障などによって、通信ができないとき、または誤った情報が本機に提供されたとき
- ・ DSSS 用光ビーコン通過時の速度が著しく速いとき
- ・ DSSS 用光ビーコンの近くに他の光ビーコンが設置されているとき
- ・ DSSS 用光ビーコンヘッドの向きが変わってしまっているとき（台風等）
- ・ 車両始動直後に DSSS 用光ビーコンを通過したとき
- ・ 本機に故障等があり、受信した情報を正しく処理できないとき
- ・ システムの誤差などでナビゲーションが現在地を特定できないとき
- ・ 遅い速度で走行しているとき
- ・ サービス対象地点の地図データがないとき
- ・ 自車位置が特定できないとき
- ★：車種、グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ハイウェイモードについて

高速道路（都市高速を除く）に入ると、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

目的地案内中は、都市高速または一部の有料道路に入っても、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

目的地案内中に、降りる IC の先の施設を表示したり、降りる IC を変更することができます。（→P.32）



A 施設の名称を表示。（目的地案内をさせていないときは、最大10カ所まで）

B 通過予想時刻を表示。

C 現在地からの距離を表示。

D VICS・交通情報を受信したとき、赤色（渋滞）、黄色（混雑）を表示。

・「VICS・交通情報の表示設定」（→P.37）で、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。

E 施設（SA・PAのみ）にある設備を、最大6つまで表示。

・ガソリンスタンドは先頭に表示されます。
・6つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークがあります。

F 表示区間を切り替えているときに“現区間”を選択すると、自車が走行している区間に戻る。

G 道路の名称を表示。

H ▲または▼を選択すると、表示区間が切り替わる。

■ 降りる IC より先の施設を表示する

目的地案内中でも、ハイウェイモードの画面にて降りる IC より先にある高速道路上の施設を表示させることができます。

1 ハイウェイモード表示中に

▲を選択して、出口 IC の上に表示される“降りる IC の先を表示”を選択。

■ 降りる IC を変更する

目的地検索にて設定された出口 IC 以外を降りる IC に設定することができます。

1 ハイウェイモード表示中に

▲を選択して、出口 IC に設定したい IC を選択。

● 選択した IC を解除するときは、“解除”を選択します。

2 “ここで降りる”を選択。

□ 知識

● 施設によっては出口に設定できないことがあります。

設備のマークについて

記号	内容
	ハイウェイ情報ターミナル
	トイレ
	スナックコーナー
	ショッピングコーナー
	お風呂、シャワー
	キャッシュコーナー
	仮眠休憩施設
	ハイウェイオアシス
__※	ガソリンスタンド
	レストラン
	ベビーコーナー
	ドッグラン
__※	コンビニ
	オストメイトトイレ
	スマート IC (ETC 専用インターチェンジ)

※ 固有のロゴマークが表示されます。



知識

- 反対車線の情報は表示されません。
- 通過予想時刻は設定した平均車速 (→P.118) から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- SA・PA に入るなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモー

ド表示が解除されることがあります。

- 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面 (→P.34) が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

ハイウェイモード表示を解除する

- 1 地図表示中に “表示変更” を選択。
 - 2 “地図表示” を選択。
 - 3 “高速略図解除” を選択。
- ハイウェイモードに戻すときは、“表示変更” → “地図表示” → “高速略図表示” を選択します。

高速分岐案内表示について

目的地案内中、分岐点（出口 IC・SA・PA・JCT）が近づくと、高速分岐案内が表示されます。



- A** IC の出口名称、SA・PA 名称または JCT の方面名称を表示。
- B** 分岐点までの距離を表示。（分岐点に近づくとともに画面右側に表示されている青色のゲージが短くなります。）
- C** 高速分岐案内画面を解除。高速分岐案内画面に戻すときは、“MAP” スイッチを押します。

知識

- 地図データに情報のない分岐点では、高速分岐案内画面は表示されません。また、高速分岐案内画面が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。
- 目的地案内直後や目的地周辺では、高速分岐案内が行われない場合があります。
- 高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐点に近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。

VICS・交通情報を使う

地図上に VICS 記号 (→P.55) を表示することができます。以下は表示例です。

● 現況情報：——(赤色：渋滞)、——(橙色：混雑)、——(水色：すいている道路)

● 統計情報：====(赤色：渋滞)、====(橙色：混雑)、====(水色：すいている道路)

▶ 通常の地図



▶ ハイウェイモード



□ 知識

- 表示させるには、「VICS・交通情報の表示設定」(→P.37) をご覧ください。

VICS・交通情報について

VICS・交通情報には、現況情報と統計情報があります。

□ 知識

- 現況情報と統計情報を同時に表示する設定にしている場合は、現況情報を優先して表示します。
- 現況交通情報・統計情報は表示されない地点があります。また、地図差分更新 (→P.174) などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。
- 提供される現況交通情報・統計情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。
- 交通情報量が多い場合は、表示までに時間がかかります。
- 1/16 万図より広域な地図では、交通情報は表示されません。

現況情報について

■ 現況 VICS 情報

VICS センターから提供される現況の情報です。

□ 知識

- 現況情報は、1/16 万図より詳細な地図で表示することができます。VICS 記号によっては、1/16 万図では表示できない記号もあります。
- 現況交通情報は、T ルート探索 (→P.182) すると取得することができます。

■ 現況交通情報

トヨタスマートセンターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報です。(→P.182)

統計情報について

過去の交通情報を統計処理した情報です。

□ 知識

- この情報は、地図データに収録されています。現況情報が受信できないときでも、日時・時間帯に応じた情報を表示できます。
- 統計情報は、1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。

タイムスタンプについて

タイムスタンプを選択すると、現況情報の提供時刻や渋滞情報、渋滞・規制音声案内を出力することができます。(→P.39)



時刻表示について

- 現況情報が提供された時刻を示しています。(現況情報が受信された時刻ではありません。)
- 現況情報が継続して受信されないと、約 30 分後に自動的に消去され、[-:-:-] の表示になります。現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が [-:-:-] になります。
- エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ON にした直後など、現況情報が受信されるまでは、[-:-:-] の表示になります。

色について

目的地案内中で現在地がルート上にあるとき、ルート上（約10km以内）に現況情報があると色が変わります。

スイッチ	内容
赤色 (8:00)	渋滞情報
橙色 (8:00)	混雑情報
黄色 (8:00)	交通規制情報

文字表示について

現況 VICS 情報を受信すると「VICS」、現況交通情報を受信すると「交通情報」と表示します。

知識

- 現況 VICS 情報・現況交通情報の両方が受信されていないときは、「交通情報」が灰色になります。
- 1/16 万図より広域な地図では「交通情報」と表示します。
- エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ON にした直後など、現況情報が受信されるまでは「交通情報」と表示します。
- 現況 VICS 情報と現況交通情報を同時に表示できるときは、「VICS」と表示します。

VICS 記号の内容を表示する

- 1 地図上の規制情報、または施設情報（→P.55）の記号を選択。

知識

- VICS 記号によっては、内容が表示されないこともあります。

VICS・交通情報の表示設定

- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
- 2 “交通情報表示”を選択。
- 3 VICS・交通情報を表示する道路を選択。



- A** 高速道路・一般道路に表示
 - B** 一般道路のみに表示
 - C** 高速道路のみに表示
 - D** 交通情報を表示しない
- VICS・交通情報を表示したときは、タイムスタンプが表示されます。

知識

- ハイウェイモード（→P.32）では、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報が表示されます。

表示する VICS・交通情報を選択する

- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
- 2 “交通情報表示”を選択。
- 3 “種類”タブを選択。
- 4 表示する VICS・交通情報を選択。



- A** 現況情報を利用した渋滞・混雑している道路の表示
- B** 規制情報がある道路の表示
- C** 充電施設情報の表示
- D** 現況情報を利用した空いている道路の表示
- E** 駐車場情報の表示
- F** 統計情報を利用した渋滞・混雑している道路の表示
- G** 統計情報を利用した空いている道路の表示

- 作動表示灯が点灯している項目が表示されます。

知識

- 渋滞・混雑、空き道は統計情報を表示することができます。また、現況情報と統計情報を同時に表示することもできます。ただし、同じ地点に両方の情報があるときは、現況情報を優先して表示します。

- 充電施設情報は 2022 年 12 月現在、提供されていません。

渋滞・規制音声案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）の現況情報を音声案内させることができます。

音声案内の例：

- ▶ VICS 表示がある地点
「およそ 1km 先渋滞があります」
- ▶ VICS 記号のある地点
「およそ 5km 先電気工事のため車線規制中です」

知識

- 渋滞・規制音声自動発声の出力する／しないを設定できます。（→P.120）
- 音声案内はあくまでも参考としてください。
- 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

渋滞・規制音声案内を再出力する

一度音声案内が出力されるとタイムスタンプが点灯し、操作することができます。

1 タイムスタンプを選択。



知識

- VICS 渋滞・規制音声自動発声を「しない」に設定していても、タイムスタンプが点灯していれば、選択すると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。

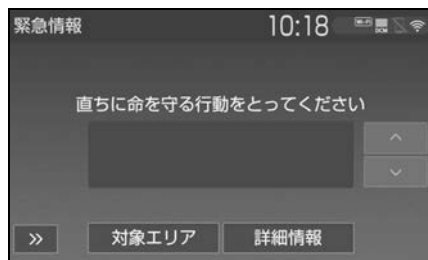
VICS 図形情報・文字情報を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
 - 2 “情報” を選択。
 - 3 “VICS” を選択。
 - 4 “FM 図形”、または“FM 文字” を選択。
 - 5 情報の番号（“1”・“2”・“3” …）を選択。
- 文字情報または図形情報に切り替えるときは、“文字”または“図形”を選択します。
- 6 ・または“自動送り”を選択。
- 前回情報を表示させたときに「自動送り」を選択していると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。
 - 情報のページを送るときは、・を選択します。
 - “自動送り”を選択すると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。
走行中は自動送りできません。
 - 情報の自動送りを中止するときには、“停止”を選択します。
 - 自動送りに中に・を選択して、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
 - 文字情報または図形情報に切り替えるときは、“文字”または“図形”を選択します。
 - “目次”を選択すると、VICS 情報目次画面が表示されます。（手順 5 の画面）

緊急情報を表示する

緊急情報※を受信すると自動的に表示します。

※ 気象・津波・火山噴火（地震を除く）の特別警報



緊急情報を切り替えるとき

1 ・を選択。

- 詳細文字情報に切り替えるときは、“詳細情報”を選択します。
- 対象エリアを確認するときは、“対象エリア”を選択します。
- 約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。

表示時間は調整することができます。
(→P.44)

緊急情報を再表示する

一度表示した緊急情報を再表示することができます。

■ 地図画面から表示する

1 地図上部の“確認”を選択。

■ 情報画面から表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “情報”を選択。
- 3 “VICS”を選択。
- 4 “FM 緊急”を選択。

気象・災害情報を表示する

気象・災害情報を受信すると地図上に自動的に該当エリアがハイライト表示されます。

知識

- 気象・災害情報エリアを回避するルートを探索することができます。
(→P.90)

割込情報（ビーコン即時案内）を表示する※

※ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ（光ビーコン機能付）装着車

割込情報の表示設定をすると、ビーコンからの現況 VICS 情報が受信されたとき、VICS 文字情報または図形情報を自動的に表示させることができます。

割込情報を切り替えるとき

1 図形情報上の ・ を選択。

- 文字情報または図形情報に切り替えるとき、“文字” または “図形” を選択します。
- 割込情報が複数ページある場合は、ページ送りできます。
-  を選択する、または約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。
表示時間は調整することができます。（→P.44）
- “音声停止”：割込情報の音声を停止できます。（→P.44）

知識

- 表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。

ETC2.0 サービスで受けられる割込情報について

ETC2.0 サービスでは、VICS 文字情報・図形情報以外に、以下のサービスが受けられます。

知識

- ETC2.0 サービスについては、「ETC2.0 サービスについて」（→P.210）をご覧ください。
- 以下の割込情報の音量は、ナビの音量設定で調整することができます。（→P.89）
 - ・安全運転支援情報
 - ・前方状況情報提供サービス
 - ・施設情報提供サービス

安全運転支援（注意警戒情報）案内サービス

見通しの悪いカーブ先の渋滞などを、高速道路などに設置された ITS スポットから受信して、音声と画面で案内します。
代表例として以下のような情報が提供されます。

■ 前方障害物情報提供

見通しの悪いカーブの先の停止車両や 渋滞情報をカーブへの侵入前に音声や画面表示で案内します。



□ 知識

-  を選択する、または約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。表示時間は調整することができます。(→P.44)
- 以下のようなときは、ITS スポットから情報提供がなかったり、誤った情報が出ることがあります。
 - ・ アンテナ付近に障害物があるとき
 - ・ 大型車と並んで走行しているとき
 - ・ 他のナビ音声案内、画面表示などと重なるとき
 - ・ 低速度で走行しているとき
 - ・ 自車位置が正確に特定できないとき
 - ・ ITS スポット、車両検知センサ・カメラ等の路側システムが稼動していないとき
 - ・ ITS スポットを通過車両する ETC2.0 ユニット装着車両が多いとき
 - ・ アンテナの近くに電波を発する電子機器を設置され、無線通信が干渉しているとき
- 実際の音声や画面表示はITSスポットから提供されるものと異なることがあります。
- その他のITSスポットからの情報提供については、「VICS・ETC2.0 (ITS スポット)・DSSS の問い合わせ先について」(→P.49) をご覧ください。

道路交通情報

代表例として以下のような情報が提供されます。

■ 前方状況情報提供サービス

進行方向先の交通状況を模式図画面と音声、または音声で案内します。

■ 長文読上げサービス

ハイウェイラジオなどの情報を音声で案内します。

「現在の○○高速上り方向の情報をお知らせします。・・・」

1 “はい” を選択。

- 読上げ中、“中止” を選択すると、読上げを中止します。

□ 知識

- 読上げ情報は、2 回読上げると終了します。
- 約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。
- 再度読上げ情報を聞くときは、「割込情報呼び出す」(→P.43) をご覧ください。
- 長文読上げサービスの音量は、オーディオの POWER VOLUME ノブで調整することができます。オーディオの操作方法については、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

■ 施設情報提供サービス

サービスエリアやパーキングエリアの混雑情報や施設情報を画面や音声で案内します。

割込情報を呼び出す

割込情報の表示を「しない」に設定しているときに、受信された割込情報を表示させることができます。

また、一度表示された割込情報を再度表示させることもできます。

- 1 “MENU” スイッチを押す。
 - 2 “情報” を選択。
 - 3 “VICS” を選択。
 - 4 VICS 呼出、または ETC2.0 呼出の“割込情報”を選択。
 - 5 ・を選択して、割込情報を切り替える。
- 文字情報（ETC2.0 呼出のときは、表示情報、読み上げ情報）を表示したときも操作方法は同じです。
 - VICS呼出の文字情報または図形情報に切り替えるときは、“文字”または“図形”を選択します。
 - ETC2.0 呼出の表示情報または読み上げ情報に切り替えるときは、“表示情報”または“読み上げ情報”を選択します。



知識

- 提供時刻より約 30 分以上経過した割込情報は、表示させることができません。

割込情報の表示設定を変更する

※

※ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ（光ビーコン機能付）装着車

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “ナビ詳細設定” を選択。
- 5 “その他” を選択。
- 6 “VICS/ETC2.0 設定” を選択。
- 7 各項目を設定する。

自動割込を設定する

1 各項目を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

割込設定	内容
自動割込 VICS 注意警戒情報	VICS 注意警戒情報を表示します。
自動割込 VICS 文字情報	VICS 文字情報を表示します。
自動割込 VICS 図形情報	VICS 図形情報を表示します。
自動割込 ETC2.0 表示情報	ETC2.0 情報、長文読上げ情報確認画面を表示します。
自動割込 ETC2.0 注意警戒情報	ETC2.0 注意警戒情報、安全運転支援情報を表示します。
ETC2.0 音声案内	長文読上げ情報以外の音声情報の発話を設定します。

2 を選択。

知識

- 自動割込情報を「しない」に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報または図形情報が表示されます。
- ETC2.0 サービスにより提供される自動割込は、注意警戒情報と ETC2.0 表示情報の設定項目です／しないを設定できます。
各々の設定項目は割込み画面上部の情報種別と同じです。
- ETC2.0 音声案内を「する」に設定した場合でも、割込み画面下の“音声停止”を選択すると、音声案内を中止で

きます。

- 同一割込み中において、発話中止後の再読み上げはできません。“音声停止”で中止した発話は次回割込み時に復帰します。
- ETC2.0 音声案内の音量は、別画面の「設定・編集」画面で設定できる音量設定値に従います。(→P.89)

自動割込表示時間を調整する

- 1 VICS/ETC2.0 設定画面で、“自動割込みの表示時間”を選択。
- 2  (表示時間を長くする)、または  (表示時間を短くする) を選択。
- 3  を選択。

知識

- 音声案内中は表示時間が経過しても表示は消えません。音声案内終了後に消えます。

ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする

走行履歴などの情報（走行位置の履歴や車両に関する情報など）を ETC2.0 を通じて、ITS スポットへ送ることができます。詳しくは、「道路管理者からのお知らせとお願い」をご覧ください。（→P.50）

1 VICS/ETC2.0 設定画面

で、“ETC2.0 走行情報のアップリンク”を選択。

- 「する」または「しない」を選択後、画面表示の内容を確認の上、「はい」「いいえ」を選択します。途中で設定を中止したい場合は、を選択します。

注意

- 初期状態では「する」に設定されています。
- 本設定が「しない」の場合、または「する」の場合でも TV キット等の車両速度をカットするような機器を装着時は、走行履歴などの情報を利用したサービスを受けられないことがあります。

新旧ルートを比較して表示する

ビーコンまたはトヨタスマートセンタなどから提供される現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。



- 渋滞考慮探索・新旧ルート比較表示を「する」に設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。（→P.124）
- 1 “新ルート”、または“元ルート”を選択。
- 約 20 秒以上操作しなかったときは、新ルートで案内します。

知識

- 新旧ルート比較表示を「しない」に設定していても、渋滞考慮探索（→P.124）を「する」に設定して、渋滞を考慮したルートが新たに見つかったときは自動的に新しいルートで案内します。
- 新旧ルート比較表示では、VICS・交通情報の表示設定（→P.37）に関わらず渋滞情報が表示されます。ただし、地図の縮尺によっては表示されないことがあります。（→P.35）
- 交通情報を受信する度に、新旧ルート比較が表示されます。

VICS 放送局を選択する

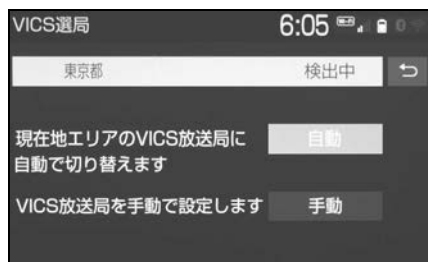
現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。

初期状態は自動で受信するよう設定されています。自動で受信されないときのみ手動で放送局、または放送エリアを選択してください。

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “ナビ詳細設定” を選択。
- 5 “その他” を選択。
- 6 “VICS/ETC2.0 設定” を選択。
- 7 “VICS 選局” を選択。

- 表示される画面は、前回選択していたモード（自動選択または手動選択）により異なります。

▶ 自動選択時



▶ 手動選択時



自動で放送局を選択する

現在地がある都道府県の、VICS 提供 FM 放送局が受信され、現在地を移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

- 1 “自動” を選択。

□ 知識

- 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

手動で放送局を選択する

▶ エリア選択

選んだ都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

▶ 周波数選択

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

- 1 “手動” を選択。
- 2 エリア選択時は、受信させる放送局のある都道府県名を選択。周波数選択時は、・ を選択して、放送局の周波数を選ぶ。

- 放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。

- 3  を選択。

VICS について

VICS (Vehicle Information and Communication System : 道路交通情報通信システム) は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICS リンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術協会 (TMT) が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された  のロゴマークは一般財団法人 道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

「VICSWIDE」について

本機は「VICSWIDE」に対応しています。従来の VICS に加えて、次のようなサービスを利用することができます。

- プローブ情報に対応した渋滞情報の提供拡大
- 緊急情報 (特別警報 (地震を除く)) の提供
- 気象・災害情報エリアの表示

VICS のメディアについて

VICS は、FM 多重放送・電波ビーコン (ETC2.0/5.8GHz)・光ビーコンの 3 つのメディアを受信することができます。

- 3 つのメディアはそれぞれ特長が異なります。
- 電波ビーコン (2.4GHz) は、本機では受信しません。

■ FM 多重放送

FM 多重放送は、VICS 提供 FM 放送局 (NHK-FM) から電波の届く範囲の車両に VICS 情報の提供が行われます。

■ 電波ビーコン

(ETC2.0/5.8GHz) ※

電波ビーコン

(ETC2.0/5.8GHz) は、おもに高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両に ETC2.0 サービス情報の提供が行われます。また、電波ビーコンにて受信した情報をナビゲーションに蓄積し、高速道路上の任意の場所でタイミングよく情報提供が行われる場合もあります。

■ 光ビーコン ※

光ビーコンは、おもに一般道路の各車線ごとに設置されており、その車線を通過する車両に VICS 情報の提供が行われます。

※ ETC2.0 ユニット (ビルトイン) ナビキット連動タイプ (光ビーコン機能付) 装着車

VICS の運用時間について

24 時間運用されています。

ただし、FM 多重放送は、第 1・第 3 月曜日の AM1:00～5:00 の間はメンテナンスのため休止する場合があります。

- 休止時間については、VICS FM 多重放送の「お知らせ」で案内します。
- VICS の運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM 多重放送を受信できないとき

FM 放送局から遠い場所などでは受信状態が悪くなり、受信できない場合があります。

受信できない状態から、VICS 情報を表示させようとした場合、VICS 情報が表示されない、または地図画面上の VICS タイムスタンプが更新されません。

VICS の用語について

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明を ご一読ください。

■ 緊急情報について

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

■ 交通情報関連の用語について

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

■ 駐車場・SA・PA 関連の用語について

- 空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
- 混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
- 満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
- 不明：駐車場（SA・PA）の情報が無い状態を示します。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICS センター著作権について

1 お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しまたは管理することに同意する。

2 お客様は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS・ETC2.0 (ITS スポット)・DSSS の問い合わせ先について**■ トヨタ販売店への問い合わせについて**

以下の内容はトヨタ販売店にご相談ください。

- ナビゲーションシステム、販売店装着オプションの ETC2.0 ユニットの調子・機能・使用方法・その他に関するもの

■ VICS センターへの問い合わせについて

以下の内容は VICS センターにご相談ください。

- VICS、ETC2.0、DSSS サービスで提供される情報、およびご利用可能な場所に関するもの

■ VICS センター

電話番号（受け付け時間… 平日 9:30～17:45、土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）

0570-00-8831（全国共通・PHS、IP 電話等を除く）

FAX 番号（受け付け時間…24 時間）

03-3562-1719

ホームページ

次のアドレスでも連絡先をご覧ください。

<http://www.vics.or.jp/>

連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがあります。ご了承ください。

道路管理者からのお知らせと お願い

車載器の ID 付きプローブ情報の 利用及び取り扱い方針

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」といいます。）は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビから収集する車載器の ID 付きプローブ情報の利用や取り扱いの方針について、次の通り定めます。

車載器の ID 付きプローブ情報を提供いただくことで、経路情報を活用したサービスを提供することが可能となり、渋滞等を迂回する経路を走行したドライバーを優遇することなどが期待されます。

1. 車載器の ID 付きプローブ情報

(1) ここで「車載器の ID 付きプローブ情報」とは、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビに記録された走行位置の履歴など「プローブ情報」に車両を特定するための「車載器の ID」を付与した情報で、道路管理者が管理する ITS スポット（DSRC 路側無線装置）※¹と通信を行うことにより ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビから収集される情報を言います。

※¹道路管理者とプローブ情報の収集に関

する協定等を結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

(2) 「車載器の ID 付きプローブ情報」として収集される情報は次のとおりです。※²

- ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカー、型番等）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカー、型番等））
- 車両に関する情報 ※³
- 走行位置の履歴 ※⁴
- 急な車両の動きの履歴 ※⁴

※²ただし、個別サービスの種類によっては、車載器の ID 付きプローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用や取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

※³車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報です。車両を特定するための車載器の ID に関する情報や自動車登録番号、車両番号が含まれます。ただし自動車登録番号、車両番号については 4 桁の一連番号は含まれません（例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

※⁴走行開始地点や走行終了地点は収集されません。

2. 車載器の ID 付きプローブ情報の利用目的

(1) 渋滞等を迂回する経路を走行したドライバーを優遇する等の経路情報を活用したサービスが実用化した場合、道路管理者は車載器の ID 付きプローブ情報を当該サー

ビスの提供に利用します。

(2) 道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報を、経路情報を活用したサービスの有効性検証等のために利用する場合があります。

(3) 道路管理者は、(1) または (2) の目的以外で車載器の ID 付きプローブ情報を利用しません。

3. 車載器の ID 付きプローブ情報の収集

(1) 道路管理者は、道路管理者が管理する ITS スポット※¹ によって、車載器の ID 付きプローブ情報を収集する場合があります。

(2) ETC2.0 対応カーナビと連動する ETC2.0 車載器の利用者は、設定により 1. (2) で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択できる場合があります。※⁵

※⁵ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、設定により道路管理者へ車載器の ID 付きプローブ情報の提供を拒否する選択は行えません。また、ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、道路管理者からのお知らせとお願いとして周知している「プローブ情報の利用及び取り扱いについて」におけるプローブ情報の収集についても同様に、設定により道路管理者への情報の提供を拒否する選択は行えません。「プローブ情報の利用及び取り扱いについて」は ETC2.0 車載器の説明書または道路管理者 Web サイト等に掲載されています。ETC2.0 車載器を取得す

る前に、車載器の説明書等によりあらかじめ確認し、取得する ETC2.0 車載器を選択してください。

(3) ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ利用者は、設定により道路管理者への (2) で示す車載器の ID 付きプローブ情報の提供を拒否する選択をした場合、2.

(1) の経路情報を活用したサービスによる優遇は受けられませ

ん。※⁶

※⁶カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは経路情報を活用したサービスによる優遇が受けられません。

4. 車載器の ID 付きプローブ情報の第三者への提供

(1) 道路管理者は、2. (1) 及び (2) の目的のため、収集した車載器の ID 付きプローブ情報を個別の車両を特定できないよう統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

(2) 道路管理者は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ、ITS スポット等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、車載器の ID 付きプローブ情報又はこれらを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカー等に提供する場合があります。

(3) 道路管理者は、(1) 及び (2) 以外で車載器の ID 付きプローブ情報を第三者に提供しません。

5. 車載器の ID 付きプローブ情報

の取り扱い等

(1) 道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。

(2) 道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報が不要となった時点で、当該車載器の ID 付きプローブ情報を消去します。

(3) 道路管理者は、車載器の ID 付きプローブ情報の提供先における情報の安全管理および提供した情報が不要となった時点で情報を消去することについて、提供先を適切に指導します。

6. 問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課
高度道路交通システム推進室

03-5253-8111 (代)

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

2015 年 7 月現在

プローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビからプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。

プローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みにも活用する予定です。

なお、道路管理者はこのお知らせを変更することがあります。この場合には変更後のお知らせを道路管理者 Web サイト等に掲載します。

1. プローブ情報

(1) ここで「プローブ情報」とは、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理する ITS スポット

(DSRC 路側無線装置)^{※1}と無線通信を行うことにより ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビから収集される情報を言います。

なお、このプローブ情報から車両又は個人を特定することはできません。

プローブ情報として収集する情報は次の通りです。※2

● ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカー、型番等）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカー、型番等））

● 車両に関する情報 ※3

● 走行位置の履歴 ※4

● 急な車両の動きの履歴 ※4

※1 道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理する ITS スポットを含みます。

※2 ただし、個別サービスの種類によっては、車載器の ID 付きプローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用や取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

※3 車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の 4 桁の一連番号は含まれないため、車両又は個人を特定することはできません（例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

※4 走行開始地点や走行終了地点などの個人情報にかかわる情報は、収集されません。

2. プローブ情報の利用目的

(1) 道路管理者は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサー

ビス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。※5

※5 例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ドライバーに情報提供することが考えられます。

(2) 道路管理者は、(1) の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3. プローブ情報の収集

(1) 道路管理者は、道路管理者が管理する ITS スポット ※1 によって、プローブ情報を収集する場合があります。

(2) ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ利用者は、設定により、1. (1) で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択することができる場合があります。※6※7 選択の方法は ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビの取扱説明書をご覧ください。

※6 カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは該当しません。

※7 ETC2.0 対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できる ETC2.0 車載器の利用者は、設定により道路管理者への (2) で示す情報の提供を拒否する選択を行えません。

(3) ETC2.0 車載器及び ETC2.0

対応カーナビ利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

4. プローブ情報の第三者への提供

(1) 道路管理者は、2. (1) の目的のため、プローブ情報を統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

(2) 道路管理者は、ETC2.0 車載器及び ETC2.0 対応カーナビ、ITS スポット等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

(3) 道路管理者は、(1) 及び (2) 以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

5. プローブ情報の取り扱い

(1) 道路管理者は、プローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。

(2) 道路管理者は、プローブ情報が不要となった時点で、当該プローブ情報を消去します。

(3) 道路管理者は、プローブ情報の提供先における情報の安全管理について、提供先を適切に指導します。

6. 問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課

高度道路交通システム 推進室

03-5253-8111 (代)

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

2015 年 7 月改定

2014 年 10 月改定

2010 年 10 月現在

知識

- 本機でのプローブ情報の選択の可否を設定する方法は、「ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする」(→P.45)をご覧ください。

VICIS 過去データについて

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

甲＝一般財団法人道路交通情報通信システムセンター

1 契約者は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を甲、一般社団法人 UTMS 協会及び一般財団法人道路新産業開発機構が所有し又は管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICIS 技術情報等の著作権その他知的所有権及び使用許諾権を甲が所有し又は管理することに同意する。

2 契約者は、甲、一般社団法人 UTMS 協会及び一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに甲の共通ネットワーク仕様書以外の VICIS 技術情報等の著作権その他知的所有権及び使用許諾権の保護に努める。

VICIS 記号・表示について

記号	道路の種類・状況
 ※ (黒色)	通行止めの区間
 (赤色)	渋滞している道路
 (橙色)	混雑している道路
 (水色)	すいている道路

※ 夜画のときは白色で表示されます。

記号	施設情報
 /  (青色)	駐車場／臨時駐車場（空車）
 /  (橙色)	駐車場／臨時駐車場（混雑）
 /  (赤色)	駐車場／臨時駐車場（満車）
 /  (黒色)	駐車場／臨時駐車場（不明）
 /  (赤色)	駐車場／臨時駐車場（閉鎖）
 (青色)	SA・PA（空車）
 (橙色)	SA・PA（混雑）

記号	施設情報
 (赤色)	SA・PA (満車)
 (黒色)	SA・PA (不明)
 (赤色)	SA・PA (閉鎖)
 (青色)	充電施設 (空車)
 (燈色)	充電施設 (混雑)
 (赤色)	充電施設 (満車)
 (黒色)	充電施設 (不明)
 (赤色)	充電施設 (閉鎖)

記号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨

記号	規制情報
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント
	気象速報
	災害速報

知識

●表示される記号・表示の位置は実際と

異なることがあります。また、複数の VICS・交通情報が代表して 1 つの記号で表示されることがあります。

知っておいていただきたいこと

- 提供される VICS 情報はあくまでも参考としてください。(提供される VICS 情報は、最新ではないことがあります。)
- 電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがあります。新しい信号が正しく受信できれば正しい表示に更新されます。
- VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- VICS 情報は、発信されている地域により、情報の内容が異なります。
- VICS による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

■ FM多重放送特有の事項について

- FM 多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うまでに時間がかかることがあります。
- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことがあります。
 - ・ トンネルの中にいるとき
 - ・ 高層ビルの谷間にいるとき
 - ・ 高架道路の下にいるとき
 - ・ 盆地にいるとき
 - ・ 大型車とすれちがったとき

交通ナビ関連情報について

JAF や道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。

また、登録されているメモリ地点や設定されている目的地に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示することができます。

交通ナビ関連情報を表示する

- 1 “PHONE” スイッチを押す。
- 2 “キーパッド” を選択。
- 3 “交通ナビ” を選択。



- 4 項目を選択。
- 目的地が 1 カ所のみ設定されているときは、“目的地”を選択すると、名称と電話番号を表示します。
- 5 選択した項目により、次のいずれかの操作をする。

JAF または道路交通情報センターの情報を表示する

- 1 都道府県名 → 施設名称の順に選択。

メモリ地点の情報を表示する

- 1 メモリ地点を選択。
- 地図を表示するときは、“地図”を選択します。

目的地の情報を表示する

- 目的地が複数設定されているときは、いずれかの目的地を選択します。

目的地の検索

さまざまな検索方法で目的地に設定する場所を検索することができます。

目的地検索画面を表示する

- ▶ 地図画面から表示する
 - 1 地図画面の“目的地”を選択。
 - 2 目的地の検索方法を選択。
- ▶ メニュー画面から表示する
 - 1 “MENU”スイッチを押す。
 - 2 “目的地”を選択。
 - 3 目的地の検索方法を選択。

目的地検索画面



- A** トヨタスマートセンターの検索エンジンを使用して検索した施設などの地図を表示します。※ (→P.195)

※ T-Connect ナビキット装着車

- B** 読みで検索した施設や、入力した地名がある地域の地図を表示します。(→P.61)
 - C** さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示します。(→P.64)
 - D** 電話番号で検索した施設や、電話番号が使用されている地域の地図を表示します。(→P.65)
 - E** 住所で指定した地点または地域の地図を表示します。(→P.66)
 - F** あらかじめ登録しておいたメモリ地点の地図を表示します。
 - ・メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。(→P.102)
 - G** 名称で検索した施設や、地名がある地域の地図を表示します。(→P.61)
 - ・漢字やカタカナで検索するときに便利です。
 - H** 現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示します。(→P.67)
 - I** G メモリ地点を使用して地図を表示します。※ (→P.196)
 - ・目的地の設定を行うときのみ使用できます。
- ※ T-Connect ナビキット装着車
- J** 入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示します。(→P.67)
 - K** 特別メモリ地点を目的地としてルート探索を開始します。
 - ・特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。(→P.104)

- ・ 目的地の設定を行うときのみ使用できます。

L 特別メモリ地点周辺の地図を表示します。

- ・ 特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。(→P.104)
- ・ 目的地の設定を行うときのみ使用できます。

M 目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示します。(→P.68)

- ・ 目的地履歴が登録されているときのみ使用できます。

N 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示します。(→P.68)

- ・ 一度目的地案内を行ったときのみ使用できます。

O 自宅を目的地としてルート探索を開始します。

- ・ 自宅を登録していない場合は、ここから登録することができます。(→P.74)
- ・ 目的地の設定を行うときのみ使用できます。

P 自宅周辺の地図を表示します。

- ・ 自宅を登録しているときのみ使用できます。(→P.74)
- ・ 目的地の設定を行うときのみ使用できます。

Q あらかじめ専用のスマホアプリで設定した目的地を利用できます。※

- ・ 専用のスマホナビアプリのインストールが必要です。スマホナビアプリは予告なく変更・廃止されることがあります。

※ T-Connect ナビキット装着車

R 2 ページ目または 1 ページ目を表示します。

 知識

- 目的地検索画面の 1 ページ目の並び順を変更することができます。(→P.130)
- 目的地の追加 (→P.94) や、メモリ地点の登録 (→P.105) などの場合も同様の方法で目的地を検索します。

読みまたは名称で検索する

施設名称または地名を入力し、地図を呼び出すことができます。

また全国リスト画面（→P.62）に表示された件数が多い場合は、エリア（→P.63）・ジャンル（→P.64）を指定することにより件数を絞り込むことができます。

知識

- 入力中に検索先の候補が 5 件以下になり、約 10 秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。
- ソフトウェアキーボードの使用方法は、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

読みで検索する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

- 地図画面の“目的地”を選択。
- “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “読み”を選択。
- 3 名称の読みを入力し、“検索”を選択。
- 入力するごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。
- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→P.62）

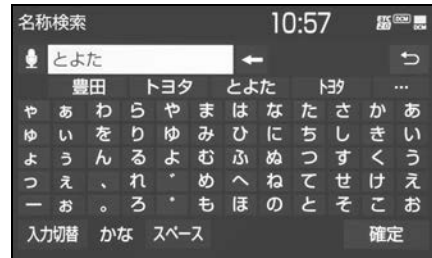
名称で検索する

読み検索に比べ、検索する施設名称または地名の件数を絞り込むことができます。漢字やカタカナで検索するときに便利です。

■ ひらがな・漢字入力

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

- 地図画面の“目的地”を選択。
- “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “名称”を選択。
- 3 名称を入力し、変換候補から選択。



- 変換候補の中に希望の変換語句がない場合、... を選択して他の候補を表示させることができます。
- 入力したままの状態での確定したいときは、“確定”を選択します。
- を選択すると音声認識で文字を入力することができます。*

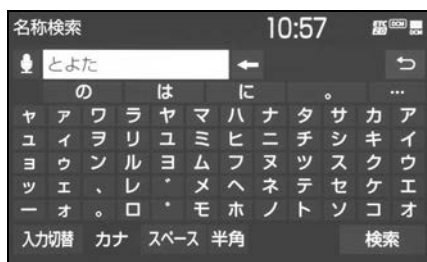
* T-Connect ナビキット装着車

- 4 “検索”を選択。
- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→P.62）

■ カタカナ・英数字・記号入力

- 1 名称検索画面で“入力切替”を選択。
- 2 “カナ”・“英数字”のいずれかを選択し、入力画面を切り替える。
- 3 名称を入力し、“検索”を選択。

▶ カタカナ入力時



▶ 英数字・記号入力時



- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。(→P.62)

全国リストから検索する

- 1 全国リスト画面で、表示させる施設名称または地名を選択。

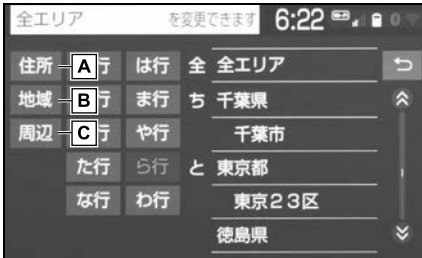


- エリア(→P.63)またはジャンル(→P.64)を指定することにより、リストに表示されている施設名称または地名を絞り込むことができます。
- 同じ施設名称、または施設名称に複数の店舗(チェーン店など)があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。
- まとめて表示されたリストを選択したときは、施設名称を選択します。施設名称のリストは、“ソート”を選択することで以下の並べ方(ソート)をすることができます。
 - ・ “距離順”※1：自車位置マークから近い施設または地名の順
 - ・ “名称順”：50音順※2
- ※1 検索された施設名称または地名の件数が多い場合は、距離順に並び替えできない場合があります。
- ※2 漢字を含む名称は文字コード順に表示されるため、50音順に並べないことがあります。
- 選択した施設の地図が表示されます。

エリア別に絞り込む

エリアを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

- 1 全国リスト画面で、“絞り込み”を選択。
- 2 “エリアで絞りこむ”を選択。
- 3 エリアの指定方法を選択。



- A** 住所で絞り込む (→P.63)
- B** 地域で絞り込む (→P.63)
- C** 周辺で絞り込む (→P.63)

■ 住所選択時

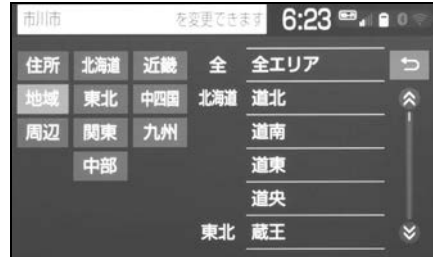
- 1 都道府県名を選択。



- リスト画面に戻すときは、“全エリア”を選択します。
- 2 市区町村名を選択。
- 都道府県を指定してリスト画面を表示するときは、“〇〇全域”を選択します。

■ 地域選択時

- 1 地域名を選択。



- リスト画面に戻すときは、“全エリア”を選択します。

■ 周辺選択時

- 1 “現在地周辺”または“目的地周辺”を選択。
- リスト画面に戻すときは、“全エリア”を選択します。
- 目的地を複数設定している場合に、“目的地周辺”を選択したときは、目的地を選択します。

施設のジャンル別に絞り込む

ジャンルを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

- 1 全国リスト画面で、“絞り込み”を選択。
- 2 “ジャンルで絞りこむ”を選択。
- 3 施設のジャンル、さらに詳細な施設のジャンルの順に選択。



- 地名を入力したときは、“その他” → “住所”の順に選択すると、地名のリストが表示されます。
- リスト画面に戻すときは、“全ジャンル”を選択します。

知識

- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

ジャンルで検索する

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を検索することができます。

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：

- 地図画面の“目的地”を選択。
- “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “ジャンル”を選択。
- 3 施設のジャンル、さらに詳細な施設のジャンル → “検索”の順に選択。



- 5つまで選択することができます。
- 間違えたときは、選択済みの施設のジャンルを選択します。
- 選択ジャンルを解除するときには、“選択解除”を選択します。押すたびに1つずつ選択ジャンルを解除します。
- 4 施設名称を選択。
- 施設のリストは、“ソート/ルート沿い考慮”を選択することで以下の並べ方（ソート）をすることができます。
 - ・ “距離順”：自車位置マーク または から近い施設の順
 - ・ “種類順”：施設記号順
- “ルート沿い考慮”を選択する

と、ルート沿いの施設のみリストに表示されます。(→P.25)

施設検索するエリアを変更する

- 1 ジャンル検索画面で“エリア”を選択。
- 2 施設を検索したい地域を選択。
 - “住所指定”を選択すると、住所から施設を検索したい地域を選択することができます。選択方法については、「住所で検索する」(→P.66) 手順 **3** へ。

電話番号で検索する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU” スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “電話番号”を選択。
- 3 電話番号を入力し、“検索”を選択。
 - 市外局番から入力します。
 - 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
 - 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称を選択します。

知識

- 該当する施設がないときや個人住宅などのときは、市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 同じ名前の施設が、複数表示されることがあります。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
 - ・ デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
 - ・ 一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。

- 施設の電話番号や所在地、名前などは1年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。記憶できる件数をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

住所で検索する

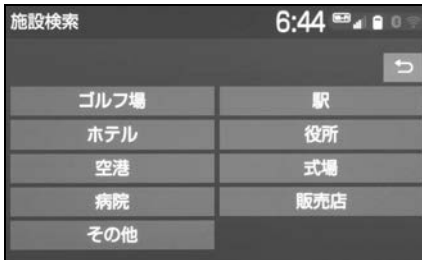
- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “住所”を選択。
- 3 都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順に選択。
 - “〇〇主要部”を選択すると、広域図が表示されます。
- 4 “番地指定”を選択。
- 5 番地を入力し、“検索”を選択。

知識

- 入力した番地に該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。
- 「郡」や「字」等の名称は、表示されません。

施設で検索する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “施設”を選択。
- 3 施設のジャンルを選択。



- 表示されている以外のジャンルを表示するときは、“その他” → 施設のジャンルの順に選択します。
- 4 都道府県名（路線名）を選択。
 - さらに市区町村名（または路線名・販売会社名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（または路線名・販売会社名）を選択します。
 - 施設のジャンルによっては、全国施設リストが表示されることがあります。このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。“全国の○○”を選択すると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50音順に表示されます。＊

＊ 漢字を含む名称は文字コード順に表示されるため、50音順に並ばないことがあります。

- 5 施設名称を選択。

マップコードで検索する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “マップコード”を選択。
- 3 マップコードを入力し、“検索”を選択。

知識

- マップコードとは、特定の位置の位置データをコード化し、1～13桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- マップコードについては、以下のホームページで紹介されていますので、こちらをご覧ください。
<https://www.denso-communications.jp/mapcode/>
- マップコードは、メモリ地点（→P.105）・迂回メモリ地点（→P.107）を登録すると、位置の名称の下に表示されます。

履歴で検索する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “履歴”を選択。
- 3 希望の目的地履歴を選択。



- “前回出発地 / 履歴消去” → “前回出発地”の順に選択すると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。

履歴を消去する

- 1 履歴検索画面で“前回出発地 / 履歴消去” → “履歴消去”の順に選択。
 - 2 消去したい項目を選択。
 - 3 “はい”を選択。
- すべての履歴を削除するときは、“全消去” → “はい”の順に選択します。

知識

- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。

検索した地図の操作

ピンポイント検索について

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。

▶ ピンポイント検索されたとき



▶ ピンポイント検索されなかったとき



知識

- 検索された施設に、詳細な情報があるときは、検索された施設の地点に  が表示されます。

地図の位置を変更する・調整する

- 1 地図検索後、目的地セットを行う前にを選択して、地図の中心位置を動かし、目的地の位置を変更・調整する。



- カースルで希望の場所を選択、またはフリック操作して移動することもできます。

施設の内容を表示する

- 1 “情報” を選択。



- 2 施設情報が表示される。

▶ 簡易情報表示



▶ 情報付き施設表示



- 画面をスクロールするときは、を選択します。
- ワンタッチスクロールによる移動もできます。
- “住所”・“写真”などを選択すると、それぞれの情報が書かれている部分に画面を移動します。

知識

- 呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。
- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

提携駐車場を検索する

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 “提携P” を選択。



- 提携駐車場のリストが表示されます。
- 2 駐車場名称を選択。
- 選択した駐車場の地図が表示されます。
- 専用駐車場は **P** (青色)、提携駐車場は **P** (緑色) で表示されます。

知識

- “提携P” を選択しても、駐車場が検索されないことがあります。
- 地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
- 施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
- 検索される駐車場は、設定した車両情報（→P.126）により異なります。また、車両寸法が設定されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

住所で絞り込む

住所一覧から検索する

次のときに、検索することができます。

- 「読みで地図を検索する」のリスト画面で、地名を選択したとき
- 「電話番号で地図を検索する」で、該当する施設がなかったとき

1 “住所一覧” を選択。



2 地名を選択。

- 選択した地名の地図が表示されます。
- 詳細がわからないときは、“○○主要部”を選択すると、広域図が表示されます。

周辺住所から検索する

次のときに、検索することができます。

- 「住所一覧から検索する」で、該当する住所がなかったとき
 - 「住所で地図を検索する」で、該当する住所がなかったとき
- 1 “周辺住所” を選択。



2 番地を選択。

目的地を設定してルート探索

目的地の設定が終了すると、ルート探索が開始されます。ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。（→P.76）

知識

- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大 100 力所まで）100 力所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴は、消去することもできます。（→P.126）
- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても、探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- 高速道路や有料道路の IC・SA・PA などでルート探索が行われると、その周辺の一般道路から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（→P.90）を行ってください。
- 私用地などは、その土地の所有者であっても、進入を規制するルートが探索されます。
- 歩行者天国が行われる場所などは、開催日以外の日でも、進入を規制するルートが探索されます。
- 車両制限（車高・車幅・車長など）のある道路は、ルート探索時に考慮されません。

目的地検索画面から目的地を設定する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。
(→P.59)
- 3 “目的地セット”を選択。



- ①の位置に目的地がG記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→P.76)
- すでに目的地が設定されているときは、“新規目的地”（新しく目的地を設定）、または“追加目的地”（「目的地を追加する」(→P.94) の手順 5)）を選択します。

知識

- 設定した目的地は消去することができます。(→P.95)

目的地候補情報から目的地を設定する※

※ T-Connect ナビキット装着車

目的地が設定されていないときにエンジンスイッチ<パワースイッチ>をACC、またはONにして現在地画面を表示させると、目的地候補情報が表示されたスイッチが表示されます。スイッチには自宅と特別メモリ（特別メモリの1と2）までの距離と到着予測時間が表示されます。

表示されたスイッチを選択することで目的地に設定できます。

- 1 “MAP”スイッチを押す。
- 2 目的地に設定したいスイッチを選択。



A 自宅

B 特別メモリの1と2

- 目的地に設定するには事前に登録しておく必要があります。
(→P.102、104)
また、未登録のスイッチを選択することで登録することができます。
(→P.73)

知識

- 目的地候補情報の自動表示を「する」に設定したとき、目的地候補情報が表示できます。(→P.117)
- 目的地候補情報はしばらくすると自動で消えます。

目的地候補情報が登録されていないときは

- 1 目的地候補情報が表示されたときに、未登録の“自宅”、“特別メモリ 1”または“特別メモリ 2”を選択。
- 2 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。(→P.59)
- 3 “セット”を選択。
- 上記以外の方法でも登録することができます。(→P.102、104)

地図画面から目的地を設定する

現在、地図上に表示している地点を目的地に設定することができます。

- 1 地図を希望の場所に移動し、“目的地セット”を選択。



- ①の位置に目的地がG記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→P.76)
- すでに目的地が設定されているときに、地図画面から目的地を設定した場合、その目的地が一番最初の目的地になり、ルート探索を開始します。

自宅を目的地に設定する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 “自宅に帰る”を選択。

自宅が登録されていないときは

- 1 “自宅登録”を選択。
- 2 自宅の登録方法を選択。
 - 次の方法で、地図を呼び出すことができます。
 - ・ 現在地周辺
 - ・ 目的地履歴 (→P.68)
 - ・ 住所指定 (→P.66)
- 3 “セット”を選択。
- 4 “自宅に帰る”を選択。
 - 上記以外の方法でも登録することができます。(→P.102)

特別メモリ地点を目的地に設定する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の“目的地”を選択。
 - “MENU”スイッチ → “目的地”の順に選択。
- 2 特別メモリの“1～5”選択。

特別メモリが設定されていないときは

- 1 登録されていない特別メモリを選択。
- 2 “はい”を選択。
- 3 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。(→P.59)
- 4 “セット”を選択。
 - 上記以外の方法でも登録することができます。(→P.104)

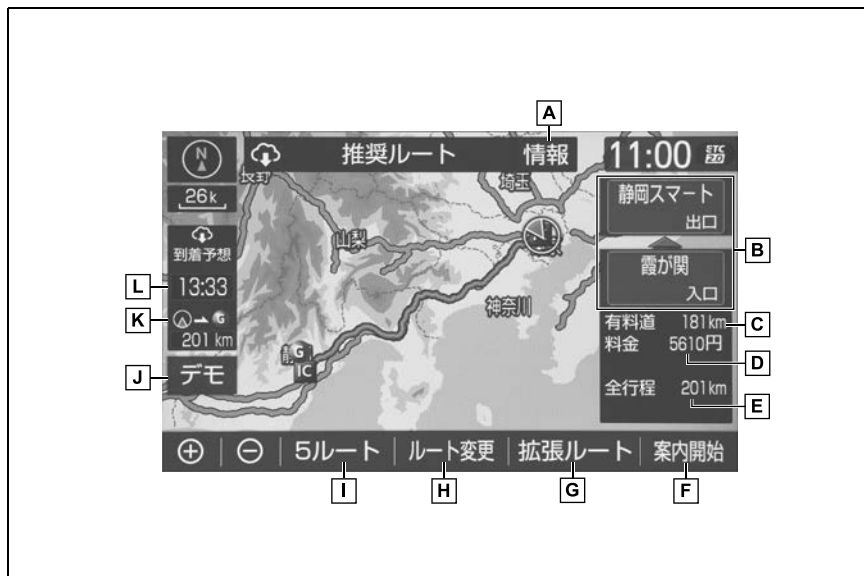
メモリ地点を目的地に設定する

- 1 次のいずれかの操作で目的地検索画面を表示する：
 - 地図画面の “目的地” を選択。
 - “MENU” スイッチ → “目的地” の順に選択。
 - 2 “メモリ地点” を選択。
 - 3 目的地に設定するメモリ地点を選択。
 - メモリ地点のリストは、“ソート / 絞り込み” を選択することで以下の並べ方をすることができます。
 - ・ 登録順：メモリ地点の登録順
 - ・ 名称順：50 音順 ※
 - ・ マーク順：マークの種類別
 - ・ グループで絞る：設定してあるグループ別
- ※ 漢字を含む名称は文字コード順に表示されるため、50 音順に並ばないことがあります。

全ルート図表示について

全ルート表示画面

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。全ルート図表示画面で、希望ルートの選択やルート情報を確認することができます。



- A** 案内道路情報を表示します。(→P.79)
- B** 一番最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称を下に、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称を上に表示します。
・ 出入口 IC を指定することができます。(→P.97)
- C** 目的地までに通るすべての有料道路の距離を表示します。
・ 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の種類が表示されます。
- D** 目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示します。
・ 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。
・ 目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示したときは、現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金を表示します。
- E** 出発地点から目的地までの距離を表示します。
- F** 目的地案内を開始します。(→P.80) 目的地案内中は、現在地画面に戻ります。
- G** 5ルートとは別の様々なルート探索パターンから希望のルートを選択します。※ (→P.181)

・ 目的地案内開始後は表示されません。

※ T-Connect ナビキット装着車

[H] ルート変更画面を表示します。(→P.92)

[I] 条件の異なる 5 つのルートから希望のルートを選択します。
(→P.79)

・ 目的地案内開始後は表示されません。

[J] デモンストレーションを開始します。(→P.78)

[K] 表示されているルートの自車位置から目的地までの距離を表示します。

・ ルートからはずれたときは、目的地までの直線距離を表示します。

[L] 目的地への到着予想時刻を表示します。

・ ルートからはずれたときは、目的地方向マークを表示します。

・ 目的地を複数設定しているときは、各目的地までの到着予想時刻・残距離に切り替えることができます。

知識

● トヨタスマートセンターから配信されるルートには  が表示されます。
(→P.181)

● 全ルート図が表示されたあと、“MAP” スイッチを押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。(→P.80)

● 目的地案内開始後も全ルート図表示画面を表示することができます。
(→P.22)

● 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。

● 料金は設定した車両情報 (→P.126) から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。

● 到着予想時刻は設定した平均車速 (→P.118) から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

● 交通規制 (常時進入禁止、時間による進入禁止など) 区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に  が表示されることがあります。

● 地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。

● ルート上を長押しすることで通過する道路を指定することができます。
(→P.98)

ルートの表示について



ルートの表示は、次の 4 種類あります。

表示色	内容
青色 ()	目的地を 1 カ所、または複数設定しているときの現区間 (次の目的地まで) の表示
白色 ()	目的地を複数設定しているときの現区間 (次の目的地まで) 以外の表示
水色 ()	幅 5.5m 未満の道路表示
橙色 ()	季節規制区間の表示 (→P.123)

ここでは、初期設定の表示色 (青色) で説明しています。

知識

- ルートの表示色の設定を変更することができます。(→P.116)
- 現在地または目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路を通るルートも探索します。
- 交通規制 (一方通行など) や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

デモンストレーション (デモ) を見る

ルート探索終了後、目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。

- 1 全ルート図表示画面 (→P.76) で “デモ” を選択。

- デモの表示速度を変更するときには “低速”、“中速” または “高速” を選択します。



- デモを終了するときには、“MAP” スイッチを押す、または走行します。

知識

- 目的地案内を開始したあとは、デモを見ることはできません。

ルート情報を表示する（案内道路情報）

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示させることができます。

- 1 全ルート図表示画面（→P.76）で“情報”を選択。
- 2 ルート情報画面が表示される。



- 入口IC・出口IC・JCT・目的地・道路の種別の変わり目などでルートを分割して表示します。
- 分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。それぞれの地点の地図を表示するときは、“地図”を選択します。
- 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に自転車位置マークが表示されます。

知識

- 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。

5つのルートから希望のルートを選ぶ

一般道路を優先したルートや距離の短さを優先したルートなどの、5つのルートが5色に色分けされて表示されます。

- 1 全ルート図表示画面（→P.76）で“5ルート”を選択。
- 2 表示したいルート名称を選択。

- 選択したルートの全ルート図表示画面が表示されます。



- A** 一般的なルートで案内します。
- B** 有料道路を優先して案内します。
- C** 一般道路を優先して案内します。
- D** 距離の短いルートで案内します。
- E** 他の4つのルートとは別のルートで案内します。

- トヨタスマートセンターから配信されるルートにはが表示されます。
- “全行程一覧”を選択すると、5つのルートの目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間が表示されます。

全行程一覧表					7:22
探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間	
推奨	314 km	310 km	7960円	4時間 6分	
有料優先	314 km	310 km	7960円	4時間 6分	
一般優先	340 km	0.0 km		11時間 23分	
距離優先	312 km	281 km	6360円	4時間 35分	
別ルート	329 km	325 km	7960円	4時間 18分	

知識

- 以下のときは、5 ルートを表示できません。
 - ・目的地を複数設定しているとき
 - ・通過する地点（IC・通過道路）を指定しているとき
 - ・目的地案内開始後

目的地案内の開始／中止

目的地案内を開始する

- 1 全ルート図表示画面（→P.76）で“案内開始”を選択。



知識

- 全ルート図が表示されたあと、“MAP”スイッチを押す、または走行を開始して約3秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。

目的地案内を中止する

- 1 “MENU”スイッチを押す。
 - 2 “設定・編集”を選択。
 - 3 “ナビ”を選択。
 - 4 “案内中止”を選択。
- 再開するときは、“案内再開”を選択します。

知識

- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。

ルート案内について

ルート案内中は、交差点や分岐点など、ポイントとなる地点では音声や画面でわかりやすく案内します。

案内画面について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、レーンリスト図(→P.81)または交差点拡大図(→P.82)に切り替わります。

レーン(車線)リスト図の表示/解除

分岐する交差点の手前(約 700m 以内)では、レーンリスト図を表示させることができます。

レーンリスト図は、走行する交差点の名称とレーンを 4 つまで表示させることができ、走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

警告

- レーン案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

レーンリスト



レーンリスト図を解除するときは、**>>>** を選択します。

知識

- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図(→P.82)が自動的に表示されます。

高精度レーンリスト※

※ T-Connect ナビキット装着車

高精度レーンリストでは、実際の車線状況に応じたレーンリスト(右側・左側車線の増減を画面にそのまま反映したもの)が表示されます。



レーンリスト図を解除するときは、**>>>** を選択します。

知識

- 高精度レーンリストを表示できる地域について

2018年11月時点の東京23区・政令指定都市※¹・中核市※²における片側3車線以上の道路

※¹ 京都市、福岡市、静岡市、横浜市、神戸市、広島市、堺市、大阪市、北九州市、仙台市、新潟市、名古屋市、札幌市、千葉市、浜松市、川崎市、さいたま市、岡山市、相模原市、熊本市

※² 宇都宮市、長崎市、旭川市、東大阪市、金沢市、大分市、松山市、富山市、岐阜市、豊田市、横須賀市、函館市、姫路市、福山市、奈良市、下関市、高知市、倉敷市、青森市、宮崎市、川崎市、鹿児島市、いわき市、船橋市、秋田市、長野市、郡山市、豊橋市、岡崎市、和歌山市、高松市、高槻市、盛岡市、柏市、西宮市、久留米市、尼崎市、前橋市、大津市、高崎市、豊中市、那覇市、枚方市、越谷市、八王子市、呉市、佐世保市、福島市、川口市、八尾市、明石市、鳥取市、松江市、山形市、福井市、甲府市、寝屋川市、八戸市、水戸市、吹田市、松本市、一宮市

※ 2022年12月時点のものであり、変更される場合があります。

交差点拡大図について

分岐する交差点に近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点の約300m手前では、交差点拡大図が表示されます。

▶ 分岐しない交差点



A 通過・分岐する交差点のレーンが表示されます。

・ 走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

B 通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

▶ 分岐する交差点（交差点拡大図）



A 通過・分岐する交差点に表示されます。

B 通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

C 通過・分岐する交差点のレーンが表示されます。

・ 走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

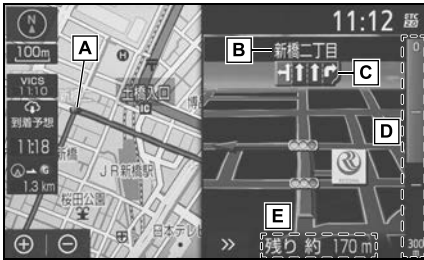
D 交差点までの距離が表示されます。

- ・ 交差点に近づくとともに 画面右側に表示されている青色のゲージが短くなります。

E 交差点までの距離が表示され

ません。

▶ 分岐する交差点 (3D 交差点拡大図)



A 通過・分岐する交差点に表示されます。

B 通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

C 通過・分岐する交差点のレーンが表示されます。

- ・ 走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

D 交差点までの距離が表示され

- ません。
- ・ 交差点に近づくとともに 画面右側に表示されている青色のゲージが短くなります。

E 交差点までの距離が表示され

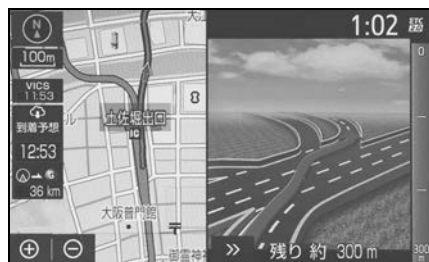
ません。

知識

- 交差点拡大図の3D表示する／しないを設定できます。(→P.118)
- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は行われません。
- レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
- 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- 交差点拡大図が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。
- 交差点拡大図上の残距離とマルチインフォメーションディスプレイ表示上の残距離は異なることがあります。(対応システム装着車のみ)
- ナビ画面とマルチインフォメーションディスプレイ上の交差点拡大図の表示は異なります。(対応システム装着車のみ)

連続車線変更案内について

分岐する交差点までの距離が短く、複数回車線変更が必要な場合に表示されます。



知識

- 地図データに情報のある地点で表示します。

立体的な拡大図の表示／解除

目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

▶ 都市高速 IC 入口



▶ 立体交差点



▶ リアル交差点※



▶ 側道案内※



拡大図表示を解除するときは、**>>** を選択します。拡大図に戻すときは、“MAP” スイッチを押します。

※ T-Connect ナビキット装着車

知識

- 地図データに情報のある地点で表示されます。
- リアル交差点拡大図は、都市部の交差点で分岐が分かりづらい交差点で表示

されます。

到着予想時刻について

全ルート図表示画面(→P.76)と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、到着予想時刻を表示させることができます。



- 2カ所以上目的地を設定しているときは、到着予想時刻表示を選択すると到着予測時刻画面へ切り替えることができます。

知識

- 到着予想時刻は設定した平均車速(→P.118)から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートからはずれたときは、目的地方向マーク(📍)になります。
2カ所以上目的地を設定しているときは、目的地方向マークを選択すると直線距離画面へ切り替えることができます。
- 到着予想時刻の表示(アナログ/デジタル)を設定できます。(→P.119)

料金案内について

目的地案内中の現在地画面で、料金通知がある場合、地図左上に料金が表示され、音声案内されます。

知識

- 地図データに情報のない料金所では、料金案内は行われません。
- 料金は設定した車両情報(→P.126)のナンバープレートの分類番号から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 有料道路と一般道路が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道路へずれることがあります。このとき再探索が行われると、実際と異なる料金が案内されることがあります。

全ルート図を表示する

- 1 地図表示中に“表示変更”を選択。
 - 2 “全ルート”を選択。
- 全ルート図表示画面については、「全ルート図表示について」(→P.76)をご覧ください。

全ルート図表示縮尺を切り替える

目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルートを表示する画面の中心にした縮尺に切り替えることができます。



- 1 **+** または **-** を選択。
 - 2 スケールバーの **A** **G** を選択。
- 現在地と目的地の位置によっては、全ルートを表示できないことがあります。

到着予想時刻・残距離表示を切り替える

目的地を複数設定しているとき、目的地ごとの到着予想時刻・残距離表示に切り替えることができます。

- 1 到着予想時刻・残距離表示を選択。



- 目的地が2カ所以上のときは、選択すると各目的地までの到着予想時刻・残距離表示画面に切り替わります。
- 2 表示させたい目的地までの到着予想時刻・残距離表示を選択。



知識

- 状況により目的地までの表示が異なります。
 - ・ 現在地がルート上にあるときは、到着予想時刻と表示されているルートを通っての距離を表示します。
 - ・ ルートからはずれたときは、目的地の方向と直線距離を表示します。

音声案内について

交差点や分岐点、通過点、インターチェンジの入口、出口、ジャンクション、目的地に近づくと、自動で残りの道のりと曲がる方向などを音声で案内します。

知識

- 音声案内の例は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときには、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- 地図データに情報のある地点で案内されます。
- 音声案内の音量は調節することができます。(→P.89)
- “MAP” スイッチを押すと、音声案内が出力されます。

目的地案内中の音声案内の例

分岐交差点手前

700m 手前

「ポーン およそ 700m 先 ○○を右方向です」

300m 手前

「ポーン およそ 300m 先 ○○を右方向です」

100m 手前

「ポーン まもなく右方向です」

交差点直前

「右方向です」



- ○○(道路名称や交差点名称、目印など)は、情報のある地点のみ案内されます。

▶ 信号機案内の例

「ポーン およそ 300m 先 次の信号を右方向です」

「ポーン 次の信号を右方向です」

「ポーン 2 つ目の信号を右方向です」

知識

- 信号機案内は、以下のようなとき出力されない場合があります。
 - ・ 信号機のある交差点を走行しているとき
 - ・ 分岐する交差点までの距離が短いとき
 - ・ 分岐する交差点までの間に別の信号機があるとき

▶ 目印案内の例

リアル交差点(→P.84)を表示したときに音声案内されます。

「ポーン まもなく右方向 高架を登ります」

有料道路への進入時

「ポーン まもなく右方向です
その先 高速道路です」

「ポーン この先 料金所です」

連続車線変更案内時

連続車線変更案内（→P.84）を表示したときに音声案内されます。

「ポーン すぐに左に車線変更が必要です」

幅 5.5m 未満の道路への進入時

「実際の交通規制や道幅に注意して走行してください」

首都高速／阪神高速／名古屋高速の車線変更案内時

1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向〇〇方面です
右（左）側 1 車線を走行してください」

500m 手前

「まもなく右（左）方向、〇〇方面です
右（左）側 1 車線を走行してください」

首都高速／阪神高速／名古屋高速の車線変更禁止区間案内時

1km 手前

「およそ 1km 先、右（左）方向〇〇方面です
車線変更禁止区間にご注意ください」

500m 手前

「まもなく右（左）方向、〇〇方面です
車線変更禁止区間にご注意ください」

知識

- 首都高速／阪神高速／名古屋高速の車線変更禁止区間案内は、車線変更禁止区間の端までの距離が短いとき出力されない場合があります。

目的地周辺に到着したときの音声案内の例

目的地の手前

「ポーン まもなく目的地です」

目的地の直前

「ポーン 目的地は右（左）側にあります」

音声案内はあくまでも参考としてください。

幅 5.5m 未満の道路での音声案内について

目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートも音声案内を行います。

知識

- 細街路での音声案内をする／しないを設定できます。（→P.120）
- 実際の入り口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。
- 出発地点が幅 5.5m 未満の道路にある場合、幅 5.5m 以上の道路までは、音声案内を行いません。
- 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

他モードでの音声案内について

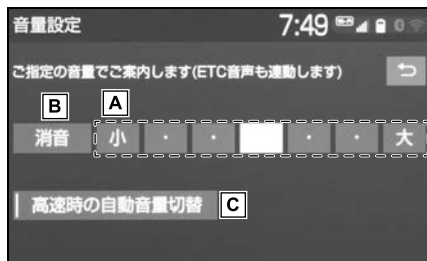
ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

知識

- 他モードに切り替えたときに音声案内のする／しないを設定できます。（→P.120）
- 音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続して行われます。

音声案内の音量を設定する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “音量設定” を選択。
- 5 各項目を設定する。



- A 設定したい音量を選択。
- B 音声を OFF にします。
- C 高速走行時、自動的に音量を大きくします。

知識

- 高速走行時、自動的に音量を大きくする設定にしているときは、車速が約 80km/h 以上になると、設定した音量が自動的に上がります。（車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。）
- ETC 音声も連動します。（対応システム装着車のみ）

ルートの再探索

案内中のルートに目的地の追加などを設定したり、探索条件を変更して、ルートを再探索することができます。

ルートを自動で再探索する

ルートからはずれたときに、自動的に再探索させることができます。再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

知識

- 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートが探索されます。
- 自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

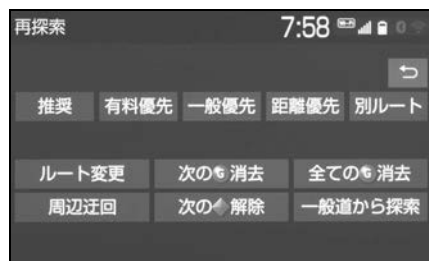
ルートの再探索方法を選ぶ

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をすることができます。

- 1 “MAP” スイッチを押す。
- 2 “再探索” を選択。



- 3 再探索する項目を選択。



- “次の  消去”

現在地の次の目的地を消去して、再探索をする。

- “全ての  消去”

全ての目的地を消去する。

- “次の  解除”

現在地の次の通過道路（）を解除して、再探索をする。IC を指定している場合、“指定  解除” を選択すると IC の指定を解除して、再探索をする。

- “推奨”

現在地から次の目的地※¹の間で、一般的なルートを探索する。

● “有料優先”

現在地から次の目的地※¹の間で、有料道路を優先してルートを探索する。

● “一般優先”

現在地から次の目的地※¹の間で、一般道路を優先してルートを探索する。

● “距離優先”

現在地から次の目的地※¹の間で、距離の短いルートを探索する。

● “別ルート”

現在地から次の目的地※¹の間で、選ばれているルートとは別のルートを探索する。

● “ルート変更”

ルート変更画面を表示する。→P.92

● “周辺迂回”※²

現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索する。(探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。)

● “有料道から探索” / “一般道から探索”※³

有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートを探索する。

● “回避ルート探索”※⁴

気象・災害情報エリアを回避するルートを探索する。

※¹現在地と次の目的地の間に IC・通過道路を指定しているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートを探索します。

※²ルートからはずれたときは表示されません。

※³有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。

※⁴目的地案内中に気象・災害情報を受信したときのみ表示されます。

知識

●「〇〇優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、“有料優先”を選択しても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、“一般優先”を選択しても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。

●道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。

●ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへ戻るルートではなく、設定している目的地または指定している IC・通過道路に向かうルートが再探索されます。

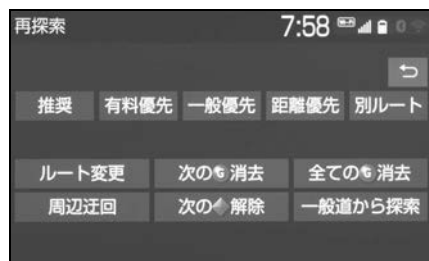
ルートを変更する

ルートを探索した後、目的地を追加したり、乗り降りするインターチェンジ (IC) や通過する道路の指定などルートを変更することができます。

ルート変更画面を表示する

■ 再探索画面から表示する

- 1 “MAP” スイッチを押す。
- 2 “再探索” を選択。
- 3 “ルート変更” を選択。



- 4 希望の項目を選択。

■ 設定・編集画面から表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “ルート変更” を選択。



- 5 希望の項目を選択する。

■ 全ルート図表示画面から表示する

- 1 全ルート図表示画面 (→P.76) で “ルート変更” を選択。



- 2 希望の項目を選択する。

ルート変更画面



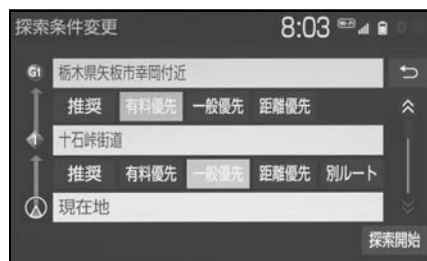
- A** 目的地の追加 (→P.94)
- B** 目的地の消去 (→P.95)
- C** 目的地の並び替え (→P.95)
- D** 出入口 IC の指定・解除 (→P.97)
- E** 通過道路の指定 (→P.98)
- F** 通過道路の修正 (→P.99)
- G** 通過道路指定の解除 (→P.100)
- H** 探索条件の変更 (→P.93)
- I** スマート IC 考慮の ON/OFF
- J** 季節規制区間の迂回ルート探索 (→P.101)
- “スマートIC考慮” をON に設定すると、目的地周辺や現在地周辺に適当なスマートICがある場合は、スマートICを通るルートが探索されます。適当なスマートICがない場合は、通常のICを通るルートが探索されます。

探索条件を変更する

目的地を複数設定、または通過道路を指定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：

- “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
 - 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。
- 2 “探索条件変更” を選択。
- 3 それぞれの区間の探索条件 (ルート名称) → “探索開始” の順に選択。



知識

- 探索条件の特徴については、「ルートの再探索方法を選ぶ」(→P.90)をご覧ください。
- 最初の目的地までの区間のみ、「別ルート」が表示されます。

目的地を追加する

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：

- “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
- 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。

2 目的地・通過目的地の “追加” を選択。

3 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。
(→P.59)

4 “目的地セット” を選択。

-  の位置に目的地が **G** 記号で表示されます。
 - ここまでの操作は、目的地の設定と同じ方法で追加することもできます。(→P.71)
- 5 目的地を追加する区間の “設定” を選択。



- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。さらに追加して目的地を設定するときは、“追加” を選択します。

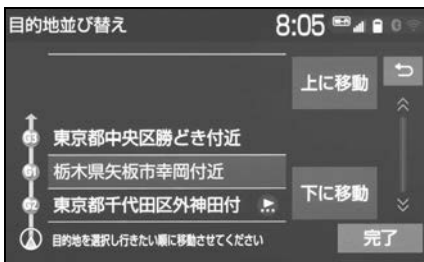
(手順 3 の画面へ)

知識

- 10 カ所まで追加することができます。
- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。記憶できる件数をこえると、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴を選択して消去することもできます。(→P.126)
- IC・通過道路(→P.97)を指定しているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

目的地の順番を並び替える

- 1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：
 - “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
 - 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。
- 2 目的地・通過目的地の “並び替え” を選択。
- IC・通過道路（→P.97）を指定しているときは、メッセージが表示されます。“はい” を選択すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。
- 3 順番を変更したい目的地を選択。



- 4 “上に移動” または “下に移動” を選択。
- 選択した目的地を上または下に移動させて並び替えます。
- 5 “完了” を選択。
- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

目的地を消去する

次の方法で、目的地を消去することができます。

- ルート変更画面から消去する（→P.95）
- 目的地画面から消去する（→P.96）
- 地図画面から消去する（→P.96）

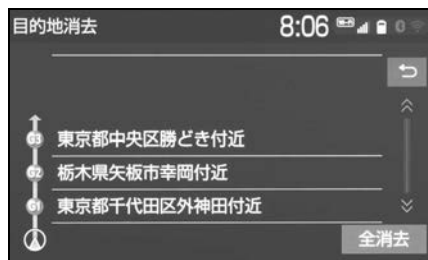
知識

- すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。
- 複数目的地を設定し、IC・通過道路（→P.97）を指定しているときは、目的地を消去すると、指定されている地点によって IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。
- 複数目的地を設定時に中間の目的地を削除すると、前ルートの探索条件でルート探索されます。

ルート変更画面から目的地を消去する

- 1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：
 - “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
 - 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。
- 2 目的地・通過目的地の “消去” を選択。

3 消去したい目的地を選択。



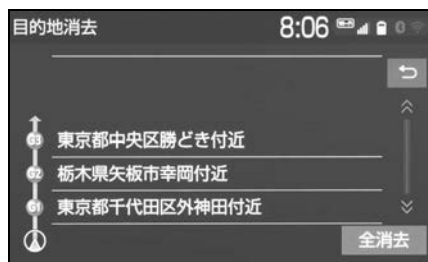
- 全ての目的地を消去する場合は、“全消去”を選択します。

4 “はい”を選択。

- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始”を選択します。

■ 目的地画面から目的地を消去する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “目的地”を選択。
- 3 “目的地消去”を選択。
- 4 消去したい目的地を選択。



- 全ての目的地を消去する場合は、“全消去”を選択します。

5 “はい”を選択。

- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始”を選択します。

■ 地図画面から目的地を消去する

- 1 地図上の消去したい目的地を選択。

2 “情報”を選択。



3 “消去”を選択。

4 “はい”を選択。

- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始”を選択します。

出入口 IC（インターチェンジ）を指定する

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 IC を 1 カ所ずつ指定することができます。

- 1 全ルート図表示画面（→P.76）
またはルート変更画面
（→P.92）を表示する。
 - 2 “（IC 名称表示）” を選択。
 - 3 左画面で指定する場合は、指定したい IC 付近に地図を動かし、“探索開始”を選択。
右画面で指定する場合は、・または“次路線”を選択して IC を切り替え、指定したい IC 名称 → “探索開始” の順に選択。
- “次路線” は JCT があり分岐するときのみ表示されます。
 - ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始”を選択します。

知識

- スマート IC（ETC 専用インターチェンジ）を選択することもできます。
このとき、ETC2.0 ユニットの有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

IC の指定を解除する

- 1 全ルート図表示画面（→P.76）
またはルート変更画面
（→P.92）を表示する。
- 2 “（IC 名称表示）” を選択。
- 3 “出口解除” または “入口解除” を選択。

通過する道路を設定する

目的地を設定したあと、通過する道路を指定することができます。

□ 知識

- 5 力所まで指定することができます。
- IC を指定しているとき (→P.97)、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

通過する道路を指定する

■ ルート変更画面から指定する

1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：

- “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
- 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。

2 通過点 (通過道路指定) の “指定” を選択。

3 通過道路を指定する位置に地図を動かし、“通過道路セット” を選択。



4 “セット” を選択。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないときは、“次候補” を選択します。
- 目的地を複数設定しているとき、または IC・通過道路を指定しているときは、通過道路を指定する区間の “設定” を選択します。
- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

□ 知識

- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、“次候補” を選択しても、道路が選べないことがあります。

■ 全ルート図をタッチして指定する※1

※1 T-Connect ナビキット装着車

1 全ルート図表示画面を表示する。(→P.76)

2 ルート上を長押しすると、◆記号が表示されます。指定する位置までスライド操作※2し、指を離します。



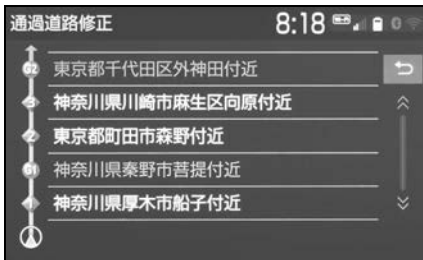
- 全ルート図表示画面に戻ったときは、“案内開始” を選択します。

※2 詳しくは、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

通過する道路を修正する

■ ルート変更画面から修正する

- 1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：
 - “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
 - 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。
- 2 通過点（通過道路指定）の “修正” を選択。
- 3 通過道路を指定する位置に地図を動かし、“通過道路セット” を選択。
- 通過道路が複数指定されていたときは、道路または地名を選択します。



4 “セット” を選択。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないときは、“次候補” を選択します。
- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

□ 知識

- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、“次候補” を選択しても、

道路が選べないことがあります。

■ 全ルート図をタッチして修正する※1

※1 T-Connect ナビキット装着車

- 1 全ルート図表示画面を表示する。(→P.76)
- 2 修正したい◆記号を長押しし、指定する位置までスライド操作※2し、指を離します。



- 全ルート図表示画面に戻ったときは、“案内開始” を選択します。

※2詳しくは、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

通過する道路指定を解除する

■ ルート変更画面から解除する

1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：

- “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。

- 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。

2 通過点（通過道路指定）の “解除” を選択する。

3 “はい” を選択。

- 通過道路が複数指定されていたときは、道路または地名を選択します。



- すべての通過道路指定を解除するときは、“全解除” → “はい” の順に選択します。

- ルート変更画面に戻ったときは、“探索開始” を選択します。

■ 全ルート図をタッチして解除する※¹

※¹ T-Connect ナビキット装着車

1 全ルート図表示画面を表示する。(→P.76)

2 解除したい◆記号を長押しし、

 までスライド操作※²し、指を離します。



- 全ルート図表示画面に戻ったときは、“案内開始” を選択します。

※²詳しくは、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

季節規制区間の迂回ルートを探 索する

- 1 次のいずれかの操作でルート変更画面を表示する：
 - “MAP” スイッチ → “再探索” → “ルート変更” の順に選択。
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ルート変更” の順に選択。
 - 全ルート図表示画面で “ルート変更” を選択。
- 2 “季節規制回避” を選択。

知識

- “季節規制回避” または “季節規制通過” は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。
- 規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき（規制区間内に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど）は、“季節規制回避” を選択しても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

メモリ地点を登録する

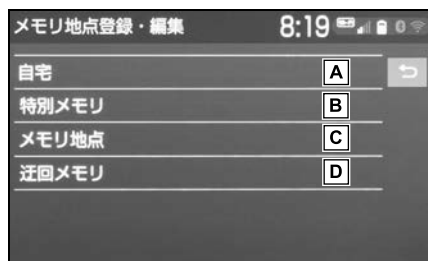
検索した目的地をメモリ地点に登録することができます。

あらかじめメモリ地点に登録しておく、

- 地図にマークで表示されます。
- 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
- 目的地の設定のときなどに、簡単な操作で地図を呼び出すことやルート探索を開始することができます。(→P.59)

メモリ地点登録・編集画面を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “メモリ地点登録・編集” を選択。
- 5 希望の項目を選択する。



- A** 自宅の登録と編集を行う。(→P.102)
- B** 特別メモリの登録と編集を行う。(→P.104)
- C** メモリ地点の登録と編集を行う。(→P.105)

- D** 迂回メモリの登録と編集を行う。(→P.107)

知識

- 1/8 万図より詳細な地図で登録することができます。(現在地画面(地図画面)から登録するときを除く)
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号も同時に表示されることがあります。

自宅を登録する

自宅を登録すると、目的地検索画面で“自宅に帰る”を選択するだけで、自宅までのルート探索ができます。

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “自宅” を選択。
- 3 “登録” を選択。
- 4 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。(→P.59)
- 5 “セット” を選択。
- 6 “完了” を選択。

知識

- 上記以外の方法でも登録することができます。(→P.74)

自宅を修正する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “自宅” を選択。
- 3 “修正” を選択。
- 4 自宅修正画面で各項目を修正する。
 - 修正・入力方法については次のページをご覧ください。
 - ・ マーク (→P.110)
 - ・ 地図への名称表示 (→P.111)
 - ・ 名称 (→P.110)
 - ・ 名称読み (→P.111)
 - ・ 位置 (→P.111)
 - ・ 電話番号 (→P.111)
- 5 “完了” を選択。

知識

- 地図画面からでも、自宅の修正をすることができます。詳しくは、「地図画面から表示する」(→P.109) をご覧ください。

自宅を消去する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “自宅” を選択。
- 3 “消去” を選択。
- 4 “はい” を選択。

知識

- 地図画面からでも、自宅の消去をすることができます。詳しくは、「メモリ地点を消去する」(→P.107) をご覧ください。

特別メモリを登録する

特別メモリとは、走行中でも呼び出すことが可能なメモリ地点です。5カ所まで登録することができます。

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “特別メモリ” を選択。
- 3 “登録” を選択。
- 4 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。(→P.59)
- 5 “セット” を選択。
- 6 未登録の番号を選択。
- 特別メモリを差し替えたいときは、差し替えたい特別メモリ → “はい” の順に選択します。
- 7 “完了” を選択。

知識

- 設定されていない特別メモリがある場合は“目的地”設定画面(→P.74)の特別メモリ(未登録)からも設定できます。

特別メモリを修正する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “特別メモリ” を選択。
- 3 “修正” を選択。
- 4 修正したい特別メモリを選択。
- 5 特別メモリ修正画面で各項目を修正する。
- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。
 - ・ マーク (→P.110)
 - ・ 地図への名称表示 (→P.111)
 - ・ 名称 (→P.110)
 - ・ 名称読み (→P.111)
 - ・ 位置 (→P.111)
 - ・ 電話番号 (→P.111)
- 6 “完了” を選択。

知識

- 地図画面からでも、特別メモリの修正をすることができます。詳しくは、「地図画面から表示する」(→P.109)をご覧ください。

特別メモリを消去する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “特別メモリ” を選択。
- 3 “消去” を選択。
- 4 消去したい特別メモリを選択。
- 5 “はい” を選択。
- すべての特別メモリを消去するときは、“全消去” → “はい” の順に選択します。

知識

- 地図画面からでも、特別メモリの消去をすることができます。詳しくは、「メモリ地点を消去する」(→P.107) をご覧ください。

メモリ地点を登録する

- ▶ 設定・編集画面から登録する
- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
 - 2 “メモリ地点” を選択。
 - 3 “登録” を選択。
 - 4 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。(→P.59)
 - 5 “セット” を選択。



- 6 “完了” を選択。
- ▶ 地図画面から登録する
- 1 地図表示中、登録したい位置に地図を動かし“地点登録”を選択。

メモリ地点を修正する

▶ 設定・編集画面から修正する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。

2 “メモリ地点” を選択。

3 “修正” を選択。

4 修正したいメモリ地点を選択。

5 メモリ地点修正画面で各項目を修正する。

- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

- ・ マーク (→P.110)
- ・ 地図への名称表示 (→P.111)
- ・ 名称 (→P.110)
- ・ 名称読み (→P.111)
- ・ 位置 (→P.111)
- ・ 電話番号 (→P.111)
- ・ グループ (→P.112)

6 “完了” を選択。

▶ 地図画面から修正する

1 地図表示中、修正したいメモリ地点にカーソルを合わせて

“情報” を選択。

2 “修正” を選択。

3 「設定・編集画面から修正する」 (→P.106) 手順 5 以降と同じ操作をする。

知識

- “ソート / 絞り込み” → “グループで絞る” を選択すると、メモリ地点を指定したグループで絞り込むことができます。絞り込みを解除したいときは、“絞り込み解除” を選択します。

- メモリ地点のリストは、“ソート / 絞り込み” を選択することで以下の並べ方を行うことができます。

- ・ “登録順”：メモリ地点の登録順
- ・ “名称順”：50 音順※
- ・ “マーク順”：マークの種類別

- 地図呼び出し画面のメモリ地点検索でも、グループで絞り込むことができます。(→P.75)

※ 漢字を含む名称は文字コード順に表示されるため、50 音順に並ばないことがあります。

メモリ地点を消去する

▶ 設定・編集画面から消去する

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。

2 “メモリ地点” を選択。

3 “消去” を選択。

4 消去したいメモリ地点を選択。

5 “はい” を選択。

● すべてのメモリ地点を消去するときは、“ソート / 絞り込み / 全消去” → “全消去” → “はい” の順に選択します。

▶ 地図画面から消去する

1 地図表示中、消去したいメモリ地点にカーソルを合わせて“情報”を選択。

2 “消去” を選択。

3 「設定・編集画面から消去する」(→P.107) 手順 5 以降と同じ操作をする。

知識

● “ソート / 絞り込み / 全消去” → “グループで絞る” を選択すると、メモリ地点を指定したグループで絞り込むことができます。絞り込みを解除したいときは、“絞り込み解除” を選択します。

● メモリ地点のリストは、“ソート / 絞り込み / 全消去” を選択することで以下の並べ方をすることができます。

- ・ “登録順”：メモリ地点の登録順
- ・ “名称順”：50 音順※
- ・ “マーク順”：マークの種類別

※ 漢字を含む名称は文字コード順に表示

されるため、50 音順に並べないことがあります。

迂回メモリを登録する

工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっているとき、迂回メモリとして登録しておく、そのエリアを迂回するルートを探索します。

1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。

2 “迂回メモリ” を選択。

3 “登録” を選択。

4 目的地の検索方法を選び、目的地に設定する場所を検索する。(→P.59)

5 “セット” を選択。

● 迂回範囲が黄色の四角で表示されます。

6 迂回範囲を  (広くする)、または  (狭くする) を選択して設定し、“セット” を選択。



●  ・  の間にある数値は迂回させる範囲の一边の距離になります。

7 “完了” を選択。

知識

- 1/8 万図より詳細な地図で登録することができます。
- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。
- 迂回範囲を最小にすると、 (迂回メモリ地点) に切り替えることができます。高速道路 (都市高速・有料道路を含む) およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点を道路上に設定してください。
- 迂回メモリ地点は専用のマーク  で表示され、マークを変更することはできません。

迂回メモリを修正する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “迂回メモリ” を選択。
- 3 “修正” を選択。
- 4 修正したい迂回メモリ地点を選択。
- 5 迂回メモリ修正画面で各項目を修正する。
 - 修正・入力方法については次のページをご覧ください。
 - ・ 名称 (→P.110)
 - ・ 地図への名称表示 (→P.111)
 - ・ 位置 (→P.111)
 - 登録した迂回メモリを解除したいときは、“無効” を選択します。
 - 迂回エリアを変更したいときは、“迂回エリア変更” を選択し、迂回範囲を  (広くする)、または  (狭くする) を選択して設定し、“セット” を選択します。
- 6 “完了” を選択。

迂回メモリを消去する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “迂回メモリ” を選択。
- 3 “消去” を選択。
- 4 消去したい迂回メモリを選択。
- 5 “はい” を選択。
- すべての迂回メモリを消去するときは、“全消去” → “はい” の順に選択します。

メモリ地点の情報を修正する

メモリ地点のマーク・名称などの地点情報は、メモリ地点修正画面から変更できます。

▶ 設定・編集画面から表示する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “自宅”、“特別メモリ”または“メモリ地点”を選択。
- 3 “修正” を選択。
- “特別メモリ”または“メモリ地点”を選択したときは、修正するメモリ地点を選択してください。
- 4 希望の項目を選択。

マーク	地図への名称表示
名称	〇〇〇〇〇
名称読み	〇〇〇〇〇
位置	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 座 マップコード: (4162433*07)
電話番号	〇〇〇〇〇
グループ	グループなし 完了

▶ 地図画面から表示する

- 1 地図表示中、修正するメモリ地点をカーソルで選択。
- 2 “情報” を選択。
- 3 “修正” を選択。

4 希望の項目を選択。



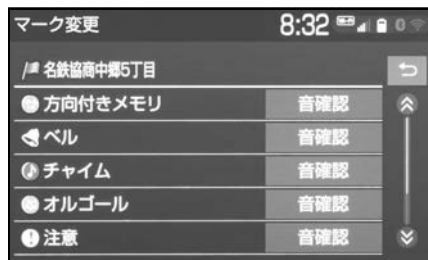
マークを変更する

- 1 メモリ地点修正画面 (→P.109) を表示する。
- 2 “マーク” を選択。
- 3 “マーク 1” タブ、“マーク 2” タブ、“マーク 3” タブ または “音声付” タブを選択し、希望のマークを選択。
- マークが不要なときは、“マーク 3” タブの“マーク無し”を選択します。
- 4 “完了” を選択。

■ 音声付メモリを設定する

設定した地点の約 500m 付近で音が鳴ります。

- 1 マーク変更画面で “音声付” を選択。
- 2 鳴らしたい音を選択。



- 鳴る音を確認するときは、“音確認” を選択します。

3 “完了” を選択。

■ 音声／方向付きメモリを設定する

指定した方向から約 500m 付近に近づくと音が鳴ります。

- 1 マーク変更画面で “音声付” を選択。
- 2 “方向付きメモリ” を選択。
- 3 (反時計回り)、または (時計回り) を選択して方向を指定し、“セット” を選択。



4 “完了” を選択。

メモリ地点名称を入力する

- 1 メモリ地点修正画面 (→P.109) を表示する。
- 2 “名称” を選択。
- 3 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、“OK” を選択。
- 4 “完了” を選択。

地図にメモリ地点名称を表示する

- 1 メモリ地点修正画面
(→P.109) を表示する。
- 2 “地図への名称表示” を選択。



- 解除するときには、再度 “地図への名称表示” を選択します。

知識

- 1/8 万図より詳細な地図で名称を表示することができます。

メモリ地点の名称読みを入力する

名称読みを入力しておくと、音声操作で地図を呼び出すことができます。(→P.159)

- 1 メモリ地点修正画面
(→P.109) を表示する。
- 2 “名称読み” を選択。
- 3 ソフトウェアキーボードを使用して名称読みを入力し、“OK” を選択。
- 4 “完了” を選択。

メモリ地点の位置を修正する

- 1 メモリ地点修正画面
(→P.109) を表示する。
- 2 “位置” を選択。
- 3  を選択して地点の位置を修正し、“セット” を選択。



- 4 “完了” を選択。

メモリ地点の電話番号を入力する

電話番号を入力しておくと、電話番号で地図を呼び出すことができます。(→P.65)

- 1 メモリ地点修正画面
(→P.109) を表示する。
- 2 “電話番号” を選択。
- 3 市外局番から電話番号を入力し、“完了” を選択。
- 4 “完了” を選択。

メモリ地点をグループで絞り込む

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “メモリ地点” を選択。
- 3 “修正” または “消去” を選択。
- 4 “ソート / 絞り込み” を選択。
- 5 “グループで絞る” を選択。
- 6 絞り込みたいグループを選択。
- 絞り込みを解除したいときは、“絞り込み解除” を選択します。
- 地図呼び出し画面のメモリ地点検索でも、グループで絞り込むことができます。(→P.75)

グループを指定する

- 1 メモリ地点登録・編集画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “メモリ地点登録・編集” の順に選択。
- 2 “メモリ地点” を選択。
- 3 “修正” を選択。
- 4 グループを指定したいメモリ地点を選択。
- 5 “グループ” を選択。
- 6 指定したいグループを選択。
- グループ指定をしないときは、“グループなし” を選択します。
- 7 “完了” を選択。

グループを作成・修正する

- 1 グループ画面で “グループ編集” を選択。
- 2 “新規グループ作成” を選択。
- グループ名を修正したいときは、“グループ編集” → “グループ名修正” の順に選択します。
- 3 ソフトウェアキーボードを使用してグループ名を入力し、“OK” を選択。

グループを削除する

- 1 グループ画面で “グループ編集” を選択。
- 2 “グループ削除” を選択。
- 3 削除したいグループを選択。
- 4 “はい” を選択。
- すべてのグループを削除するときは、“全削除” → “はい” の順に選択します。

ナビゲーションの設定

ナビゲーションの設定では、地図の色や文字サイズなど、ナビの各種設定を変更することができます。

ナビの詳細設定画面を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “ナビ詳細設定” を選択。
- 5 設定したい項目を選択。



- 地図表示設定 (→P.113)
- 自動表示切替設定 (→P.117)
- 案内表示設定 (→P.117)
- 音声設定 (→P.120)
- ルート系設定 (→P.122)
- その他 (→P.125)

知識

- 初期設定の状態に戻すときは、“初期状態に戻す” を選択します。

地図表示設定をする

地図の表示方法を設定する

地図表示方法を選択できます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “地図表示設定” を選択。
- 3 “地図表示設定” を選択。
- 4 “地図 1 画面” または “地図 2 画面” を選択。

知識

- 地図 2 画面表示させているとき、左画面の操作は、1 画面表示のときと同じです。
- 地図 2 画面表示にさせているときは、左画面のみ地図を動かすことができます。

地図 2 画面表示の右画面表示設定をする

地図を 2 画面表示にしたときの、右画面表示を設定できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “地図表示設定” を選択。

3 “右画面設定” を選択。

4 設定したい項目を選択。



A 左画面に施設の記号を表示させているときに、右画面でも施設の記号を表示する

B 左画面に VICS・交通情報を表示させているときに、右画面でも VICS・交通情報を表示する

C 地図の向きを切り替える

D 地図の縮尺を切り替える

3D 地図の表示を設定する

地図を 3D 表示するときの角度設定ができます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “地図表示設定” を選択。

3 “3D 地図表示設定” を選択。

4  (角度を上げる) または

 (角度を下げる) を選択。



5  を選択。

知識

● 初期設定の状態に戻すときは、“初期状態” を選択します。

周辺の施設を表示する

ガソリンスタンドなどの施設記号を地図上に表示することができます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “地図表示設定” を選択。

3 “周辺施設表示” を選択。

4 施設のジャンルを選択。

施設の表示設定については、「施設記号を表示する」(→P.24)をご覧ください。

地図の色を設定する

地図の表示色を 5 色から選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “地図表示設定” を選択。

3 “地図表示カスタマイズ” を選択。

4 “地図色” を選択。

5 “フレッシュ”、“ナチュラル”、“スタイリッシュ”、“ユニバーサル”または“カラフル”を選択。

● フレッシュ

縁取りや明るめの多色使いで明るい印象を受ける色使い

● ナチュラル

ベース色・道路色ともに明るい配色とした温かみを感じる色使い

● スタイリッシュ

ベース色・道路色ともに明るい配色としたスタイリッシュ感を高めた寒色系の色使い

● ユニバーサル

カラーユニバーサルデザインを取り入れた色使い

● カラフル

従来のトヨタ地図配色に慣れているお客さまにおすすめの色使い

ルートの色を設定する

目的地まで案内するルートの表示色を5色から選択できます。

明るい色使いの画面や、すっきりとしたシャープな色使いの画面など、お好みに合わせて選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “地図表示設定” を選択。

3 “地図表示カスタマイズ” を選択。

4 “ルート色” を選択。

5 お好みの色を選択。



知識

● ルート色が変更されるのは地図上のルート色のみです。ルート情報画面、探索条件変更画面、交差点拡大図などのルート色は変更されません。

自転車マークを変更する

地図上に表示される自転車マークを変更することができます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “地図表示設定” を選択。

3 “地図表示カスタマイズ” を選択。

4 “自転車マーク” を選択。

5 お好みの自転車マークを選択。

地図の文字サイズを変更する

地図上に表示される地名などの文字サイズを3つの中から選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “地図表示設定” を選択。

3 “地図表示カスタマイズ” を選択。

4 “文字サイズ” を選択。

5 “大”、“中”または“小”を選択。

地図のアニメーション表示を設定する

地図画面が切り替わる時に、地図画面をアニメーションのように表現される表示のする／しないを選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “地図表示設定” を選択。

3 “地図アニメーション表示” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

自動表示切替を設定する

目的地候補情報の自動表示を設定する※

※ T-Connect ナビキット装着車

目的地候補情報（現在地から自宅・特別メモリ 1・特別メモリ 2までの距離、到着時間）の自動表示を表示する／しないを選択できます。（→P.72）

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “自動表示切替設定” を選択。

3 “目的地候補情報の自動表示” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

- 目的地候補情報（自宅・特別メモリ 1・特別メモリ 2）が設定されていないと表示されません。（→P.73）

案内表示設定をする

県境案内を設定する

都道府県境を通過したとき、案内マークと音声で案内する／しないを選択できます。



1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “案内表示設定” を選択。

3 “県境案内” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

- 県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

3D 交差点拡大図の表示を設定する

交差点拡大図を立体的（3D）に表示する／しないを選択できます。

3D 交差点拡大図については、「交差点拡大図について」（→P.82）をご覧ください。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “案内表示設定” を選択。

3 “3D 交差点拡大図” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

オートマップズームを設定する

目的地案内中に案内地点に近づいたときに、地図の縮尺を自動で拡大します。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “案内表示設定” を選択。

3 “オートマップズーム” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

到着予想時刻用の速度を設定する

ルート案内するときの、到着予想時刻・通過予想時刻・所要時間を計算する基準である平均車速を自動、または手動で設定できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “案内表示設定” を選択。

3 “到着予想時刻用速度設定” を選択。

4 “自動” または “手動” を選択。

5 手動を選択した場合は、各道路の **<**（速度を下げる）または **>**（速度を上げる）を選択し、速度を設定。



6 **<** を選択。

知識

- 初期設定の状態に戻すときは、“初期状態” を選択します。

到着予想時刻の表示を切り替える

到着予想時刻の表示を、アナログまたはデジタルに設定できます。

▶ デジタル



▶ アナログ



1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “案内表示設定” を選択。
- 3 “到着予想時刻表示” を選択。
- 4 “デジタル” または “アナログ” を選択。

TC 情報マーク連動サービスを設定する※

※ T-Connect ナビキット装着車

オペレーターサービスで目的地周辺の駐車場情報の送信を依頼した場合に、目的地に近づくと最新の満空情報に自動で更新する／しないを選択できます。(→P.184)

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “案内表示設定” を選択。
- 3 “TC 情報マーク連動サービス” を選択。
- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

音声設定をする

VICS 渋滞・規制音声の自動発声を設定する

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約10km 以内）の現況情報を音声案内する／しないを選択できます。（→P.38）

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “音声設定” を選択。

3 “VICS 渋滞・規制音声自動発声” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

- 音声案内はあくまでも参考としてください。
- 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

細街路での音声案内を設定する

目的地周辺で、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートで音声案内する／しないを選択できます。（→P.88）

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “音声設定” を選択。

3 “細街路での音声案内” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

他モード時の案内を設定する

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときに、音声案内する／しないを選択できます。（→P.89）

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “音声設定” を選択。

3 “他モード時の案内” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

ハートフル音声を設定する

通常の目的地案内中の音声案内とは、異なった音声出力する／しないを選択できます。

ハートフル音声の例

- 自宅を目的地に設定して、目的地に到着したとき
「お疲れさまでした」

- 最初にナビゲーションシステムを立ち上げたとき

- ・ 音声 1：「今日は○月○日○曜日です」
- ・ 音声 2：「今日は○月○日○曜日です」
「○○の日です」

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “音声設定” を選択。

3 “ハートフル音声” を選択。

4 “音声 1”、“音声 2” または “しない” を選択。

知識

- 状況などにより異なった音声出力されたり、他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。

案内時の割込み音を設定する

音声案内時の割込み音（ポーン）を、“音 1”（低音）、“音 2”（高音）、“しない” から選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “音声設定” を選択。

3 “案内時の割込み音” を選択。

4 “音 1”、“音 2” または “しない” を選択。

知識

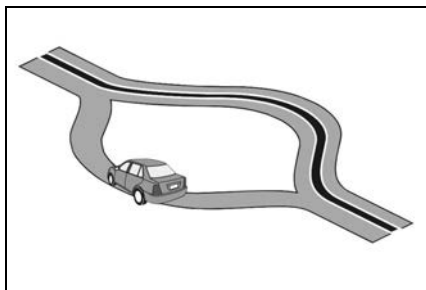
- 消音を選択すると、予報音の出力をしません。

ルート系設定をする

ルート学習を設定する

ルート探索時に、いつも通る道を考慮したルートで案内する／しないを選択できます。

「する」に設定した場合、目的地案内中に、ルートとは異なる道路を走行した場合にそのルートを学習します。何度か同じように走行し、学習が完了すると次のルート探索時に学習したルートで案内させることができます。



1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “ルート系設定” を選択。
- 3 “ルート学習” を選択。
- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

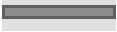
知識

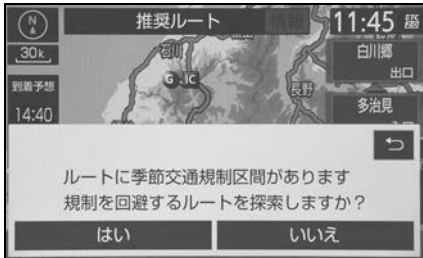
- ハイブリッドナビ（→P.181）をご利用中は、ルート学習機能を活用いただけません。そのため、ハイブリッドナビをご利用中は、ルート学習を設定する必要がありません。
- ・ ハイブリッドナビは T-Connect の利用契約中であり、マップオンデマンドのサービス利用期間中にご利用いただけます。
- ルート学習する区間に、一部でも幅5.5m 未満の道路が含まれている場合は、ルート学習をすることができません。（自宅登録時の自宅周辺を除く）
- ルート学習は、ルート探索時の推奨ルートに反映されます。
- ルート学習した道が使われない場合があります。
- 自転車位置マーク  が実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。（高速道路、またはバイパスのような高架道路と並行している道路がある場合など）
- 地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。

ルート学習結果を消去する

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “ルート系設定” を選択。
- 3 “ルート学習結果の消去” を選択。
- 4 “はい” を選択。

季節規制メッセージの表示を設定する

冬期通行止めになる道路など、長期間に渡り規制される区間を含むルートが探索されたとき、メッセージを表示する／しないを選択できます。規制区間は、全ルート図表示画面にルートが  (青枠のオレンジ色) で表示されます。



1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “ルート系設定” を選択。
- 3 “季節規制メッセージ表示” を選択。
- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

- 季節規制区間を迂回するルートを探したいときは、「季節規制区間の迂回ルートを探す」(→P.101)をご覧ください。
- 地図データに情報のない規制区間では、ルートの色は変わらず、メッセージも表示されません。

フェリールートの利用を設定する

フェリーを利用するルートを探索する／しないを選択できます。フェリーの航路は ----- (破線) で表示されます。



1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “ルート系設定” を選択。
- 3 “フェリールート利用” を選択。
- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

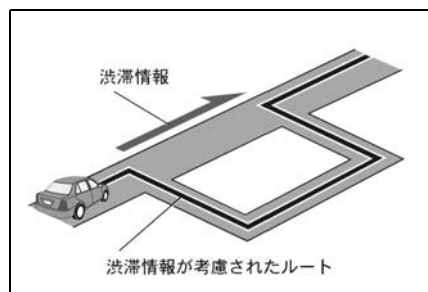
知識

- フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

渋滞考慮探索を設定する※

※ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ（光ビーコン機能付）装着車／T-Connect ナビキット装着車

ビーコンからの現況 VICS 情報が受信されたとき、受信された渋滞・規制情報を考慮したルートを探索する／しないを選択できます。



1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “ルート系設定” を選択。
- 3 “渋滞考慮探索” を選択。
- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

- 現在地から約 10km 以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮されません。
- プローブコミュニケーション交通情報が取得されたとき、より広域の渋滞・規制情報が考慮されたルートを探索できます。（→P.182）

新旧ルート比較表示を設定する※

※ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ（光ビーコン機能付）装着車／T-Connect ナビキット装着車

ビーコンまたはトヨタスマートセンターから提供される現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示する／しないを選択できます。（→P.45）

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “ルート系設定” を選択。
- 3 “新旧ルート比較表示” を選択。
- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

プローブ交通情報の自動取得を設定する※

※ T-Connect ナビキット装着車

以下のタイミングで自動的にルート情報を取得する／しないを選択できます。（→P.182）ハイブリッドナビ（→P.181）利用期間中は、ハイブリッドナビでのルート情報の取得が優先されます。

- ルート案内開始時と、案内開始以降約 20 分ごと
- JCT 手前や高速道路に乗る手前

ハイブリッドナビの利用を設定する※

※ T-Connect ナビキット装着車

ハイブリッドナビ（→P.181）利用期間中にハイブリッドナビの利用する／しないを選択できます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “ルート系設定” を選択。

3 “サーバルルート” を選択。

- 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

その他の設定をする

地図画面のスイッチ表示を設定する

地図画面のを選択したときに、表示するスイッチ類の設定ができます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “その他” を選択。

3 “スイッチ表示設定” を選択。

4 希望のスイッチを選択。

- 文字または記号が灰色のスイッチは、を選択したとき表示されません。

5  を選択。

知識

- “初期状態” を選択すると、初期設定の状態に戻ります。

車両情報を設定する

お車の仕様（サイズなど）を登録しておく、登録した情報をもとに料金案内の表示や提携駐車場の検索をします。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “その他” を選択。
- 3 “車両情報設定” を選択。
- 4 “全長”、“全幅”または“全高”を選択。
-  または  を選択して寸法を設定する。
- 5 “ナンバー” を選択。
- “1”、“3”または“5・7”のいずれかのナンバープレートの分類番号を選択します。

知識

- “初期状態”を選択すると、初期設定の状態（寸法が設定されていない状態）に戻ります。
- 目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。
- 車両寸法については、車検証をご覧ください。

目的地履歴を消去する

目的地設定した地図の地点を消去できます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “その他” を選択。
- 3 “目的地履歴の消去” を選択。
- 4 消去する地点名称を選択。



- 5 “はい” を選択。
- すべての目的地履歴を選択するときは、“全消去” → “はい” の順に選択します。

知識

- 目的地設定した地図の地点が 100 力所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

ナビを補正する

自転車位置マークがずれているとき

地図上の自転車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。

GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

- 現在地の自動補正は、数分かかることがあります。
- 1/8万図より詳細な地図で補正することができます。

現在地を修正する

実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されている（自転車位置マークがずれている）とき、自転車位置マークの位置と向いている方向を修正することができます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “その他” を選択。

3 “ナビ補正” を選択。

4 “現在地修正” を選択。

5 を選択して現在地を修正し、“セット” を選択。

6 （反時計回り）、または （時計回り）を選択して方向を修正し、“セット” を選択。



距離を補正する

走行中、地図上の自転車位置マークの進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき、自転車位置マークの進み方を修正することができます。

1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “その他” を選択。

3 “ナビ補正” を選択。

4 “自動補正” を選択。

- “自動補正” を選択すると、GPS 情報を利用しながら、しばらく走行し、自動的に補正を行います。

知識

- タイヤ交換を行ったときは自動補正を行ってください。
- 自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自転車位置マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 自動補正モード中は、補正をすることはできません。

注意

- TV キットを装着すると、GPS 遮断／車速遮断が発生し、自転車位置がずれたり、フリーズすることがあります。

VICS/ETC2.0 を設定する

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。※（→P.43）また、現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。（→P.46）

※ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ（光ビーコン機能付）装着車

ユーザーカスタマイズを設定する

ナビの各種設定を記憶し、その設定状態を呼び出して使うことができます。設定状態は、3 パターンまで記憶できます。

ナビ設定を記憶する

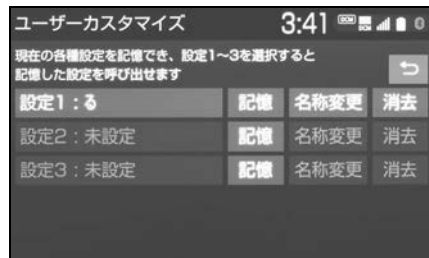
1 ナビ詳細設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。

2 “その他” を選択。

3 “ユーザーカスタマイズ” を選択。

4 “記憶” を選択。



- 新規で記憶するときは、ソフトウェアキーボードを使用して名称

を入力し、“OK”を選択します。

- 設定 1 ～ 3 の名称を変更したいときは、“名称変更”を選択して名称を入力し、“完了”を選択します。
 - 設定を消去したいときは、“消去”→“はい”の順に選択します。
- 5 “はい”を選択。
- 手順 4 ですでに記憶されている設定を選んだときは、“はい”を選択すると上書きされます。

ナビ設定を呼び出す

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU”スイッチ→“設定・編集”→“ナビ”→“ナビ詳細設定”の順に選択。
- 2 “その他”を選択。
- 3 “ユーザーカスタマイズ”を選択。
- 4 “設定 1”、“設定 2”または“設定 3”を選択。

知識

- 次の設定項目を記憶することができます。
 - ・ 地図向きの設定 (→P.21)
 - ・ 地図表示縮尺の設定 (→P.19)
 - ・ 周辺施設走行中呼出ジャンルの設定 (→P.129)
 - ・ 音量設定 (→P.89)
 - ・ メンテナンス自動通知の設定 ※1
 - ・ ナビ詳細設定一覧の設定 ※2 (→P.113)
 - ・ 安全・快適走行設定一覧の設定 (→P.130)
 - ・ VICS・交通情報の表示設定 (→P.37)
 - ・ VICS 割込情報の表示設定 (→P.43)

※1 詳しくは、別冊「マルチメディア取扱

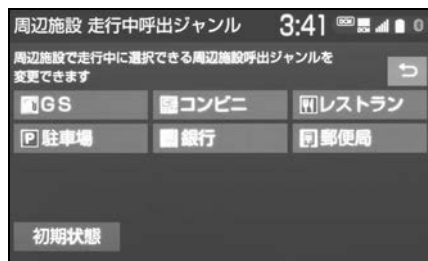
書」をご覧ください。

※2 ルート学習、車両情報設定は記憶することができません。

周辺施設の走行中の呼出ジャンルを設定する

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU”スイッチ→“設定・編集”→“ナビ”→“ナビ詳細設定”の順に選択。
- 2 “その他”を選択。
- 3 “周辺施設走行中呼出ジャンル”を選択。
- 4 変更したい施設のジャンルを選択。



- 5 施設のジャンルを選択。
- 6 表示させたい施設のジャンルを選択。
- 7  を選択。

目的地検索画面の並びを変更する

目的地検索画面の 1 ページ目に表示する項目を変更することができます。

- 1 ナビ詳細設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “ナビ詳細設定” の順に選択。
- 2 “その他” を選択。
- 3 “目的地メニューカスタマイズ” を選択。
- 4 希望の項目を 5 つ選択。
- 5 “完了” を選択。

安全・快適走行の設定

安全・快適走行の設定では、運転中に注意する地点の案内について設定することができます。

⚠ 警告

- 安全・快適走行設定の案内は、あくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

安全・快適走行設定画面を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “車両” を選択。
- 4 “安全・快適走行設定” を選択。
- 5 各項目を設定する。



□ 知識

- ITS Connect ★を装着した場合、DSSS の案内・注意喚起は、ブザー音とともにマルチインフォメーションディスプレイなどに表示されます。詳しくは、別冊「取扱書」をご覧ください。
- ITS Connect ★を装着した場合、

DSSS の設定項目は安全・快適走行設定画面に表示されません。DSSS それぞれの設定は、マルチインフォメーションディスプレイで設定できます。詳しくは、別冊「取扱書」をご覧ください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

一時停止案内を設定する

一時停止交差点に近づいたときに、案内マーク（：赤／黒色）と音声で案内する／しないを選択できます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。

2 “一時停止案内” を選択。

● 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

● 一時停止案内は東京 23 区、政令指定都市、中核市における片側 2 車線以上の道路に侵入する一時停止交差点が対象です。

● 以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。

- ・ 地図データに情報のない地点
- ・ 自車位置が正確に特定できないとき
- ・ 進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき

● 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。

- ・ 一時停止交差点が連続するとき
- ・ 他のナビ音声案内などと重なるとき

● 以下のようなときは、誤って一時停止

案内を行う場合があります。

- ・ 自車位置が正確に特定できないとき
- ・ 地図データと実際の道路状態が変わったとき（信号機付き交差点に変わったなど）

一時停止注意喚起（DSSS）を設定する※

※ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ（光ビーコン機能付）装着車

一時停止交差点に近づいてもアクセルペダルを踏んでいる状況など、ドライバーが一時停止を見落としているとシステムが判断した場合、喚起マーク（：赤／黄色）と音声で「ピピッ、一時停止です」と注意喚起する／しないを選択できます。

DSSS については、「DSSS（Driving Safety Support Systems）運転支援機能について」（→P.30）をご覧ください。

1 安全・快適走行画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。

2 “一時停止注意喚起（DSSS）” を選択。

● 選択することにより、する／しないが切り替わります。

一時停止注意喚起タイミング (DSSS) を設定する ※

※ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビ
キット連動タイプ（光ビーコン機能付）
装着車

一時停止注意喚起をするタイミ
ングの早い／遅いを設定できます。

- 1 安全・快適走行画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。
- 2 “一時停止注意喚起タイミング（DSSS）” を選択。
- 3 “早い” または “遅い” を選択。

赤信号注意喚起（DSSS）を 設定する ※

※ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビ
キット連動タイプ（光ビーコン機能付）
装着車

赤信号交差点に近づいてもアクセルペダルを踏んでいる状況など、ドライバーが赤信号を見落としているとシステムが判断した場合、喚起マーク（) と音声で「ピピッ、信号注意」と注意喚起する／しないを選択できます。

DSSS については、「DSSS（Driving Safety Support Systems）運転支援機能について」（→P.30）をご覧ください。

- 1 安全・快適走行画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快

適走行設定” の順に選択。

2 “赤信号注意喚起 (DSSS)” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

- 以下のようなときは、赤信号注意喚起が作動しない、または実際の信号表示と異なる場合があります。
- ・ DSSS 用光ビーコンを通過後、信号情報が変化し、受信した信号情報が実際の信号表示と異なるとき
- ・ 信号機に矢印信号が点灯しているとき
- ・ 信号機の制御方式等により、DSSS 用光ビーコンから送信される信号情報が不確定なとき

赤信号注意喚起タイミング (DSSS) を設定する ※

※ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビ
キット連動タイプ（光ビーコン機能付）
装着車

赤信号注意喚起をするタイミ
ングの早い／遅いを設定できます。

- 1 安全・快適走行画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。
- 2 “赤信号注意喚起タイミング（DSSS）” を選択。
- 3 “早い” または “遅い” を選択。

信号待ち発進準備案内 (DSSS) を設定する ※

※ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビ
キット連動タイプ（光ビーコン機能付）
装着車

赤信号で停車したとき、信号待ち時間の目安をナビゲーション画面に表示する／しないを選択できます。待ち時間が短くなると、周囲の状況確認を促すメッセージを表示します。

DSSS については、「DSSS (Driving Safety Support Systems) 運転支援機能について」(→P.30) をご覧ください。

▶ 待ち時間が十分にある場合



▶ 待ち時間が少ない場合



- 右の右向き矢印ボタンを選択すると、信号待ち時間表示を消すことができます。再度表示するには、地図画面で“表示変更”→“信号待ち発進準備案内”の順に選択します。

1 安全・快適走行画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。

2 “信号待ち発進準備案内 (DSSS)” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

- 以下のようなときは、信号待ち発進準備案内が作動しない、または実際の信号表示と異なる場合があります。
 - ・ 停車時点で赤信号の待ち時間が少ないとき
 - ・ 信号機に矢印信号が点灯しているとき
 - ・ 信号機の制御方式等により、DSSS 用光ビーコンから送信される信号情報が不確定なとき

前方停止車両存在案内 (DSSS) を設定する ※

※ ETC2.0 ユニット (ビルトイン) ナビ
キット連動タイプ (光ビーコン機能付)
装着車

前方が見えにくい場所に停止車両
または低速車両が存在する場合、
案内マーク (前方注意) と音声で「ポー
ン、この先、前方の車にご注意く
ださい」と案内する／しないを選
択できます。

DSSS については、「DSSS
(Driving Safety Support
Systems) 運転支援機能につい
て」(→P.30) をご覧ください。

- 1 安全・快適走行画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。
- 2 “前方停止車両存在案内 (DSSS)” を選択。
- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

- 以下のようなときは、前方停止車両存在案内が作動しない、または実際の道路状況と異なる場合があります。
- ・ DSSS 用光ビーコンを通過後、支援対象地点に進むまでに、停止車両や渋滞などの状況が変化し、受信した検知情報が実際の交通状況と異なるとき
- ・ 停止車両がセンサーの検知範囲外に存在しているとき
- ・ 車両を検出する路上に設置されたセンサーが、車両の特徴や環境条件、経年変化などによって、車両の未検知や誤検知を起こすとき

わき道車両存在案内 (DSSS) を設定する ※

※ ETC2.0 ユニット (ビルトイン) ナビ
キット連動タイプ (光ビーコン機能付)
装着車

見通しが悪い交差点のわき道に車
が存在する場合、案内マーク
(わき道注意) と音声で「ポー
ン、この先、わき道からの車にご注意く
ださい」と案内する／しないを選
択できます。

DSSS については、「DSSS
(Driving Safety Support
Systems) 運転支援機能につい
て」(→P.30) をご覧ください。

- 1 安全・快適走行画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。
- 2 “わき道車両存在案内 (DSSS)” を選択。
- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

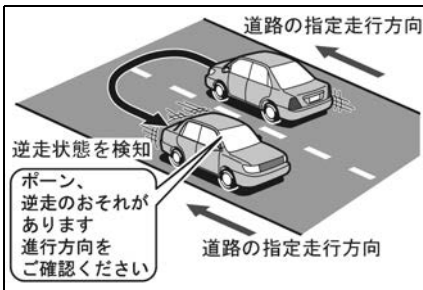
- 以下のようなときは、わき道車両存在案内が作動しない、または実際の道路状況と異なる場合があります。
- ・ DSSS 用光ビーコンを通過後、支援対象地点に進むまでに、前方のわき道に存在する車両の状況が変化し、受信した検知情報が実際の交通状況と異なるとき
- ・ 車両がセンサーの検知範囲外に存在しているとき
- ・ 路上に設置された車両を検出するセンサーが、車両の特徴や環境条件、経年変化などによって、車両の未検知や誤検知を起こすとき

検知を起こすとき

逆走注意案内を設定する

サービス対象道路※にて、逆走状態を検知し、画面表示と音声で「ポーン、逆走のおそれがあります。進行方向をご確認ください」と案内する／しないを選択できます。

※ サービス対象道路は、都市間高速道路・都市高速道路・一部の有料道路の本線および IC・JCT・SA・PA 施設です。



1 安全・快適走行画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。

2 “逆走注意案内” を選択。

● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

知識

- 以下のようなときは、逆走注意案内が行なわれない場合があります。
 - ・ サービス対象道路以外を走行している場合
 - ・ 「本線、または本線に繋がる区間での U ターン、SA・PA 進入路からの逆走」以外の方法で逆走する場合（一般道から高速道出口へ進入し逆走する場合など）
 - ・ ナビゲーション、またはナビゲーションの各種センサーが故障している場合
 - ・ ナビゲーションが、サービス対象道路を走行中であることを特定できていない場合
 - ・ 地図データに情報のない道路を走行している場合
 - ・ 急激な回転をした場合
 - ・ 自転車位置補正、方位補正が行われた直後
 - ・ 地図更新が行われた直後
 - ・ 料金所付近を走行している場合
 - ・ 本線への合流区間が短い場合
 - ・ スマート IC 付き SA・PA、その他特定の SA・PA である場合
- 以下のようなときは、誤って逆走注意案内が行なわれる場合があります。
 - ・ 自転車位置を逆走対象道路上と誤認識し、U ターン動作をした場合
 - ・ 自転車位置マーク  の位置が正しくない場合
 - ・ 料金所手前などの U ターンが禁止されている場所で、逆走とはならない U ターンを行った場合
 - ・ SA・PA 内で交通規制に従わない走行を行った場合（SA・PA 内での一方通行違反等）
 - ・ 重大事故発生時などの警察・道路管理会社の誘導により U ターンを行った場合

道路形状案内を設定する

注意する地点の案内がある場所に近づくと、案内マークと音声でお知らせします。

知識

- 地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。
- 以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。
 - ・ 目的地案内開始直後
 - ・ 再探索直後
 - ・ 目的地周辺
- 現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。
- 道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。

踏切案内を設定する

踏切に近づくと、案内マーク()と音声で案内する／しないを選択できます。

- 1 安全・快適走行画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。
- 2 “踏切案内” を選択。
 - 選択することにより、する／しないが切り替わります。

合流案内を設定する

合流道路に近づくと、案内マーク(, )と音声で案内する／しないを選択できます。

- 1 安全・快適走行画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。
- 2 “合流案内” を選択。
 - 選択することにより、する／しないが切り替わります。

カーブ案内を設定する

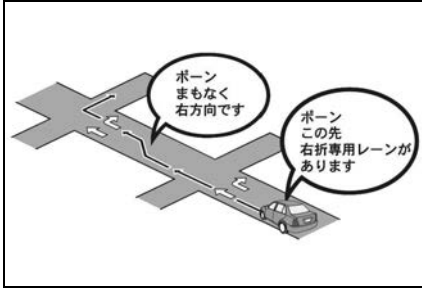
急カーブに近づくと、案内マーク(, , , )と音声で案内する／しないを選択できます。

- 1 安全・快適走行画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。
- 2 “カーブ案内” を選択。
 - 選択することにより、する／しないが切り替わります。

レーン案内を設定する

都市高速道路走行中、レーン数減少地点に近づくとき、案内マーク（、）と音声で案内する／しないを選択できます。

右折・左折専用レーン案内の例



直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくとき「この先 右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折・左折専用レーン案内はされません。この場合は「ポーン まもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。

2 “レーン案内” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

- 右折・左折専用レーンでは、案内マークは表示されません。

事故多発地点案内を設定する

交通事故が多発している地点を案内する／しないを選択できます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。

2 “事故多発地点案内” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

- 一般道路上では、交通事故が多発している地点に案内マーク（：赤色）が表示されます。1/5 千図～1/8 万図の地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
- 高速道路上では、交通事故が多発している地点に近づくとき、案内マーク（：黄色）が表示され、音声で案内します。

学校存在案内を設定する※

※ T-Connect ナビキット装着車

学校に近づくと、案内マーク
()と音声で案内する／しない
を選択できます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。

2 “学校存在案内” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

知識

- 案内できる学校は、全国の小学校・中学校・養護学校（聾学校・盲学校含む）・外国人学校※の小学校・中学校です。

※ 専有校舎物件のみ。

- 以下のようなときは、学校存在案内が行われない場合があります。

- ・ 地図データに情報のない地点
- ・ 土曜日、日曜日
- ・ 午後 7 時～午前 7 時
- ・ 自宅登録時の自宅周辺
- ・ 一部の有料道路や自動車専用道路を走行中

- 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。

- ・ 案内表示中に別の学校に近づいたとき
- ・ 他のナビ音声案内などと重なるとき

先読みエコドライブを設定する★

★：車種、グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

先読みエコドライブ（→P.141）機能の利用をする／しないを選択できます。

1 安全・快適走行画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” → “安全・快適走行設定” の順に選択。

2 “先読みエコドライブ” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

NaviCon (スマートフォン連携)

NaviCon は多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチでカーナビに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。

NaviCon について



- NaviCon (iOS 版／Android 版) は無料でご利用いただけます。
入手方法や詳しい情報は下記サイトをご覧ください。
NaviCon サポートサイト：<https://navicon.com/>



■ 本機との接続方法

接続方法	iOS デバイス	Android デバイス
Bluetooth (無線)	○	○
USB (有線)	○	×

■ 本機の対応機能

目的地設定	複数地点設定	地図操作	友達マップ連携
○	○	○	×

※ NaviCon は株式会社デンソーの登録商標です。

先読みエコドライブ★

★：車種、グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

本システムは走行の状況や交通情報をもとに作動し、優れた実燃費に貢献する機能です。先読みエコドライブについては、車両の取扱書も参照してください。

- 先読みエコドライブ機能の利用をする／しないを設定できます。(→P.138)

先読み減速支援

運転者のペダル操作や車速から、いつも同じ場所で減速・停止している場所を支援ポイントとして蓄積し、自動的に登録します。

登録されたポイントは、先読み減速支援地点として地図上にアイコン  表示されます。また、自転車位置が登録された支援ポイントに接近すると、アイコンの強調表示  に切り替わります。

システムや走行の状況により、アクセル OFF 操作後に、エンジンブレーキ量も拡大します。減速・停止シーンにおいて、駆動用電池の充電量を増やすことができ、優れた実燃費に貢献します。

先読みエコドライブ情報を表示する

地図上に先読み減速支援地点のアイコンを表示することができます。

- 1 地図画面上の“表示変更”を選択。
- 2 “先読みエコドライブ情報表示”を選択。

- 先読み減速支援地点には地図上にアイコン  が表示されます。また、自転車位置が先読み減速支援地点に接近するとアイコンが  に切り替わります。

知識

- 1画面で表示できるアイコンの上限数は100個です。
- アイコン表示上限数を超える場合は、自転車位置から近い先読み減速支援地点を表示します。
- 1/8万図より詳細な地図で表示することができます。(市街地図を除く)
- 目的地を設定している場合、案内ルート上にない先読み減速支援地点は強調されません。

先読みエコドライブ情報を解除する

- 1 地図画面上の“表示変更”を選択。
 - 2 “先読みエコドライブ情報解除”を選択。
- “先読みエコドライブ情報解除”選択後、先読みエコドライブ情報の消去確認画面が現れます。登録されているポイントを削除する場合は“はい”を選択し、削除しない（アイコン表示のみを解除する）場合は“いいえ”を選択してください。

知識

- 一度削除した先読み減速支援地点情報を復元することはできません。
- 先読み減速支援地点情報を個別に選択して、削除することはできません。

先読み SOC 制御

この先の道路、および交通状況を読み、実際の走行に沿って駆動用電池の充放電量をより効率的に制御します。

これにより、優れた実燃費に貢献します。駆動用電池の容量には限りがあり、満充電になってしまい回生ができない、電池が枯渇してしまい強制的にエンジンで充電する、といったことを先読みすることで事前に駆動用電池を調整し、有効に活用することができます。

知識

- 本機能はナビの案内稼働中、かつそのルート上に車両がいる場合に実施されます。（駐車場等では実施されません。）
- 複数の目的地点を登録した場合、最終の目的地まで実施されます。

GPS について

GPS (Global Positioning System : 汎地球測位システム) は、米国が開発・運用しているシステムで、通常 4 個以上、場合により 3 個の人工衛星を利用して、利用者の現在位置（緯度・経度など）を知ることができます。本機は GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。

GPS 情報について

■ GPS 情報を利用できないとき

以下のようなときは、GPS 情報を利用できないことがあります。

- ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断されるとき
- GPS アンテナの上に物を置くなどして電波が遮断されるとき
- 人工衛星が電波を出していないとき（米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）を GPS アンテナ付近で使用したとき

■ システムの特性上、避けられないズレ

このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉

できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

ナビの精度について

■ 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されているとき

以下のような車両の状態（走行場所や運転条件）のときは、実際の現在地と異なる場所に自転車位置マーク  が表示されている（自転車位置マーク  がずれている）ことがあります。

- 角度の小さな Y 字路を走行しているとき、他方の道に自転車位置マーク  が表示されることがあります。
- 隣の道路に自転車位置マーク  が表示されることがあります。
- 市街図を表示させているとき、自転車位置マーク  やルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
- 市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自転車位置マーク  が表示されることがあります。
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自転車位置マーク  が移動前の位置になっていることがあります。
- 自転車位置マーク  を手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき

- 12Vバッテリーターミナルを脱着したあと
- らせん状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道路に出るとき
- 渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時
- 砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- タイヤを交換したとき（とくに応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ使用時）
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したとき
- タイヤの空気圧が4輪とも指定の空気圧でないとき
- 摩耗したタイヤに交換したとき（2シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）
- ビルの近くを走行したとき
- キャリヤを取りつけたとき
- 高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

■ 適切な目的地案内が行われな とき

探索条件や走行場所により、以下のように適切な目的地案内が行われなことがあります。

- 直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。
- 交差点で曲がるのに、案内が行われなことがあります。
- 案内が行われな交差点があります。
- Uターン禁止の場所で、Uターンするルートの案内が行われることがあります。
- 実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路、道幅が狭い道路など）の案内が行われることがあります。
- 目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われなことがあります。
- ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。
- 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マークが表示されている場合、誤った案内をすることがあります。

■ ルートを再探索したとき

ルート再探索時、以下のようなことがあります。

- 再探索時のルートの表示が、次の右左折までに間に合わないことがあります。
- 高速走行時の再探索時間が長いことがあります。
- 再探索時に、ルートが遠まわり

(大まわり) になることがあります。

- 通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へ戻るルートが表示されることがあります。
- 再探索しても、ルートがかわらないことがあります。
- ルートが探索されないことがあります。

■ タイヤ交換をしたとき

- このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(→P.128)

自車位置マークがずれているとき

地図上の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。

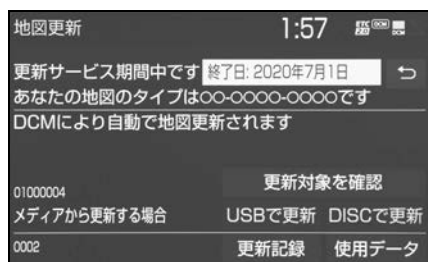
GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。
(→P.127)

- 現在地の自動補正は、数分かかることがあります。
- 1/8万図より詳細な地図で補正することができます。

地図データ情報

データベースの情報を見る

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “地図更新” を選択。
- 5 “使用データ” を選択。



知識

- エントリーナビキット装着車の場合は、一部表示内容が異なります。

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。

なお、このナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

知識

- 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が 3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が 3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データの更新について

地図データは、以下の方法で更新することができます。

■ 全更新

最新版地図ソフトを購入いただき、全ての地図データを更新します。詳しくは、トヨタ販売店にご相談ください。

■ 差分更新

通信またはパソコン（USB メモリー）を使用して、部分的に地図データを更新します。詳しくは、「マップオンデマンド（地図差分更新）」（→P.174）をご覧ください。

知識

- 全更新するときは、それまでの差分更新のデータと比較し、古い情報のみ更新され、最新の情報はそのまま保存されます。
- 最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了する場合があります。
- 全更新は、お買い上げのトヨタ販売店で行います。また、トヨタ販売店での更新作業には、作業時間に応じた費用が別途、発生する場合があります。詳しくは、お買い上げのトヨタ販売店にお問い合わせください。

地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図、数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）、数値地図（国土基本情報）基盤地図情報（数値標高モデル）及び基盤地図情報を使用しました。（承認番号 平30情使、第907-001号）

この地図作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法 第44条に基づく成果使用承認 01-0040）

©2016 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© アイシン・エイ・ダブリュ（株）
& ZENRIN CO.,LTD. & （株）
トヨタマップマスター

■ 交通規制データの出典

この地図に使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を使用しています。

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を、株式会社トヨタ

マップマスターが加工して作成したものを使用しています。

■ 道路交通規制の優先

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

■ 交通事故多発地点

地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁及び国土交通省のデータを基に作成してあります。

■ 渋滞考慮探索及び周辺迂回路探索

JARTIC/VICS の情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が作成したデータを使用しています。

■ 統計交通情報

統計交通情報データは、JARTIC/VICS 及び独自で収集した交通情報を基にトヨタコネクティッド株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

■ 道路交通情報データ

- 道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。データ作成には、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICS センター）の技術が用いられています。

■ 渋滞考慮探索

- 渋滞考慮探索は、JARTIC/VICS の情報、プローブコミュニケーション交通情報を基にアイシン・エイ・ダブリュ株式会社が作成したデータを使用しています。

■ 渋滞考慮探索機能（交通情報予測機能）

- 渋滞考慮探索機能（交通情報予測機能）はアイシン・エイ・ダブリュ株式会社の提供です。

こんなメッセージが表示されたとき

次のメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ一覧

メッセージ	原因	処置
自宅が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、“自宅周辺”を選択したため。	自宅を登録してからお使いください。(→P.102)
特別メモリ地点が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺“1”～“5”または特別メモリに行く“1”～“5”を選択したため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。(→P.104)
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を表示したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	1/8 万図より広域の地図で、目的地・メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。(現在地画面(地図画面)から地点登録するときを除く)	目的地・メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図(1/8 万図以下)で行ってください。

メッセージ	原因	処置
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	“はい”を選択したあと、地図を道路付近に移動して、“セット”を選択し、目的地を設定してください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	表示されている位置に目的地を設定するときは、“いいえ”を選択してください。
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。 (→P.105)
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点（自宅・特別メモリ地点含む）400カ所・Gメモリ地点情報100カ所登録しているときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。 (→P.107)
指定したICは時間規制によりご利用できない場合があります IC指定を続けますか？	指定したICに時間規制があるため。	指定を続けるとき、“はい”を選択してください。 指定をやめるとき、“いいえ”を選択してください。
指定された出入口ICは規制があります ご注意ください	時間規制のあるICを利用時、時間内に通過できないおそれがあるため。	指定している前後のICから乗降してください。
〇〇〇〇上に目的地を設定しますか？ (高速道路、有料道路など)	高速道路、有料道路上などで目的地を設定しようとしたため。	そのまま設定するときは、“設定する”を選択してください。 別の道路に設定するときには、“他の道路”を選択してください。

メッセージ	原因	処置
指定された区間の前後に乗降 IC または通過道路が決定済みです 指定を解除しますか？	乗降 IC または通過道路を指定してある前後に目的地を追加しようとしたため。	乗降 IC または通過道路の指定を解除して目的地の追加を続けるときは、“はい”を選択してください。 乗降 IC または通過道路の指定を解除せず目的地の追加を続けるときは、“いいえ”を選択してください。
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。
該当する施設がありません	施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	条件を変更して、再度検索してください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

よくあるお問い合わせ

症状	考えられること	処置
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。(→P.12)
自転車位置マーク  が表示されない。		
GPS マークが表示されない。	GPS 情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPS アンテナ上部(→P.11)に物が置いてあるときは、移動させてください。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。(→P.80)
	案内の音量が小さく(音声 OFF に)になっていませんか。	音量を大きくしてください。(→P.89)
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ON にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。

症状	考えられること	処置
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか。	コントラスト、明るさを調整してください。詳しくは、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。
実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている。 (自車位置マークがずれている。)	人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。) GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。(→P.127)

2-1. 音声操作システムについて

音声操作システム 156

2-2. 音声認識の操作

音声認識を利用する (T-Connect
契約がないとき) 158

音声認識コマンド一覧 160

音声認識の設定 165

音声操作システム

音声操作システムを使用して、目的地や情報の検索、ナビゲーションや電話などの操作を行うことができます。

知識

- T-Connect ナビキット装着車で T-Connect をご契約されている方は、発話内容や通信環境に応じてエージェント（トヨタスマートセンター対話サービス）と音声認識システムが自動的に切り替わり、利便性の高い音声操作システムをご利用できます。
- T-Connect ナビキット装着車で T-Connect をご契約されていない方およびエントリーナビキット装着車の方は、音声認識システムでナビゲーションや電話などを操作できます。

各部の名称とはたらき

■ トークスイッチについて

トークスイッチは、お車によって異なります。詳しくは、別冊「取扱書」をご覧ください。

音声認識を使用するとき：

- トークスイッチを短く押すと音声操作システムを開始、押し続けると中止します。

Apple CarPlay/Android Auto が接続されているとき：

- トークスイッチを押し続けると Siri/Google Assistant を開始します。中止するには、トークスイッチを短く押します。
- トークスイッチを短く押すと音声操作システムを開始します。

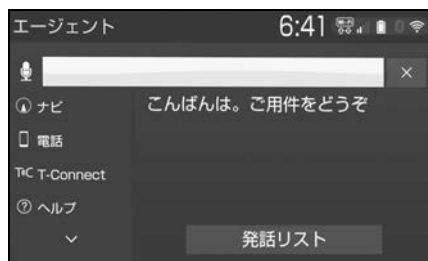
■ 音声認識用マイクについて

音声認識用マイクは、お車によって異なります。詳しくは、別冊「取扱書」をご覧ください。

- 音声認識コマンドを発声するときに使用します。

■ 音声操作システムの画面について

- ▶ エージェント（音声対話サービス）（→P.187）※



- 目的地の検索、設定操作やニュース、天気予報などの情報を音声とテキストでご案内します。また、ナビゲーションや電話なども操作できます。

※ T-Connect ナビキット装着車で
T-Connect をご契約されているとき

- ▶ 音声認識（T-Connect 契約がないとき）（→P.158）

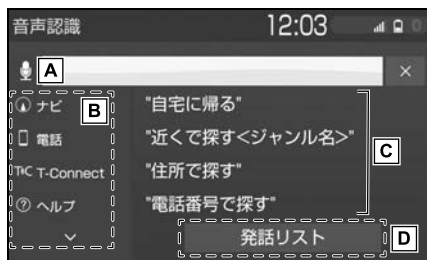


- 音声認識コマンドを発声して、ナビゲーションや電話などの操作を行うことができます。T-Connect が使用できない通信環境でも使用できます。

音声認識を利用する (T-Connect 契約がない とき)

音声認識コマンドを発声して、
ナビゲーションや電話などの操
作を行うことができます。

音声認識画面について



- A** 音声認識中になるとアイコン形状が変化します。
- B** 発話または選択するとガイドメニュー画面が表示されます。
- C** 発声可能なコマンドが表示されます。
- D** 発話または選択すると発話リストが表示されます。
- E** 認識結果が表示されます。
- F** 認識結果に他の候補がある場合に表示されます。

知識

- 音声操作システムは、正しく発声しないと認識されないことがありますので、以下の点にご留意の上、ご使用ください。
 - ・ 音声操作を開始するときは、必ずトークスイッチを短く押してください。
 - ・ “ピッ” という音の後にお願いします。“ピッ” という音の前または同時に発声した場合は、正しく認識されません。
 - ・ ハッキリと発声してください。
 - ・ 声色によっては、認識されづらいこともあります。
 - ・ 騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、発声するときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコン送風の音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
 - ・ 方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで発声してください。
 - ・ 地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで発声してください。
- コマンドの表示を切り替えたいときは、「発話リスト」と発声する、または“発話リスト”を選択してください。なお、表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。
- T-Connect のデータ受信ができないなど、使用できないコマンドは表示されないことがあります。
- 通常はシステムの音声ガイドと“ピッ” という音の後にコマンドを発話しますが、“音声ガイド中の発話受付”を“する”に設定することで、音声ガイド途中にコマンドを発話することができます。(→P.165)

音声認識を操作する

基本的な操作の流れを見ながら、音声操作を開始する方法と、音声認識モード中の基本操作を覚えましょう。

1 トークスイッチを押す。

- 音声操作画面に切り替わり、「ご利用をお話し下さい」という音声ガイドのあと、＜ピッ＞と音がします。

2 発話受付中アイコンに変化したら、希望のコマンドを発声する。



：発話受付中

：発話受付不可

- ＜ピッ＞と音がしてから約 5 秒以内に発声を開始してください。
- 発声を開始したら 約 15 秒以内に発声を完了してください。
- コマンドが認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。

知識

- コマンドの＜XXXX＞は、システムに登録されている施設名称や、ユーザーで登録した電話帳名称などを任意に発声できます。（→P.160）

例）「電話帳でかける ＜XX＞（人名）の自宅」「近くで探す コンビニ」

- ・ ＜XXXX＞を発声することで、操作手

順が短縮されます。

- ・ ＜XXXX＞を省略しても認識されます。

- 発声したコマンドと異なる認識結果のときは、「戻る」と発声し、音声認識を操作する（→P.159）の手順 **2** から操作しなおしてください。

- 候補に希望の結果が表示されているときは、「候補 1」、「候補 2」または「1 番」、「2 番」、「3 番」、「4 番」と発声してください。

- 候補に希望の結果が表示されていないとき、または候補が表示されないときは、「戻る」と発声し、「音声認識を操作する」（→P.159）の手順 **2** から操作しなおしてください。

- 次のような場合は、音声認識モードを中断します。

この場合、トークスイッチを押すと再開できます。

- ・ 「ポーズ」と発話した後。
- ・ 画面上の“ポーズ”を選択した後。

- 「ヘルプ」と発声すると、音声ガイドによる詳しい操作方法を聞くことができます。

- 音声ガイド出力時にトークスイッチを押すと、音声ガイドが途中でも次の動作に移ることができます。

音声認識モードを中止する

次のいずれかの操作をします。

- トークスイッチを押し続ける。
-  を選択。

音声認識コマンド一覧

音声認識モードで表示されるコマンドについて、発声する認識語とそのときの動作をまとめています。

「音声認識を操作する」(→P.159)の手順で、コマンドを発声します。

知識

- 車両に装着されている機能のみ、音声での操作ができます。
- 発話リストには、音声で操作ができるコマンドの一部が表示されます。
- Apple CarPlay/Android Auto 接続中は一部のコマンドは使用できません。

音声認識コマンド一覧

■ 初期画面

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
近くで探す<ジャンル名>	ちかくでさがす 例)「近くで探すコンビニ」「近くのコンビニ」	希望の(ジャンル名)のうち、より近いところを探す
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する

- 初期画面表示中に“発話リスト”を選択、または「発話リスト」と発話することにより以下のコマンドリストが表示されます。

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
近くで探す<ジャンル名>	ちかくでさがす 例)「近くで探すコンビニ」「近くのコンビニ」	近くの施設(ジャンル)を目的地に設定し、ルートを表示する
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する

コマンド名称	認識語	動作
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する
施設で探す	しせつでさがす	施設名から目的地を設定し、ルートを表示する
メモリ地点で探す ＜メモリ地点名＞	めもりちてんでさがす 例)「メモリ地点で探す XXX※1」「メモリ地点 XXX※1」	(メモリ地点) へのルートを表示する
施設表示＜ジャンル名＞	しせつひょうじ 例)「施設表示病院」	施設ジャンルのアイコンを地図上に表示する
目的地削除	もくてきちさくじょ	設定したルートを消去する
電話履歴	でんわりれき	発着信履歴画面を表示する
電話帳でかける＜電話帳名＞	でんわちょうでかける 例)「電話帳でかける XXX※2」「電話帳 XXX※2」	(電話帳名) へ電話をかける
T-Connect を実行※3	ていーこねくとをじっこう	T-Connect サービスのコンテンツを表示する※4
＜T-Connect コンテンツ名＞※3	例)「オペレーターサービス※4」など	T-Connect サービスの (コンテンツ名) を実行する
ヘルプ	へるぷ	操作方法の音声ガイダンスを出力する
中止	ちゅうし	音声認識モードを中止する

※1 登録したメモリ地点名称を発声してください。

※2 任意の電話帳名を発声してください。

※3 T-Connect ナビキット装着車

※4 トヨタスマートセンターから設定されたコンテンツを利用できます。

■ ガイドメニュー画面の表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
ナビゲーション	なびげーしょん	ナビ操作コマンドを表示する
電話	でんわ	電話操作コマンドを表示する
T-Connect※1	ていーこねくと	T-Connect コマンドを表示する

コマンド名称	認識語	動作
ヘルプ	へるぷ	操作方法の音声ガイダンスを出力する
SmartDeviceLink TM ※2	すまーとでばいすり んく	SmartDeviceLink TM 操作コマンドを表示する

※1 T-Connect ナビキット装着車

※2 この機能は現在使用できません。

● ガイドメニュー画面で、各機能選択後に“発話リスト”を選択、または「発話リスト」と発話することにより以下の発話リストが表示されます。

▶ ナビゲーションの発話リスト

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
近くで探す	ちかくでさがす	近くの施設を目的地に設定し、ルートを表示する
近くで探す<ジャンル名>	ちかくでさがす 例)「近くで探すコンビニ」「近くのコンビニ」	施設ジャンルのアイコンを地図上に表示する
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する
施設で探す	しせつでさがす	施設名から目的地を設定し、ルートを表示する
メモリ地点で探す	めもりちてんでさがす	登録したメモリ地点を目的地に設定し、ルートを表示する
メモリ地点で探す<メモリ地点名>	めもりちてんでさがす 例)「メモリ地点で探す XXX※」「メモリ地点 XXX※」	
施設表示<ジャンル名>	しせつひょうじ 例)「施設表示病院」	(ジャンル名)の施設の記号を地図上に表示する
施設消去<ジャンル名>	しせつしょうきょ 例)「施設消去病院」	(ジャンル名)の施設の記号を地図上から消去する
目的地削除	もくてきちさくじょ	設定したルートを消去する

コマンド名称	認識語	動作
案内中止	あんないちゅうし	ルート案内を中止する
案内再開	あんないさいかい	中止したルート案内を再開する

※ 登録したメモリ地点名称を発声してください。

▶ 電話の発話リスト

コマンド名称	認識語	動作
電話履歴	でんわりれき	発着信履歴画面を表示する
電話帳でかける	でんわちょうでかける	電話帳から電話をかける
電話帳でかける<電話帳名>	でんわちょうでかける 例)「電話帳でかける XXX※」「電話帳 XXX※」	(電話帳名)の電話をかける
電話番号でかける	でんわばんごうでかける	電話番号から電話をかける
電話番号でかける<電話番号>	でんわばんごうでかける<でんわばんごう>	(電話番号)に電話をかける

※ 任意の電話帳名を発声してください。

▶ T-Connect の発話リスト ※¹

コマンド名称	認識語	動作
T-Connect を実行	ていーこねくとを じっこう	T-Connect サービスのコンテンツを表示する ※ ²
T-Connect を実行<コンテンツ名>	ていーこねくとを じっこう 例)「オペレーター サービス」	T-Connect サービスのコンテンツを実行する ※ ²
< T-Connect コンテンツ名>	例)「オペレーター サービス ※ ² 」など	(T-Connect コンテンツ名) を実行する
Apps を使う	あっぱすをつかう	アプリを表示する
<アプリ名>を起動	<あぱりめい ※ ³ > をきどう	アプリを起動する

コマンド名称	認識語	動作
<アプリ名>を終了	<あぶりめい ^{※3} > をしゅうりょう	アプリを終了する
<アプリ名>	<あぶりめい ^{※3} >	アプリを起動する
マイリクエストを実行	まいりくえすとを じっこう	マイリクエストを表示する
マイリクエストを実行<コンテンツ名>	まいりくえすとを じっこう<こんてん つめい>	マイリクエストを実行する

※¹T-Connect ナビキット装着車

※²トヨタスマートセンターから設定されたコンテンツを利用できます。

※³T-Connect アプリストアからインストールしたアプリ名を発声してください。

▶ SmartDeviceLinkTM の発話リスト[※]

コマンド名称	認識語	動作
SmartDeviceLink TM を使う	すまーとでばいすり んくをつかう	SmartDeviceLink TM アプリを表示する

※ この機能は現在使用できません。

▶ 車両連携（エアコン／パワーウィンドウ等）の発話リスト^{※1, 2}

音声認識画面（→ P.158）のガイドメニューから“車両”を選択し、“発話リスト”を押してご確認下さい。

※¹各機器が音声操作に対応している車両でのみ表示されます。

※²T-connect 利用契約が必要な場合があります。

音声認識の設定

音声認識の設定をする

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “音声認識” を選択。
- 4 音声ガイドの設定をする。



- A** 操作時の音声ガイドの再生する／しないを選択できます。
- B** 音声ガイド途中でのコマンド発話受け付けのする／しないを選択できます。

T-Connect (T-Connect ナビキット装着車)

3

3-1. はじめに

T-Connect について 168

3-2. T-Connect トップ画面

T-Connect トップ画面 169

3-3. 画面操作の説明

T-Connect Viewer 170

TC 情報マークを表示する 173

3-4. サービスの使い方

マップオンデマンド（地図差分更新） 174

ハイブリッドナビ 181

T ルート探索（プローブ情報付） 182

オペレーターサービス 184

エージェント 187

渋滞予測を表示する 191

WEB で目的地を検索する 195

G メモリ地点 196

T-Connect の Apps を使用する 197

3-5. 各種登録・設定

T-Connect 設定を変更する 201

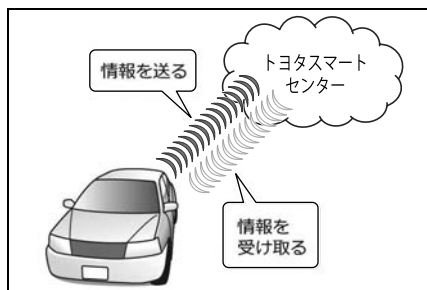
契約内容・契約者情報の確認・変更 206

3-6. ESPO

ESPO について 208

T-Connect について

T-Connect について



専用通信機 (DCM) に車載機を接続することで、「安心・安全・快適・便利」な車向けサービスがご利用いただけます。

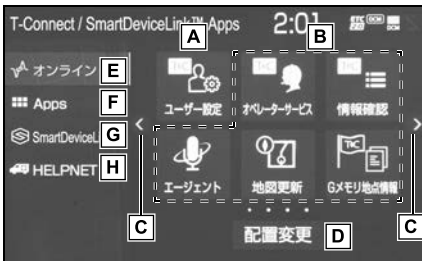
ご利用前の注意点、サービスの概要、利用手続き等については、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。本書では T-Connect ナビキット装着車をご利用できるサービスについて説明します。

T-Connect トップ画面

T-Connect 画面から、
T-Connect の各コンテンツを
起動することができます。

T-Connect 画面の使い方

- 1 “TC” スイッチを押す。
- 2 希望の項目を選択。



- A** ユーザー設定画面を表示します。(→P.206)
- B** 選択すると該当のコンテンツを起動します。
 - ・ご利用のサービス、車種により、表示されるスイッチは異なります。
- C** ページを切り替えます。
- D** スイッチの表示位置の入れ替え、追加、削除をします。
 - ・一部のスイッチは、削除することができません。
- E** T-Connect オンライン画面を表示します。
- F** Apps 画面を表示します。(→P.197)
- G** SmartDeviceLink™ Apps 画面を表示します。※1
- H** ヘルプネット画面を表示します。

- ・車種により、表示されない場合があります。その場合、ヘルプネットを利用するときはヘルプネットボタンを使用します。※2

※1 この機能は現在使用できません。

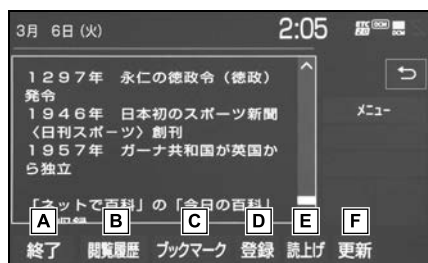
※2 詳しくは、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

T-Connect Viewer

T-Connect Viewer は、T-Connect の各種コンテンツの表示や操作を行います。

T-Connect Viewer 画面には、コンテンツ閲覧中に表示される画面と、コンテンツ読み上げ中に表示される画面があります。自動で読み上げるコンテンツもあります。

閲覧中に操作する



- A** T-Connect Viewer 画面を終了して T-Connect Viewer 表示前の画面に戻る。
- B** 閲覧履歴画面を表示します。
- C** ブックマーク画面を表示します。
- D** 表示中のページをブックマークに登録します。
- E** 読み上げを開始します。
 - ・読み上げ情報がないときは、スイッチは灰色になっています。
 - ・読み上げ情報があるコンテンツを表示したときに、自動で読み上げをするかしないかを設定できます。(→P.171)
- F** コンテンツの再読み込みをして画面を更新します。(コンテン

ツの読み込みが完了または中断しているときに表示)

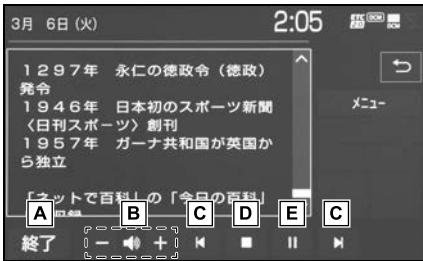
“中止”：コンテンツの読み込みを中止します。(コンテンツの読み込み中に表示)

- コンテンツの読み込み中に“中止”を選択したり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。
 - ・ “更新”を選択して、コンテンツを再取得する。
 - ・  を選択していったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。

知識

- 各スイッチは T-Connect Viewer 表示前の画面により、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称に違いがあることがあります。

読み上げ中に操作する



A T-Connect Viewer 画面を終了して T-Connect Viewer 表示前の画面に戻ります。

B コンテンツを読み上げるときの音量を調整します。

— : 小さくする

+ : 大きくする

C 読み上げの開始位置を変更します。

⏮ : 読み上げ中の項目の先頭からはじめる

⏮ : 次の項目の先頭からはじめる
 ・ 前の項目の先頭からはじめるときは、
⏮ を選択してから約 1 秒以内に再度選択。

D コンテンツの読み上げを停止します。

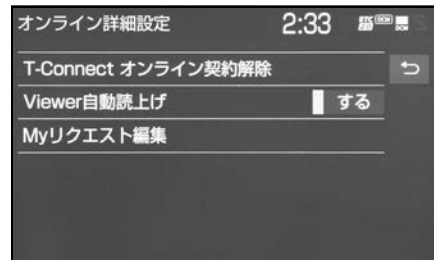
E **⏮** : コンテンツの読み上げを一時停止する。(読み上げ中に表示)

▶ : 読み上げていた項目の頭から読み上げを再開する。(読み上げ一時停止中に表示)

T-Connect Viewer の自動読み上げを設定する

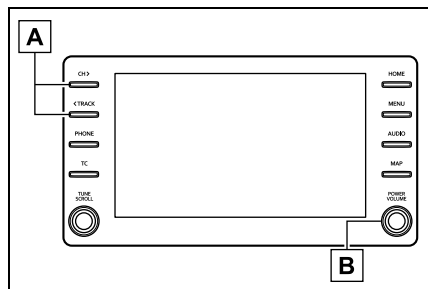
T-Connect Viewer で読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをすることができます。

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “T-Connect” を選択。
- 4 “オンライン詳細設定” を選択。
- 5 “Viewer 自動読み上げ” を選択し、“する” に設定する。



- 解除するときは、“しない” に設定します。

オーディオコントロールスイッチで操作する



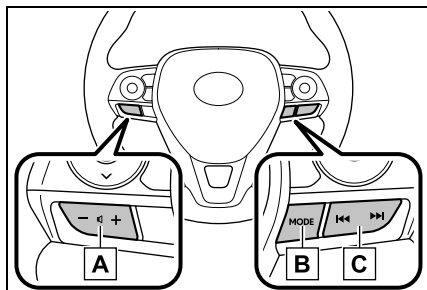
A コンテンツの読み上げの開始位置を変更します。

- ・読み上げ中の項目の先頭からはじめるときは、<側を押します。
- ・次の項目の先頭からはじめるときは、>側を押します。
- ・前の項目の先頭からはじめるときは、<側を押してから約 1 秒以内に再度押します。

B POWER VOLUME ノブ
 押すと、コンテンツの読み上げを停止します。
 回すと、コンテンツの読み上げ音量を調整します。

- ・大きくするときは、右へまわします。
- ・小さくするときは、左へまわします。

ステアリングスイッチで操作する



A コンテンツの読み上げ音量を調整します。

- ・大きくするとき は、+側を押します。
- ・小さくするとき は、-側を押します。

B コンテンツの読み上げを解除するときは、読み上げ中にスイッチを押します。

C コンテンツの読み上げの開始位置を変更します。

- ・読み上げ中の項目の先頭からはじめるときは、<側を押します。
- ・次の項目の先頭からはじめるときは、>側を押します。
- ・前の項目の先頭からはじめるときは、<側を押してから約 1 秒以内に再度押します。

□ 知識

- ステアリングスイッチは、お車によって異なります。詳しくは、別冊「取扱書」をご覧ください。

TC 情報マークを表示する

TC 情報マークは、T-Connect コンテンツが提供する地点情報です。

情報を取得すると自動で TC 情報マークが地図に表示されます。

施設の情報を確認することができます。



施設の情報を表示する

地図上に TC 情報マークが表示されているときは、その施設の情報を確認することができます。

- 1 TC 情報マークを選択。
 - 2 “情報” を選択。
 - 3 T-Connect Viewer 画面に切り替わる。
- T-Connect コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

TC 情報マークを非表示にする

TC 情報マークを消したいときは、次の手順で非表示にすることができます。

- 1 地図表示中、“表示変更” を選択。
 - 2 “周辺施設” を選択。
 - 3 “TC 情報マーク表示” を選択。
- 地図上の TC 情報マークが非表示になります。

マップオンデマンド（地図差分更新）

マップオンデマンドとは

マップオンデマンドは、通信モジュール（DCM）、Wi-Fi[®]、パソコン（インターネット）を経由して新しい道路情報をダウンロードし、地図を更新するサービスです。

マップオンデマンドは、新しい道路情報が準備でき次第、順次地図データを更新しています。

マップオンデマンド（地図差分更新）と全更新

地図更新は、以下の2種類があります。

- マップオンデマンド（地図差分更新）：新しい道路データ（差分）を更新。
- 全更新：「最新版地図ソフト」を購入いただき、すべての地図データを更新。
 - ・ 更新済みの新しい差分データはそのまま保存されます。
 - ・ 全都道府県の施設名も含めた地図データが更新されます。

マップオンデマンドの更新方法、および更新にかかる費用

お客様の通信手段により、更新時に次の費用がかかります。

① [通信で更新] (T-Connect 契約時のみ利用可能)

▶ 通信モジュール（DCM）利用時

● 基本利用料に含む

▶ Wi-Fi[®] 利用時

● Wi-Fi[®] テザリング契約料

● Wi-Fi[®] 通信費

② [パソコンで更新]

● パソコンのインターネット通信費

● USB メモリー代

■ サービス期間

マップオンデマンドは、初度登録日をサービス利用開始日とし、サービス利用開始日から3年間で利用いただけます。

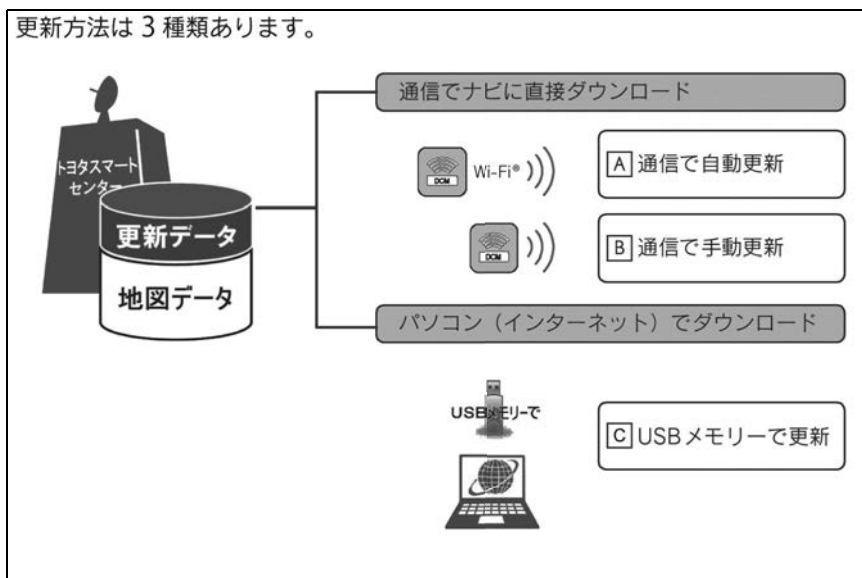
また、「全更新（最新版地図ソフトを販売店でご購入いただき更新）」することで、「全更新」を実施した日から2年間で利用いただけます。（ただし、利用開始日より3年未満に「全更新」された場合であっても、ご利用期間は「全更新」の実施日から2年間となりますので、ご注意ください。

なお、登録初年度に「全更新」された場合のみ利用開始日より3年間は

ご利用いただけます。)

■ 更新方法

トヨタスマートセンターからの更新データと地図データの更新方法は 3 種類あります。



- A** 通信モジュール (DCM) や Wi-Fi® を使用して、通信で直接ダウンロード (自動更新) (→P.178)
- B** 通信モジュール (DCM) を使用して、通信で直接ダウンロード (手動更新) (→P.178)
- C** USB メモリーを使用して、パソコン (インターネット) からダウンロードし、更新 (→P.179)

▶ 通信で更新

自動更新

下記のタイミングで、自動的に更新データをダウンロードします。

- エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ACC または ON 時、ナビゲーションで登録した自宅周辺 80km (細街路は 10km) ならびに全国配信道路に更新情報がある場合
- 目的地設定時、目的地周辺 10km 四方ならびに全国配信道路に更新情報がある場合



知識

- au Wi-Fi® SPOT、アクセスポイント付き G-Station では自動更新できません。

▶ 手動更新

● 更新したい都道府県を選択後、地図更新画面の “ 開始 ” を選択。

▶ パソコン経由で更新

● 更新したい都道府県を選択すると、全国配信道路の更新データもあわせてダウンロードします。

● T-Connect を利用していないお客様も、ご利用いただけます。

▶ 更新データの配信について

● 高速道路は供用開始後、最短即日（平均 14 日程度）で更新します。ただし、年末年始などの長期休暇、開通道路状況、天候不良、システム保守などにより、配信までの期間に遅延が生じる場合があります。地図更新データの収集／整備状況により、配信まで 3 カ月ほどかかる場合もあります。

● 一般道路のデータについては、地図更新データの収集／整備後、順次配信します。

■ 更新対象

更新対象	全国配信	指定エリア※ 配信
道路データ	高速道路・有料道路、主要国道	一部国道、主要道、都道府県道、その他道路、道幅 5.5m 未満の道路
施設情報	高速道路・有料道路施設	立体ランドマーク相当の著名な施設など
市街図	更新対象外	更新対象外
音声案内	更新対象外	更新対象外

※ 指定エリア

[通信で更新時]：自宅周辺 80km（細街路は 10km）四方、目的地周辺 10km 四方

指定エリア配信を通信で更新する場合、事前に自宅登録もしくは目的地設定が必要です。（手動で更新する場合を除く）

[パソコンで更新時]：選択した都道府県

知識

● 施設の情報は、マップオンデマンドで更新されません。ただし、一部の施設マーク（コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファーストフード店、駐車場）の表示は更新されます。

● マップオンデマンドでは、一部更新されない音声案内データがありますので、交差点、目印などが更新された場合、固有の音声案内は出力されません。

■ 地図更新のステップ

更新データのナビゲーションへのダウンロード（またはコピー）後、地図の更新が完了するまで2つのステップがあります。

● 地図の更新準備

地図データを書き換えるための準備を行います。

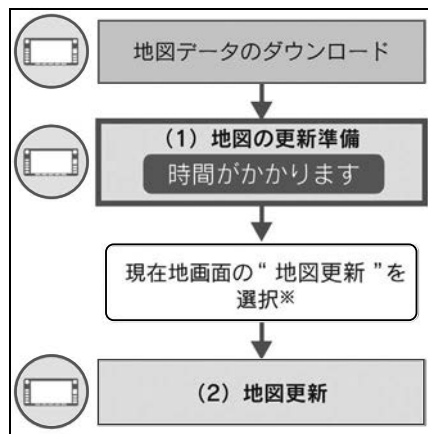
ご利用の地図データや更新頻度により異なりますが、更新データが多い場合、数時間かかることがあります。自動更新以外でご利用の場合、定期的に更新することをお勧めします。

● 地図更新

本機の地図データを書き換える処理です。

更新準備が完了後、現在地画面の“地図更新”を選択した後、20～30秒程度で完了します。ただし、更新データが多い場合は数分程度かかることがあります。

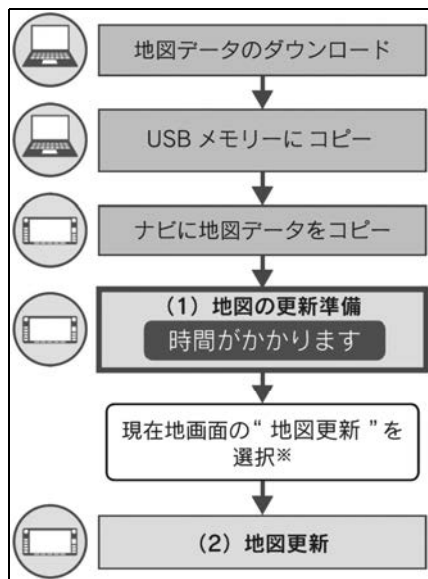
▶ 通信で更新する



※ “地図更新”を選択しなかった場合、次回エンジンスイッチ<パワースイッ

チ>を ACC または ON 時に地図更新を行います。

▶ パソコン経由で更新する



※ “地図更新”を選択しなかった場合、次回エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ACC または ON 時に地図更新を行います。

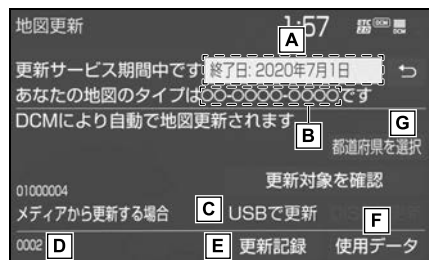
□ 知識

● 「地図の更新準備」および「地図更新」中にオーディオなどの操作を行った場合は、さらに時間がかかることがあります。

■ 地図更新画面の使い方

地図更新に関する情報の確認や操作は、地図更新画面から行います。

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “地図更新” を選択。



- A** 更新サービス終了日を表示します。
 - B** 地図のタイプを表示します。
 - C** USB メモリーで更新します。
 - D** ナビバージョンを表示します。
 - E** 最新の更新日を確認します。
 - F** 使用データ画面を表示します。
- ・ 本機に収録されているデータベースなどの情報を確認できます。
- G** 更新する都道府県を選択します。

地図を更新する

■ 通信モジュール (DCM) ・ Wi-Fi® で更新する

差分データがあると自動でダウンロードし、更新準備まで行います。

- 1 トヨタスマートセンターに接続し、差分データがあると、データがダウンロードされる。

● 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

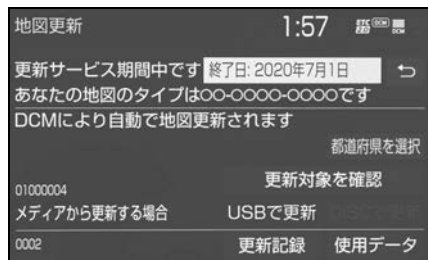
- 2 現在地画面の“地図更新”を選択。

- 3 地図が更新される。

● 地図更新中画面が表示されている間は、ナビの操作はできません。

■ 手動で更新する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “ナビ” を選択。
- 4 “地図更新” を選択。
- 5 “都道府県を選択” を選択。



- 6 都道府県を選択。

● 更新する都道府県を選択し、“開始”を選択。(選択できる都道府県は最大3つです。)

- 7 データがダウンロードされ、地図更新の準備をする。

● 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

8 現在地画面の“地図更新”を選択。

9 地図が更新される。

□ 知識

- 地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。
- 地図のダウンロードに20分以上かかる場合があります。
- au Wi-Fi® SPOT、アクセスポイント付き G-Station では自動更新できません。
- 手動更新は通信モジュール (DCM) 利用時のみ行うことができます。Wi-Fi® では更新できません。

■ パソコン (USB メモリー) で更新する

▶ 地図データを用意する

1 マップオンデマンドのダウンロードサイト
(<https://mapondemand.jp>)
からデータをダウンロードする。

● QR コード：



2 データを USB メモリーにコピーする。

⚠ 注意

- ダウンロードした地図データのファイル名および拡張子を変更しないでください。

- 地図データの入っているフォルダ (diff) には、地図データ以外の情報を入れないでください。

▶ 地図を更新する

- 1 本機に USB メモリーを接続する。＊
- 2 更新する都道府県を3つまで選択し、“開始”を選択。
- 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。
- 3 データがコピーされる。
- 4 地図更新の準備をする。
- 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。
- 5 現在地画面の“地図更新”を選択。
- 6 地図が更新される。

＊ 詳しくは、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

□ 知識

- 地図更新情報画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。
- 詳しい操作方法は、マップオンデマンドのダウンロードサイト (<https://mapondemand.jp>) にてご確認ください。
- USB メモリー内のファイルが極端に多い場合、地図データの認識に時間がかかる場合があります。
- コピーが完了したら、USB メモリーを取りはずすことができます。
- 「QR コード」は、株式会社 デンソー ウェーブの登録商標です。

故障とお考えになる前に

症状	考えられること	処置
地図更新画面の終了日が「*」になっている。	サービス有効期間の設定前であるためです。	サービス有効期間は自動で設定されます。 サービス有効期間設定前でも地図の更新は可能です。
いつまでたっても地図データが更新される気配がない。	通信で更新する場合、通信状態によってはダウンロードが中断することがあります。	しばらくしてから、通信状態が良好な場所で再度確認してください。
	お客様がお住まいの地域で実際に道路更新がなかった。 ダウンロード中、コピー中、または更新準備中である。	トヨタ販売店で点検を受けてください。 “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “ナビ” → “地図更新” の順に選択し、表示された画面で状態を確認してください。
USB メモリーでの地図更新時、データ認識に時間がかかる。	USB メモリーの空き容量が不足している。	USB メモリーの空き容量を増やしてから更新を行うようにしてください。

ハイブリッドナビ

ハイブリッドナビは、車載ナビによるルート探索と、トヨタスマートセンターから配信される最適なルート探索を合わせた、通信型ルート案内サービスです。

- トヨタスマートセンターで、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を考慮した最適なルートを探索し、車載ナビに配信します。
- ルート案内の際、トヨタスマートセンターの最新地図を取得して表示します。
- ルート案内中もトヨタスマートセンターで約5分毎に最適ルート探索を行い、より短時間で目的地に到着できるルートがあれば、新しいルートを提案します。
- 通信環境が悪く、トヨタスマートセンターと通信できないエリアでは車載ナビでルート探索を行い、通信環境の良いエリアに入ると、自動的にトヨタスマートセンターと通信を開始してハイブリッドナビによるルート探索を行います。

知識

- 目的地を設定すると、自動的にトヨタスマートセンターでルート探索を行います。トヨタスマートセンターから配信されるルートにはが表示されません。
- トヨタスマートセンターでルート探索を行った場合、ルート学習の設定(→P.122)を「する」にしてもルートを学習をすることができません。

拡張ルート探索

ハイブリッドナビの機能の一つとして、5つのパターン(推奨、有料優先、一般優先、距離優先、別ルート)から希望のルートを選ぶ5ルート探索(→P.79)の他に、トヨタスマートセンターから配信される、お客様のニーズに応じた様々なルート探索パターンを選択することができます。

- 1 ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で“拡張ルート”を選択。



- 2 希望のルートを選択。

- 新しいルート探索パターンは順次配信されます。

ハイブリッドナビの利用について

■ 利用条件

T-Connect 利用契約の有効期間であることと、マップオンデマンドのサービス利用期間（→P.174）であることが必要です。

- ▶ T-Connect 利用契約中であり、マップオンデマンドのサービス利用期間外の場合

T ルート探索（プローブ情報付）
がご利用いただけます。
（→P.182）



知識

- ハイブリッドナビ利用期間中にハイブリッドナビの利用する／しないを選択できます。（→P.125）

T ルート探索（プローブ情報付）

トヨタスマートセンターから、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を、広域の渋滞予測情報として提供します。この情報をもとに、目的地までの最適なルートを探検し、ご案内します。

T-Connect 利用契約中であり、マップオンデマンドのサービス利用期間外の場合にご利用いただけます。



知識

- 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
- T ルート探索をしても、ルートが変わらないことがあります。

Tルート探索（プローブ情報付） を利用する

■ 目的地設定時に取得する

目的地設定後に表示される全ルート図表示画面から、Tルート探索することができます。

- 1 ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で“Tルート”を選択。



- トヨタスマートセンターに接続し、Tルート探索を行います。
- 通常のルート探索をしたルートに戻すときは、“元ルート”を選択します。

□ 知識

- Tルート探索後にIC指定や探索条件変更などを行うと、広域の渋滞予測情報は破棄されます。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。
- Tルート探索で取得した情報が本機に保存されていれば、“元ルート”を選択したあとに“Tルート”を選択しても、トヨタスマートセンターに接続されません。

■ ルート案内中に手動で取得する

ルート案内中に手動で、Tルート探索することができます。

- 1 現在地画面表示中、“再探索”を選択。



- 2 “Tルート探索”を選択。

- トヨタスマートセンターに接続し、Tルート探索を行います。
- Tルート探索情報の取得を中止するときは、“取得中止”を選択します。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。

■ Tルート探索を自動で取得する

プローブ交通情報を自動取得に設定すると、次のタイミングで自動的にTルート情報を取得できます。

- ルート案内開始時と、案内開始以降約 20 分ごと
 - JCT 手前や高速道路に乗る手前
- 1 “MENU” スイッチを押す。
 - 2 “設定・編集”を選択。
 - 3 “ナビ”を選択。
 - 4 “ナビ詳細設定”を選択。
 - 5 “ルート系設定”を選択。
 - 6 “プローブ交通情報自動取得”を選択し、“する”に設定する。
- 解除するときは、“しない”に設定します。

 知識

- ハイブリッドナビ（→P.181）利用期間中は、ハイブリッドナビでのルート情報の取得が優先されます。

オペレーターサービス ※

※ TV・オペレーター付 T-Connect ナビキット装着車を除き、ご利用には別途契約（有料）が必要になります。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

オペレーターサービスは、電話で依頼するだけで、オペレーターがお客様に代わって、ナビゲーションの目的地設定やレストラン／駐車場の検索などを行うサービスです。

オペレーターサービスメニューについて

- ▶ ドライブサポート
 - ナビの目的地設定
 - 駐車場の案内
 - 電話番号の案内
 - 夜間・休日診療機関の案内
 - 施設情報案内
 - 道路交通情報案内
 - ニュース・天気予報の配信
 - ▶ トラブルサポート
 - ロードアシスト 24 への取次ぎ
 - **オペレーターサービス Plus メニューについて**
- オペレーターサービスメニューに加え、以下のサービスをご利用いただけます。
- ホテルの予約
 - レストランの予約
 - 国内航空券の予約
 - トヨタレンタカー予約の取次ぎ
 - 販売店への連絡
 - 保険会社への取次ぎ

知識

- 利用料金や詳しいサービス内容については、T-Connect の Web サイト (<https://toyota.jp/tconnectservice/>) でご確認ください。
- 本機の時刻データが更新されていないと、オペレーターサービスを利用できません。この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動し、“MAP” スイッチを押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。

- オペレーターサービス中は、ヘルプネットおよびセキュリティ、一部のサービス ※ 以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、オペレーターサービスを終了してからご使用ください。

※ T-Connect Viewer 起動、ハイブリッドナビ（センタールートのみ）、渋滞予測情報

- オペレーターにナビの目的地設定を依頼すると、ハイブリッドナビ ※ による最適なルート案内を行います。（→P.181）

※ T-Connect 利用契約中であり、マップオンデマンドのサービス利用期間外の場合、T ルート探索でルート案内を行います。（→P.182）

- お問い合わせ内容により、ご希望に沿えない場合があります。

■ 本機からオペレーターへ接続する

オペレーターサービスは、ハンズフリー電話の設定不要で簡単に発信ができます。（通話料はオプション料金に含まれます）

オペレーターへの発信のみ可能です。着信やオペレーター以外への発信はできません。

オペレーターサービスを使う

車内よりオペレーターサービスを利用する場合の使用例を紹介します。

- 1 “TC” スイッチを押す。
- 2 “オペレーターサービス” を選択。



3 オペレーターに接続する。



- 中止するときは、“中止” を選択します。

4 オペレーターと通話する。



- 「ナビの目的地設定」、「レストランや駐車場などの周辺情報の検索」や「ニュースの配信」など、利用したい内容をオペレーターにお伝えください。
- 5 画面の指示にしたがって操作する。

知識

- 音声操作システムを使ってオペレーターに接続することができます。音声認識発信のしかたについては、「音声認識コマンド一覧」を参照してください。(→P.160)

携帯電話・固定電話から利用する

いつもご利用の携帯電話、自宅やオフィスの電話からも利用できます。

- 1 オペレーターに電話をかける。
- オペレーターサービス専用電話番号
0561 - 57 - 6818
(365 日 24 時間対応)
- 2 利用したい内容を伝える。
- 3 本機を使用して、手動で受信する。
- 携帯電話や固定電話から利用すると、次回エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ACC または ON にしたときに、情報の受信をお知らせするメッセージが本機に表示されます。画面の指示にしたがって、操作してください。表示されない場合は、手動で情報を取得してください。(→P.187)

知識

- 「周辺情報の検索」や「ニュースの配信」などを利用した場合、トヨタスマートセンターから情報を取得すると、メッセージが表示されます。
- ご利用の際は、お申し込み時にサポートアドレスとして登録した番号から、発信者番号通知でかけていただくと、スムーズにご利用いただけます。
- 次の場合、オペレーターがご本人であることを確認させていただくことがあります。
 - ・ T-Connect 利用契約を解除した場合
 - ・ ご利用の携帯電話や固定電話が、番号非通知設定になっている場合
 - ・ ご利用の携帯電話や固定電話が、サポートアドレスに登録されていない場合

手動で情報を取得する

自動で情報が取得されない場合は、次の手順で取得してください。

- 1 “TC” スイッチを押す。
 - 2 “情報確認” を選択。
 - 3 メッセージが表示されたら、“はい” を選択。
- メッセージが表示されないときは、“受信一覧” を選択します。
 - 過去に依頼した情報が表示されず。

エージェント

エージェント（音声対話サービス）を使用することにより、目的地設定の操作や、天気予報などの情報を音声とテキスト表示でご案内します。

エージェント画面を操作して、電話をかけたり施設情報を見ることができます。

エージェントについて

主なサービスと機能概要

目的地検索：

施設名称を直接、発話すると目的地を抽出し、目的地に設定する。また、エリアと施設のジャンルから候補を抽出し、目的地を設定する。

発話例：「東京駅」「名古屋駅周辺のレストラン」「近くの蕎麦屋」

自宅に帰る：

自宅が登録されている場合、自宅に目的地を設定する。

発話例：「自宅に帰りたい」

閲覧履歴：

閲覧履歴を表示し、履歴から目的地を選択したり履歴の編集（削除）ができる。

発話例：「閲覧履歴」

ニュース：

ニュースのテキスト表示・読み上げをする。

発話例：「スポーツニュースは？」

天気予報：

天気予報のテキスト表示・読み上げをする。

発話例：「横浜の天気は？」

主なサービスと機能概要

交通情報：
交通情報（渋滞情報）のテキスト表示・読み上げをする。

発話例：「このあたりの渋滞情報を教えてください」

オペレーターサービス：
オペレーターサービスに接続し、オペレーターによる情報検索やナビ設定ができる。

発話例：「オペレーターサービス」

※ サービス内容は順次変更されます。

知識

- 話しかける際は、大きめの声でゆっくり、はっきりとお話ください。
- エアコンの風量が強いと認識しづらい場合があります。
- 認識しづらい場合は条件を2回に分けるなど、短い文章でお話ください。
例)「駐車場付きの〇〇〇（場所など）のレストラン」
・ 発話 1 回目：「〇〇〇のレストラン」→ 〇〇〇のレストランを検索
・ 発話 2 回目：「駐車場付き」→ 駐車場付きの〇〇〇のレストランを検索
- トヨタスマートセンターで持つ情報を元に、目的地検索、ニュース、天気予報、交通渋滞情報などをご提供します。
- 電話操作、エアコン操作について発話された場合は、音声操作システム（→P.156）に切り替わり、応答します。
- 通信環境の悪いエリアでは、エージェントが動作しない場合がございます。この場合、音声操作システム（→P.156）が起動し、応答します。なお、エージェントの操作途中に通信が途絶えた場合には、音声操作システムに切り替わりません。

エージェントを利用する

基本的な操作の流れを見ながら、エージェントを開始する方法と、音声対話中の基本操作を覚えましょう。以下は、目的地設定の例です。

- 1 ステアリングスイッチのトークスイッチ（→P.156）を押す。
- T-Connect 画面（→P.169）の“エージェント”を選択してもエージェントを開始することができます。
- 2 マイクアイコンが  になったら、発声する。



- <ピッ>と音がしてから約5秒以内に発声してください。
- 発声後、1つ前のエージェント画面に戻りたいときは、「戻る」と発声します。
- 3 画面の案内に従って、発声する。

- 4 リストが表示された場合は、目的の番号（「○番目」）を発声する。



- 音声認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。
 - リストを選択して操作することもできます。
 - 「○番目を目的地セット」と続けて発声すると、目的地の設定まで完了させることができます。
- 5 地図が表示された後、「目的地セット」と発声する、または“目的地セット”を選択。



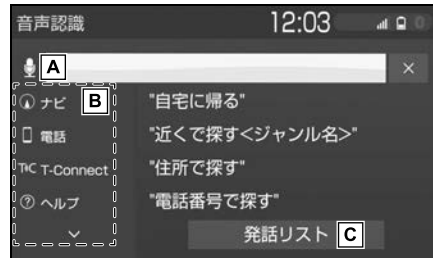
- ルート案内が開始されます。
- リストを選択して操作することもできます。
- “施設情報”を選択すると、検索地点の情報を確認することができます。
- 情報画面表示後、「地図」と発声する、または“周辺施設地図”を選択すると、地図画面が表示されます。

知識

- エージェント開始から終了までの間は、オーディオなどの音声自動的にミュート（消音）されます。

エージェント画面の使い方

■ エージェント画面



- A** ユーザーの発話受付開始を表示します。

・ 音声受付中はアイコンが  に変化します。

- B** 発話または選択するとガイドメニュー画面が表示されます。（→P.161）

- C** 発話または選択すると発話リストが表示されます。（→P.161）

■ 地図表示中のエージェント画面





A ユーザーの発話受付開始を表示します。

- ・音声受付中はアイコンが  に変化します。

B エージェント操作開始画面に戻ります。

C 検索した地点を目的地に設定します。

D 検索した地点の施設情報を表示します。

- ・呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。
- ・施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

E 検索した地点（施設）に電話をかけます。

F 検索した地点を G メモリに登録します。

音声対話を一旦停止する

音声受付中、次のいずれかの操作で音声対話を一旦停止します。

- 「ポーズ」と発声する。
- “ポーズ” を選択。

閲覧履歴を表示する

閲覧履歴を表示し、履歴から目的地を選択したり履歴の編集（削除）をすることができます。次のいずれかの操作で閲覧履歴を表示します。

- 「閲覧履歴」と発声する。
- “閲覧履歴” を選択。

最初に戻る

次のいずれかの操作をします。

- 「最初に戻る」と発声する。
- “最初に戻る” を選択。

音声ガイドを省略する

音声ガイド出力時にステアリングスイッチのトークスイッチを押すと、音声ガイドが途中で次の動作に移ることができます。

音声対話を中断する

次のような場合は、音声対話を中断します。

- 通信中、または認識中にステアリングスイッチのトークスイッチを押す。
- 音声を3回連続で認識できなかったとき。オペレーターサービスに誘導されます。(→P.184)

音声対話を再開する場合は次の操作をします。

- ステアリングスイッチのトークスイッチを押す。

エージェントを終了する

次のいずれかの操作でエージェントを終了します。

- ステアリングスイッチのトークスイッチを押し続ける。
- **X** を選択。
- 「中止」と発声する。



知識

- 次の条件でもエージェントは終了します。
 - ・ エージェントの検索結果を実行したとき（目的地設定画面に移行したときなど）
 - ・ ハンズフリーの着信が入ったとき

渋滞予測を表示する

トヨタスマートセンターから渋滞予測情報を取得し、その情報を表示するサービスです。

高速路線マップで表示された道路の現在地周辺とルート上に、渋滞の増減を示すアイコン（渋滞増減予測のアイコン）を表示します。また、ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることもできます。

今後の旅行の計画を立てるときに利用すると便利です。



渋滞予測の表示について

渋滞予測情報は現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」および「混雑」について、旅行時間データが提供されている路線のみ表示します。

表示	名称	内容
 (赤色)	渋滞	渋滞の区間を示しています。
 (橙色)	混雑	混雑の区間を示しています。
 (黒色)	通行止め 区間	通行止めの区間を示しています。
 (灰色)	不明区間	交通情報が配信されていない区間を示しています。

※ 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。

なお、「通行止め」は現在の状況が継続するとして扱っております。

交通情報提供区間の距離が短い場合は、矢じりを表示しません。

渋滞予測情報を提供する路線について

- 都市間高速道路
- 都市高速道路
- 主な有料道路
- 一部の一般道路
- ・ 松永道路、名阪国道、姫路西バイパス、姫路バイパス、保土ヶ谷バイパス、加古川バイパス、米子バイパスなど
- ※ 情報提供路線は随時更新されます。

■ 渋滞予測情報を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “情報” を選択。
- 3 “高速渋滞予測” を選択。



- 4 トヨタスマートセンターに接続し、渋滞予測情報を取得する。

- 情報の表示および読み上げを行います。
- 中止するときには、“中止” を選択します。

□ 知識

- 渋滞予測情報の読み上げは、ブラウザの自動読み上げ設定（→P.171）に関係なく、常に読み上げられます。
- 以前に取得した渋滞予測情報が本機に保存されているときは、トヨタスマートセンターに接続しないことがあります。
- 極端に遠い距離の渋滞予測情報（到着

予想時刻を含む)は、表示されないことがあります。

- 新規開通道路については、VICS 情報の配信状況により正しく表示されないことがあります。

■ 渋滞予測時間を変更する

渋滞予測情報は、現在の渋滞状況以外に、一定の時間単位で時間を進めて、今後の渋滞予測を表示させることができます。

1 次のいずれかを選択。

-  : 渋滞予測時間を進める
-  : 渋滞予測時間を戻す
- “現在” : 現在の渋滞状況を表示する

□ 知識

- トヨタスマートセンターから提供される渋滞予測情報は、現在については現在の交通状況が提供され、未来については予測した情報が提供されます。
- その時間の渋滞予測情報を取得していない場合のみ、トヨタスマートセンターに接続して渋滞予測情報を取得します。

■ 渋滞増減予測を表示する

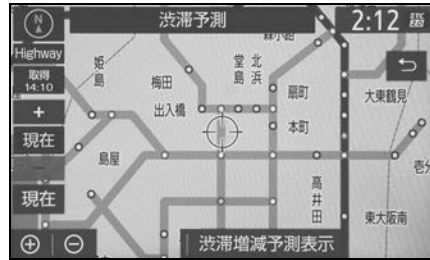
渋滞予測画面の地図上に、渋滞増減予測のアイコンを表示させることができます。

また、ルート上の読み上げ情報があるアイコンの場合は、渋滞情報を音声で読み上げることができます。

渋滞増減予測アイコンの ON (表示する) / OFF (表示しない) を選択できます。

1 “MENU” スイッチを押す。

- 2 “情報” を選択。
- 3 “高速渋滞予測” を選択。
- 4 “渋滞増減予測表示” を選択。



- アイコン表示が ON のときは、作動表示灯が点灯します。
 - アイコンを表示しないときは、再度“渋滞増減予測表示”を選択します。
- 5 読み上げ情報があるアイコンの場合は、地図上に表示されたアイコンを選択。



- 渋滞情報を読み上げます。

アイコン	内容
	表示している時間後に、渋滞が増加傾向であることを表します。
	表示している時間後に、渋滞が減少傾向であることを表します。
	表示している時間後に、渋滞が変化しないことを表します。

□ 知識

- 渋滞増減予測のアイコンは、地図の縮尺によっては、表示されないものもあります。
- 渋滞増減予測のアイコンは、ルートが設定されている場合は、ルート沿いの情報を提供します。また、ルートが設定されていない場合は、現在地周辺の情報を提供します。

■ 渋滞予測地図の縮尺を切り替える

渋滞予測画面の地図は、通常の地図と同様に地図の縮尺を切り替えることができます。

- 1 **+** または **-** を選択またはピンチアウト／ピンチイン操作をする。



- ルートが設定されているときは、もっとも詳細な縮尺に切り替えると、地図上に IC 毎の到着予想時刻が表示されます。
- ・ もっとも詳細な縮尺で表示される到着予想時刻は、3 時間先以降は到着予想時刻設定 (→P.118) で設定した車速から計算されます。そのため、渋滞予測情報から計算される到着予想時刻に比べると、誤差が広がることがあります。

■ 区間所要時間予測を表示する

高速道路を通るルートが設定されているとき、休憩した場合の所要

時間予測を行います。

ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。



- 1 “MENU” スイッチを押す。
 - 2 “情報” を選択。
 - 3 “高速渋滞予測” を選択。
 - 4 “所要時間” を選択。
- トヨタスマートセンターに接続し、区間所要時間予測情報を取得すると、ブラウザ画面で区間所要時間予測が表示されると同時に読み上げが行われます。
- 5 区間所要時間予測表示を解除するときは、“終了” または **↩** 選択。

□ 知識

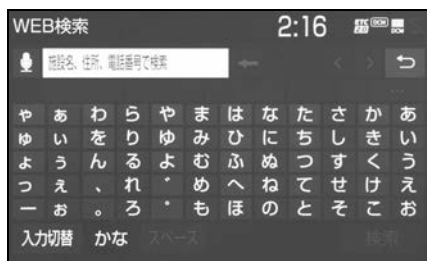
- 出口 IC までの距離が遠い場合は、出口 IC まで表示されないことがあります。
- 渋滞予測画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される内容は、それぞれ独自で処理するため異なる表示をすることがあります。
- 新規開通道路については、VICS 情報の配信状況により正しく表示されないことがあります。

WEB で目的地を検索する

インターネットの検索エンジンを使用して施設を検索し、目的地に設定することができます。

WEB 検索の使い方

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “目的地” を選択。
- 3 “WEB” を選択。
- 4 ソフトウェアキーボードを使用してキーワードを入力し、“検索” を選択。



- 施設名や住所、郵便番号、電話番号などのフリーワードで検索することができます。
- 検索文字の一部を入力すると、候補となる施設や場所が表示されます。
- スペースを空けて複数の検索ワードを入力すると、候補となる施設や場所を絞り込んで検索することができます。(例：東京 名所)
-  を選択すると音声認識で文字を入力することができます。
 - ・音声認識での文字入力走行中でも使用することができます。
- ソフトウェアキーボードの使用方法は、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

- 5 検索結果リストから希望の目的地を選択。

-  を選択すると、施設情報を表示することができます。
- “絞り込み” を選択し、様々な方法で目的地を絞り込むことができます。
- 6 “目的地セット” を選択。

知識

- 検索条件によっては、検索結果が取得できない場合があります。
- 検索エンジンからの取得結果によっては、実際の位置と異なる場所が表示される場合があります。

G メモリ地点

T-Connect の Web サイトで登録した G メモリ地点を、本機のメモリ地点に登録できます。

一度本機のメモリ地点に登録すると、トヨタスマートセンターに接続しなくても、G メモリ地点情報から呼び出すことができます。

G メモリ地点を本機に登録する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
 - 2 “目的地” を選択。
 - 3 “TC で設定” を選択。
 - 4 “G メモリー一括ダウンロード” を選択。
- G メモリ地点情報として本機に登録されます。

G メモリ地点情報を表示する

G メモリ地点として登録した地点情報は、T-Connect 画面から呼び出すことができます。

- 1 “TC” スイッチを押す。
- 2 “G メモリ地点情報” を選択。



- 3 G メモリ地点情報を選択。
 - 4 T-Connect Viewer 画面に切り替わる。
- T-Connect コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

知識

- G メモリ地点情報は、ナビゲーションのメモリ地点と同様に、メモリ地点が呼び出せるナビゲーションの画面からも呼び出すことができます。また、名称読みが登録してあれば、音声認識を使用することもできます。
- G メモリ地点情報は、同じ内容がナビゲーションのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビゲーションのメモリ地点画面で行ってください。詳しくは、「メモリ地点を登録する」をご覧ください。(→P.102)
- 同一の G メモリ地点情報は、上書き登録されます。ただし、音声認識で使用する名称読みが登録してある場合、その

情報は保持されます。

T-Connect の Apps を使用する

T-Connect Apps は多彩なアプリを本機にダウンロードし、ご利用いただけるサービスです。

アプリをインストールする

- 1 “TC” スイッチを押す。
- 2 “Apps” を選択。
- 3 “インストール” を選択。



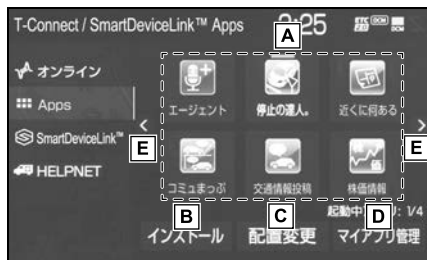
- 4 アプリを選択し、サービス内容・価格を確認して、“購入”を選択。
- 5 T-Connect のユーザ ID、パスワードを入力する。
 - “次回入力しない” を選択すると、次回からユーザ ID とパスワードが入力された状態の画面が表示されます。
- 6 “完了” を選択。
- 7 規約を確認後、“同意する”を選択。
- 8 “はい” を選択。

知識

- 走行中はアプリの購入ができません。安全な場所に車を停止させて実施ください。
- アプリの購入履歴は、T-Connect の

ユーザーサイト (<https://toyota.jp/tconnectservice/>) より確認ができます。

Apps 画面の使い方



A 選択すると該当のアプリを起動します。また、起動中のアプリを長押しすることで該当のアプリを停止します。

B インストール画面を表示します。

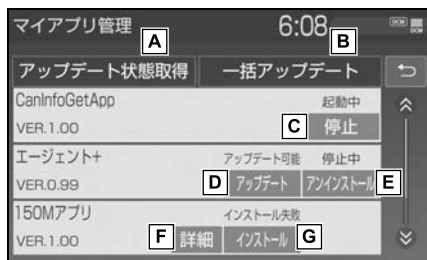
C 配置変更画面を表示します。

D インストールした各アプリの動作やアップデート等の詳細を確認します。

E ページを切り替えます。

・ 7 個以上のアプリがインストールされている場合、ページ切替スイッチが表示されます。

■ マイアプリ画面



A 最新のアップデート状態を取得します。

B アップデートができるアプリを一括でアップデートします。

C 起動中のアプリを停止します。

D アプリをアップデートします。

E アプリをアンインストールします。

起動中のアプリをアンインストールする場合は、“停止”を選択後、アンインストールできます。

F インストール、アップデート失敗時の対処方法を表示します。

G インストール

ライセンス切れやアプリ破損の際に、アプリを再インストールする。

□ 知識

- アプリは同時に 4 つまで起動可能です。
- 音楽系のアプリを同時に 2 つ以上起動することはできません。

アプリの割込み表示について

次のような場合、地図画面上にアプリ画面が表示されます。

- 地図画面上の“Apps”を選択したとき
 - ・ カーソルを移動させると表示されます。
 - アプリが自動で割込み表示をしたとき
- 1 現在地画面表示中に“Apps”を選択。



2 アプリ画面が表示されます。



- アプリ画面を非表示にするとき
- は、**>>** を選択します。
- 割込み表示されたアプリを切り替えるときは、**<** または **>** を選択します。
- “Apps”を選択しなくても、アプリ画面が自動で表示されることがあります。
- アプリ画面が自動で非表示になることがあります。

マイアプリ管理について

■ アプリをアップデートする

- 1 “TC” スイッチを押す。
- 2 “Apps” を選択。
- 3 “マイアプリ管理” を選択。



4 “アップデート” を選択。

- 複数のアプリをまとめてアップデートしたいときは、“一括アップデート”を選択します。
- 5 アップデート確認画面が表示される。
 - ユーザ認証画面がでたときは、T-Connect のユーザ ID、パスワードを入力し、“完了”を選択します。
 - 6 “はい” を選択。

Apps 設定を変更する

■ アプリのアップデート方法を設定する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “T-Connect” を選択。
- 4 “Apps 設定” を選択。
- 5 “自動アップデート確認” を選択。

- 選択することにより、する／しないが切り替わります。

“する”：アップデート可能なアプリがあると、マイアプリ管理画面の対象アプリにアップデートスイッチが自動的に表示されます。

“しない”：マイアプリ管理画面の“アップデート状態取得”を選択すると、アップデート可能なアプリにアップデートスイッチが表示されます。

- 6 “はい” を選択。

■ パスワードを変更する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “T-Connect” を選択。
- 4 “Apps 設定” を選択。
- 5 “パスワード変更” を選択。
- 6 “ユーザ ID” を選択。

- “次回入力しない” を選択すると、次回からユーザ ID とパスワードが入力された状態の画面が表示されます。

- 7 ユーザ ID を入力し、“OK” を選択。

- ソフトウェアキーボードの使用方法は、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

- 8 “パスワード” を選択。

- 9 パスワードを入力し、“OK” を選択。

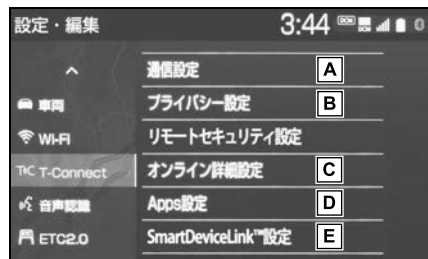
- 10 “完了” を選択。

T-Connect 設定を変更する

設定・編集画面を表示する

T-Connect を利用するときの各種設定は、設定・編集画面から行います。

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “T-Connect” を選択。
- 4 各項目を設定する。



- A** 通信設定 (→P.201)
- B** プライバシー設定 (→P.202)
- C** オンライン詳細設定 (→P.207)
- D** Apps 設定 (→P.200)
- E** SmartDeviceLink™ 設定※

※ この機能は現在使用できません。

通信設定

通信に使用する機器を選択することができます。

通信接続機器を選択する

- 1 T-Connect 設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “T-Connect” を順に選択。
- 2 “通信設定” を選択。
- 3 “通信接続機器” を選択。
- 4 通信に使用する機器を選択。

知識

- 本機が Wi-Fi® 接続状態であっても、通信接続機器側が「Wi-Fi® 設定」になっていない場合、Wi-Fi® によるデータ通信は行われません。
- 次の項目はスマートフォン毎に設定が保持されます。
 - ・ 使用するスマートフォンの設定
 - ・ 通信接続時の確認

警告

- “完了” を選択して設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
 - ・ エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にする。
 - ・ エンジン<ハイブリッドシステム>を始動しなす。

プライバシー設定について

暗証番号などを変更することができます。

プライバシー設定を変更する

プライバシーに関する各種設定をすることができます。

- 1 T-Connect 設定画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “T-Connect” を順に選択。
- 2 “プライバシー設定” を選択。
- 3 各項目を設定する。
 - 通信ロックを使う。(→P.203)
 - 暗証番号を変更する。(→P.204)
 - 暗証番号を確認する。(→P.205)
 - T-Connect Viewer の閲覧履歴を削除する。
 - T-Connect Viewer のブックマークを削除する。

通信ロックを使う

通信ロックを使用すると、各機能の動作を下表のように制限することができます。

他人に車を貸す場合など、T-Connect を触らせたくないときや、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。

○：利用できます

×：利用できません

機能	動作
ヘルプネット	○
マップオンデマンド（地図更新）	× (Wi-Fi® テザリング対応機器または通信モジュール（DCM）で更新するとき)
利用開始／ユーザー設定	×
閲覧履歴	×
ブックマーク	×
オペレーターサービス／オペレーターサービス Plus	×
T-Connect Apps	○ (通信を使用するアプリを除く)
T-Connect アプリストア	×
WEB 検索	×
ハイブリッドナビ	×
G メモリ地点情報	○ (保存済みデータのみ)
TC で設定	×
施設情報表示	×
TC 情報マーク連動サービス	○ (情報の読み上げのみ)
リモートメンテナンスメール	×
e ケア（診断サービス）	○ (DCM による通話を除く)
e ケア（ヘルスチェックレポート）	○
マイカーカスタマイズ	○ (画面表示を除く)

■ ロックする

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “T-Connect” を選択。
- 4 “プライバシー設定” を選択。
- 5 “通信ロック” を選択。
- 6 “はい” を選択。

■ 解除する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
 - 2 “設定・編集” を選択。
 - 3 “T-Connect” を選択。
 - 4 “プライバシー設定” を選択。
 - 5 “通信ロック解除” を選択。
 - 6 暗証番号を入力し、“完了” を選択。
- 間違えたときは、“修正” を選択します。

□ 知識

- 通信ロックを解除するときは、暗証番号が必要になります。暗証番号については、「暗証番号を変更する」をご覧ください。（→P.204）

暗証番号を変更する

暗証番号は、通信ロック（→P.203）したときに、ロックを解除するために入力が必要になります。通信ロックを使用するときは、まず暗証番号および暗証番号を忘れたときの質問とその回答を設定してください。

⚠ 注意

- “完了” を選択して設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
- ・ エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にする。
- ・ エンジン<ハイブリッドシステム>を始動しなす。

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集” を選択。
- 3 “T-Connect” を選択。
- 4 “プライバシー設定” を選択。
- 5 “暗証番号変更” を選択。
- 6 現在の暗証番号を入力し、“完了” を選択。
- はじめて設定するときは、「0000」を入力します。
- 変更するときは、設定してある暗証番号を入力します。
- 間違えたときは、“修正” を選択します。
- 暗証番号を忘れたときは、「暗証番号を忘れた場合」（→P.205）を参照ください。
- 7 新しく設定したい暗証番号を入力し、“完了” を選択。
- 8 新しい暗証番号の確認のため、再度新しく設定したい暗証番号を入力し、“完了” を選択。

- 9 “質問”、“回答”を選択して、それぞれ入力する。
- ソフトウェアキーボードで入力します。
- 10 “完了”を選択。

知識

- 暗証番号は4桁の数字です。初期設定は「0000」になっています。
暗証番号は、他人にわかりにくい番号にしておいてください。
- 質問とその回答は、暗証番号を忘れた場合に暗証番号を表示するために設定します。(→P.205) 質問とその回答は、お客様以外にわかりにくい内容にしておいてください。

■ 暗証番号を忘れた場合

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “設定・編集”を選択。
- 3 “T-Connect”を選択。
- 4 “プライバシー設定”を選択。
- 5 “暗証番号を忘れた場合”を選択。
- 6 “回答”を選択。
- 7 回答を入力する。
- ソフトウェアキーボードで入力します。
- 8 “完了”を選択。
- 9 暗証番号を確認したら、“了解”を選択。

オンライン詳細設定を変更する

T-Connectに関する各種設定をすることができます。

- 1 T-Connect 設定画面を表示する：
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “T-Connect” を順に選択。
- 2 “オンライン詳細設定”を選択。



- 3 各項目を設定する。

- 契約の解除手続き ※
 - T-Connect Viewer の自動読上げ (→P.171)
 - My リクエスト編集
- ※ 詳しくは、別冊「マルチメディア取扱書」をご覧ください。

契約内容・契約者情報の確認・変更

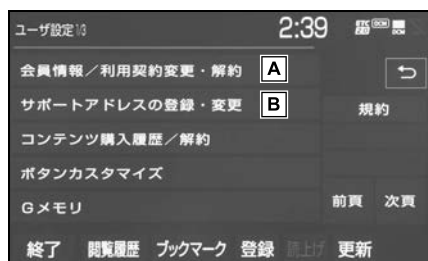
登録内容や契約者情報の確認・変更、T-Connect 暗証番号の変更などを行えます。

契約内容を確認・変更する

- 1 “TC” スイッチを押す。
- 2 “ユーザー設定” を選択。



- 3 各項目の設定・確認をする。



- A 登録しているユーザーの情報や利用契約内容を確認・変更できます。

- B サポートアドレス（電話番号やメールアドレス）の登録を追加・変更できます。
- C 利用契約を解約することができます。
- D 必要なデータのダウンロードができます。
- E 車両登録番号の変更ができます。

サポートアドレスについて

サポートアドレスは、マイカーサーチ／マイカーサーチ Plus などのコンテンツ利用にあたって、お客様に連絡が必要になった場合の連絡先です。

T-Connect 申し込み時にご登録いただいた連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。

連絡先に変更があった場合に変更してください。

できます。

- スマートフォンで迷惑メールの拒否設定などをされている場合は、以下の発信元メールを受信できるようにご登録ください。

[登録する発信元メールアドレス]
t-connect.info@s.tconnect.jp

サポートアドレスを確認・変更する

- 1 “TC” スイッチを押す。
- 2 “ユーザー設定” を選択。
- 3 “サポートアドレスの登録・変更” を選択。
- 4 T-Connect 暗証番号を入力。
- T-Connect暗証番号が未設定の場合、契約 ID とパスワードを入力し、T-Connect 暗証番号を設定してください。
- 5 表示される電話番号を確認した後、“メール” を選択。
- 電話番号を変更するときは、変更する電話番号を選択し、入力します。
- 6 メールアドレスを確認する。
- メールアドレスを変更するときは、変更するメールアドレスを選択し、入力します。

知識

- サポートアドレスの確認・変更は、T-Connect の Web サイト (<https://toyota.jp/tconnectservice/>) でも行うことが

ESPO について★

★：車種、グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ESPO 画面の見方

1 “MENU” スイッチを押し、“情報”を選択して、情報画面を表示する。

2 “エコ情報”を選択。

● ESPO 画面以外が表示されたときは、“ESPO”を選択します。



A エコレベル平均値

・エコレベルメーターの平均値を表示します。

B エコレベルメーター

・ハイブリッド車：ハイブリッドシステムインジケータの表示がエコエリア内の状態を継続させることなどでメーターが増加します。

・ガソリン車（マニュアルトランスミッション車除く）：エコ運転のレベルを表示します。マークが増えるほど、環境に配慮した運転をしていることになります。

C エコレベルインジケーター（マニュアルトランスミッション車除く）

・エコレベルメーターのレベルに応じて Good・Excellent が表示されます。レベルが低い場合は表示されません。

D 毎分燃費（前回エンジン＜ハイブリッドシステム＞始動～エンジン＜ハイブリッドシステム＞停止）

・1分ごとの平均燃費を最大15分前でグラフ表示します。

・今回と前回の平均燃費を色分けして表示します。

E 毎分燃費（今回エンジン＜ハイブリッドシステム＞始動～現在）

・1分ごとの平均燃費を最大15分前でグラフ表示します。

・今回と前回の平均燃費を色分けして表示します。

F 更新スイッチ

・走行情報などがトヨタスマートセンターへ送信されます。

G エコカルテスイッチ

・お車から送信された情報を反映して、月間の走行距離・ガソリン消費量・CO₂排出量・平均燃費が表示されます。

H アドバイススイッチ

・ドライバーの運転操作についてエコ運転の観点で診断した結果を表示します。良いところを確認したり、さらに良くするにはどうしたら良いかを知ることができます。

・エコ運転や環境に関する豆知識を表示します。

知識

● パソコンや携帯電話のユーザーサイトでも確認することができます。

ETC/ETC2.0 システム

4

4-1. ETC2.0 ユニット (VICS 機能付)

ETC2.0 サービスについて	210
-----------------------	-----

4-2. ETC システム

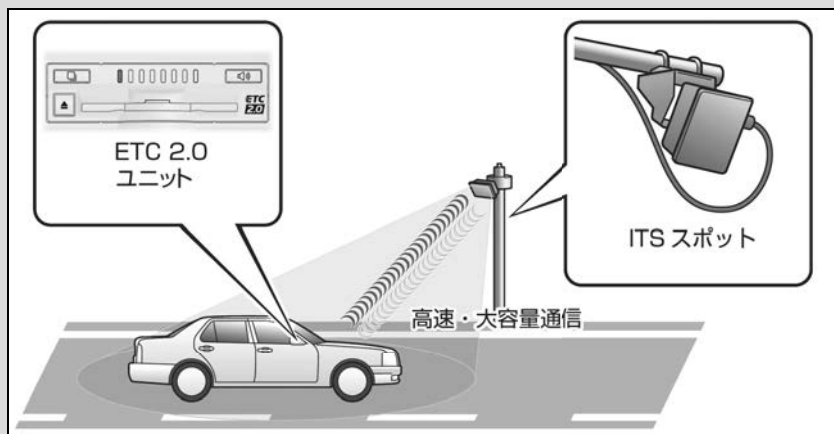
ETC サービスについて	212
ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの操作	217
ETC/ETC2.0 画面の操作	227
エラーコードについて	232
道路事業者からのお願い	235
お問合せ先一覧	241

ETC2.0 サービスについて※

※ ETC2.0 ユニット (ビルトイン) ナビキット連動タイプ (光ビーコン機能付) 装着車

高速道路を中心に設置された「ITS スポット」と車に搭載された「ETC2.0 ユニット」との間で双方向の高速・大容量通信を行うことにより、広域な道路交通情報や安全運転を支援する情報を、音声や画面への表示でリアルタイムに提供するサービスです。

- ITS スポット
DSRC 通信を利用し、ETC2.0 サービスが行われる場所を「ITS スポット」と呼びます。
- DSRC (Dedicated Short Range Communication : スポット通信)
これまで ETC に用いられてきた通信方式で、高速で大容量の情報を送受信することが可能です。



提供サービス

ETC2.0 サービスでは、次のサービスが提供されます。

提供サービス	対応サービス
ETC	自動料金支払い機能 (→P.212)
道路交通情報	前方状況情報提供 (音声、図形表示、画像表示) (→P.42)
	施設情報提供 (→P.42)
	長文 (ハイウェイラジオ情報等) の読上げ (→P.42)
	渋滞、規制情報提供 (地図表示・案内) (→P.35)
安全運転支援情報	前方障害物情報提供 (音声、図形表示) (→P.41)
ETC/ETC2.0 割引	平日朝夕割引、休日割引、深夜割引、外環道迂回割引
	ETC2.0 割引

※ VICS サービス (FM 多重放送、光ビーコン) については、「VICS・交通情報を使う」(→P.35) を参照してください。

⚠ 注意

- ETC/ETC2.0 割引の対応サービスは、2019年9月現在のものです。詳しい割引サービス情報やその適用条件は、各道路事業者の HP 情報等でご確認ください。
- ETC2.0 ユニット (VICS 機能付) は、今後のシステム変更や上記以外のサービスに対応できない場合があります。また、ITS スポットから提供される通信データが予告なく停止しサービスが受けられない場合があります。あらかじめご了承ください。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

ETC サービスについて ※

※ ETC 車載器（ビルトイン）ナビキット連動タイプ装着車／ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ（光ビーコン機能付）装着車

ETC (Electronic Toll Collection) サービスは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

路側無線装置と車両の ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットとの間で通信を行い、料金はお客様が登録された ETC カードの引き落とし口座から後日引き落とされます。

ETC を利用する前に

- ETC車載器及びETC2.0 ユニットのセットアップ手続きが完了しているかを確認をしてください。
- 「道路事業者からのお願い」（→P.235）をよくお読みください。特に、次の点に注意してください。

知識

- お車のナンバープレートが変更になった場合、お車をけん引可能な車両に改造した場合、再度 ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットのセットアップ手続きが必要になりますので、トヨタ販売店にご相談ください。

警告

- 安全のため、運転者は走行中に ETC カードの抜き差しや、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの操作を極力しないください。
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

⚠ 注意

- ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットを用いたサービスには、様々な制約があります。
サービス提供者が案内する利用方法をご確認ください。
- 路側無線装置との通信の妨げにならないよう、ETC アンテナの上方には物を置かないでください。
- ETC アンテナの近くに電波を発する電子機器を設置しないでください。電波干渉により、無線通信が正常に行われず、開閉バーが開かない、料金決済サービスが正しく受けられない等の原因となる可能性があります。
<干渉の可能性がある主な機器>
・ Wi-Fi[®] を搭載した機器（モバイルルータ、携帯電話等）
・ トヨタ純正品以外の無線機器
<干渉が発生した場合の対処>
・ ETC アンテナからできるだけ距離を離し設置するか、干渉する機器を取り外して下さい。
・ Wi-Fi[®] を搭載した機器は、2.4GHz ワイヤレスネットワークを選択して下さい。（可能であれば）
- フロントガラスのよごれや積雪がひどい場合は、それらを取り除いてください。
- 車両 1 台に対して複数の ETC 車載器又は ETC2.0 ユニットを取りつけると、ゲートの開閉バーが開かないことがあります。

■ ETC カードを挿入する前

⚠ 注意

- ETC カードに記載された有効期限を、あらかじめ確認してください。ETC カードの有効期限が切れていると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- セロハンテープ・シールなどが貼ってある ETC カードは使用しないでください。
- ETC カード接点に汚れが付着していないかを確認してください。汚れが付着していると、エラーが発生したり、開閉バーが開かなくなる恐れがあります。
ETC カードは汚れの付きにくい場所に保管するとともに、ETC 接点部を定期的にクリーニングしてください。（→P.218）

■ ETC カードを挿入した後

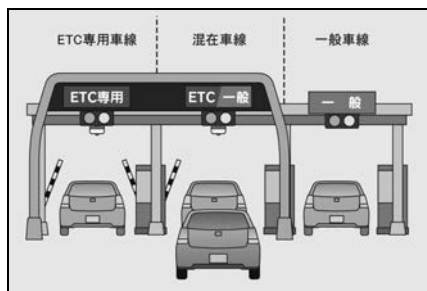
⚠ 注意

- ETC を利用する際は、あらかじめ ETC カードが確実に ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットに挿入されていることと、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットが正常に作動していることを確認してください。
- ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットが ETC カードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所手前で ETC カードを挿入すると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC ゲート手前、ETC ゲート、高速道路を走行中、ETC カードを抜いたり挿したりしないでください。ETC カード内のデータが破損したり、正しく料金清算が行われなくなる恐れがあります。

■ 料金所を通過するときは

ETC 料金所には、料金支払い方法に応じて、ETC 専用車線、混在車線、一般車線（一般レーン）があります。

ETC を利用する場合は、ETC 専用車線、混在車線に進入してください。ただし、高速道路利用中、カード書込みエラー通知などあった場合は、一般車線（一般レーン）もしくは、混在車線を利用してください。



⚠ 注意

- ETC 車線（「ETC 専用」又は「ETC / 一般」）の進入は、十分な車間距離をとり、約 20km/h 以下の安全な速度で進入してください。
- ETC 車線を通行するときは、前車との車間距離を保持した上で、開閉バーの手前で安全に停止できるように十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認してから通行してください。
- ETC 車線で、開閉バーが開かない等の理由で停止された場合には、危険ですので絶対に車をバックさせないでください。

■ スマート IC について

⚠ 注意

- スマート IC は、ETC 専用インターチェンジです。
- 車が停止した状態で通信のやりとりが行われ、開閉バーが開くシステムとなっておりますので、必ず開閉バーの手前で一旦停止してください。

■ 車載器管理番号について



注意

- 車載器管理番号は、ETC の各種登録型サービスを受ける場合にあって必要な番号です。『セットアップ申込書・証明書（お客様保存用）』を大切に保管していただくとともに、車載器管理番号を別に記録し、保管するようにしてください。

車載器管理番号シール

車載器管理番号シールを貼って大切に保管してください。

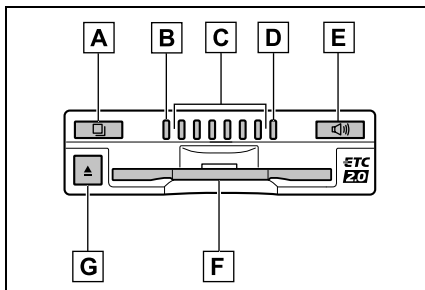
■ 商標について

-  は、一般財団法人 ITS サービス高度化機構（ITS-TEA）の登録商標です。
-  は、一般財団法人 ITS サービス高度化機構（ITS-TEA）の登録商標です。
-  は、一般財団法人 ITS サービス高度化機構（ITS-TEA）の登録商標です。
-  は、国土交通省道路局の登録商標です。

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの操作

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットについて

エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ACC または ON にすると、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの電源が入ります。



- A** 利用履歴確認スイッチ
- B** 緑ランプ
- C** スピーカー部
- D** 橙ランプ
- E** 音量調整スイッチ
- F** ETC カード挿入口
- G** イジェクトスイッチ

知識

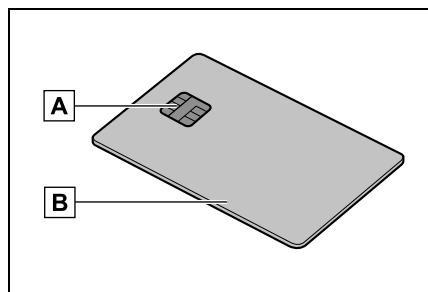
- ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットは電波法の基準に適合しています。製品上の記載を削除しないでください。また、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

注意

- ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの内部に異物などを入れないでください。ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットが故障するおそれがあります。
- ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットに衝撃を与えないでください。ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットが、故障・破損するおそれがあります。
- 濡れた手で ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットに触れたり、水（液体など）を付着させないでください。ETC 車載器及び ETC2.0 ユニット内部に水が入り、故障・破損するおそれがあります。また、付着した液体の成分によっては、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットが変形・変色・故障する場合があります。
- よごれたときは、柔らかい乾いた布でよごれをふき取ってください。ワックス、シンナー、アルコールなどの薬品は絶対に使用しないでください。ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットが変形・変色・故障する場合があります。

ETC カードについて

ETC カードはお客様にて、別途お申し込みが必要です。



A 金属端子（IC チップ）

B ETC カード

⚠ 注意

- ETC カードの取り扱いについては、ETC カード発行会社の提示する注意事項にしたがってください。
- ETCカードには有効期限があります。有効期限内の ETC カードをご利用ください。
- 変形、または破損した ETC カードは使用しないでください。
- ETC カードの金属接点部に手で触ったり汚れた財布などに保管しないでください。
- 金属端子（IC チップ）が汚れている ETC カードは使用しないでください。

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニット内部のカード接点のクリーニング※

※ クリーニングカードはお車に付帯されておりません。

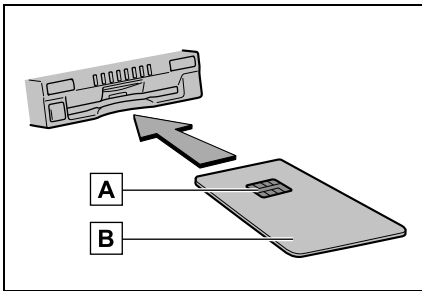
ETC カードの金属端子部はきれいに見えても手の脂や化粧品等で汚れている場合があります。このようなカードを使い続けると、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニット内部のカード接点に汚れが転写、堆積する場合があります、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットで ETC カードを認証できずエラーが発生したり、ETC ゲートの開閉バーが開かなくなるおそれがあります。そのため、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニット内部のカード接点部をきれいに保つ必要がありますので、定期的にクリーニングカードでの清掃をおすすめします。以下のような症状がでた場合には、クリーニングカードでの ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの清掃と、きれいで乾いた柔らかい布での ETC カードの金属端子部の清掃を実施してください。

クリーニングカードでの清掃について、詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

- クリーニングカード使用通知（→P.222）の案内があった場合
- ETC カード挿入時に認証エラーがでた場合
- ETC ゲートの出口で開閉バーが開かなかった場合
- 他車両のユニットでカード認証できて自車両のユニットで認証エラーが発生する場合

ETC カードを挿入する

- 1 エンジン<ハイブリッドシステム>を始動する。
- ETC車載器及びETC2.0 ユニットの電源が入り、緑ランプと橙ランプが同時に点灯し、しばらくすると消灯します。
- 2 図のように正しい挿入方向で、ETC カードを ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットにしっかり差し込む。



A 金属端子 (IC チップ)

B ETC カード

- 「ピッ」とブザー音出力され、緑ランプが点滅します。
- 3 ETC カードが認証される。
- ▶ 正しく認証された場合
- 音声案内
 - ・ ETC カード有効期限が翌月以降のとき「ポーン ETC カードが挿入されました」
 - ・ ETC カード有効期限が当月のとき「ポーン ETC カードの有効期限は今月末です カードをお確かめください」
- 画面表示
 - ・ ETC カード有効期限が翌月以降のとき「ETC カードが挿入されました」
 - ・ ETC カード有効期限が当月のとき「ETC カードの有効期限は今月末です カードをお確かめください」

- ETC車載器及びETC2.0 ユニット緑ランプが点灯したまま。

▶ 正しく認証されなかった場合

- 橙ランプが点滅し、エラー発話と統一エラーコードが画面に表示されます。(→P.232)
 いったん ETC カードを抜き、挿入方向を確認して再度差し込んでみてください。それでもエラーコードが通知された場合は、「統一エラーコード一覧」の対処方法にしてください。対処を実施してもエラーが続くときは、トヨタ販売店に相談をしてください。

知識

- エンジン<ハイブリッドシステム>始動前に ETC カードが挿入されている場合、[ETC カード有効期限が翌月以降のとき]の音声案内と画面表示はされません。
- エンジン<ハイブリッドシステム>始動直後に ETC カードを挿入すると、[ETC カード有効期限が当月のとき]の音声案内および画面表示が遅れて通知されることがあります。
- ETC カード有効期限が当月のときの通知する／しないの設定は通知設定画面の ETC カード有効期限切れ事前通知で行えます。(→P.231)
- 橙ランプが点灯しているときは、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットのセットアップ手続きができていないので使用できません。

 注意

- 緑ランプが点灯した場合でも、解約済み、または有効期限が切れている、またはカード会社が使用無効とした ETC カードを使用した場合、ETC 車線に設置されている開閉バーが開かないことがあります。
- 料金所のカードリーダーでは正しく認証されないのに緑ランプが点灯する場合がありますが、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの故障ではありません。このような時は、カード会社にカードの再発行を申し出てください。
- ETC カードの有効期限案内は、補助手段として使用してください。ETC を使用する前は、ETC カードに記載されている有効期限を確認してください。
- ETC カードはエンジン<ハイブリッドシステム>始動後に挿入してください。エンジン<ハイブリッドシステム>始動前に挿入されていると ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。
- 緑ランプが点滅中は ETC カードを抜かないでください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

有効期限切れ通知について

ETC カードを挿入したとき、または ETC カード挿入状態でエンジンスイッチ<パワースイッチ>を ACC または ON にすると、次のように有効期限切れ通知が行われます。

音声案内

「ポーン ETC カードの有効期限が切れています」

画面表示

「ETC カードの有効期限が切れています」

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニット

ランプ表示：緑ランプが点灯したまま

 知識

- エンジン<ハイブリッドシステム>始動直後に ETC カードを挿入すると、音声案内および画面表示が遅れて通知されることがあります。
- 有効期限切れ通知は、通知設定画面(→P.231)で ETC 音声案内や ETC 割込表示を「しない」にした場合でも、音声案内と画面表示が行われます。

 注意

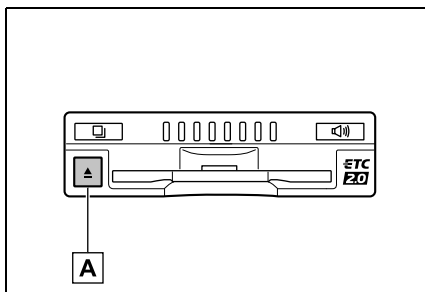
- GPS の受信状態により、ごく稀に誤って有効期限切れ通知をすることがありますが、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの故障ではありません。誤った通知が継続する場合は、トヨタ販売店で点検を受けて相談してください。

⚠ 注意

- ナビゲーションシステムを 12V バッテリーターミナルから脱着したあとに起動した場合、GPS 情報受信後、数分間は有効期限切れ通知されないことがあります。(→P.143)

ETC カードを抜く

- 1 車を停車し、エンジン<ハイブリッドシステム>を停止させる前に ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットのイジェクトスイッチを押す。



A イジェクトスイッチ

- ETC カードを抜く前に、エンジン<ハイブリッドシステム>を停止すると、カード抜き忘れをお知らせする音声案内が、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットより出力されます。(→P.221)
- 2 ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットから ETC カードを抜く。

□ 知識

- ETC カードを放置してお車から離れないでください。ETC カードが盗難に合うおそれがあります。
- ETC 通信時にカード書き込みエラーが発生していた場合、書き込みエラー通知が ETC 車載器及び ETC2.0 ユニッ

トから出力されることがあります。
(→P.222)

⚠ 注意

- ETC カードを放置してお車から離れないでください。車内の温度上昇により、ETC カードが変形したり、ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。
- ETC カードが取り出せなくなった場合。無理に取り出さず、トヨタ販売店にお問い合わせください。

■ カード抜き忘れ警告について

ETC カードを抜く前に、エンジン<ハイブリッドシステム>を停止すると、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットから「ピーッ、カードが残っています」と音声が出力されます。

□ 知識

- 警告通知 ON/OFF の切り替え設定は、車を停車し、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットに ETC カードが挿入され、緑ランプが点灯している状態で、利用履歴確認スイッチと音量調整スイッチを同時に約 2 秒間押し続けます。操作をするごとに ON/OFF が切り替わり (ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットから「ピッ」もしくは「ピッピッ」と音がします)、以後選択した設定が保持されます。
- ON/OFF の切り替え設定後、設定内容が音声にて通知されます。
- カード抜き忘れ警告のする／しないの設定は ETC/ETC2.0 の設定・編集画面 (→P.231) でも行えます。
- エンジン<ハイブリッドシステム>を停止したときに、クリーニングカード使用通知 (→P.222)、またはカード書

込みエラー通知 (→P.222) があった場合には、カード抜き忘れ警告の音声は出力されません。

■ クリーニングカード使用通知について

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニット内部のカード接点部が汚れている可能性があった場合、エンジン<ハイブリッドシステム>を停止すると、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットから「ピピピッ、ETC のカード接点部が汚れている可能性があります。クリーニングカードを使用してください。」と音声が出力されます。

知識

- この通知があった場合、クリーニングを実施してください。(→P.218)
- この通知は、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの故障を知らせる案内ではありません。クリーニング実施後、エラー通知が無ければ、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの交換せずご利用が可能です。エラー通知が継続するような場合には、トヨタ販売店に相談をしてください。

■ カード書き込みエラー通知について

ETC カードへのデータ書き込みエラーがあった場合、カードを抜くか、または、エンジン<ハイブリッドシステム>を停止すると、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットから「ピーッ、ETC 利用時にカードに書き込みできませんでした。高速道路をご利用中の方は、一般レーンを走行してください。コード 11。」と音声が出力されます。

知識

- 高速道路を降りた後にカード書き込みエラーを通知した場合、その後の ETC ゲートでは正常にご利用できます。
- ETC 車載器及び ETC2.0 ユニット内部のカード接点部が汚れている可能性があるため、高速道路をご利用後、クリーニングを実施してください。(→P.218)
- この通知は、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの故障を知らせる案内ではありません。クリーニング実施後、エラー通知が無ければ、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの交換せずご利用が可能です。エラー通知が継続するような場合には、トヨタ販売店に相談をしてください。

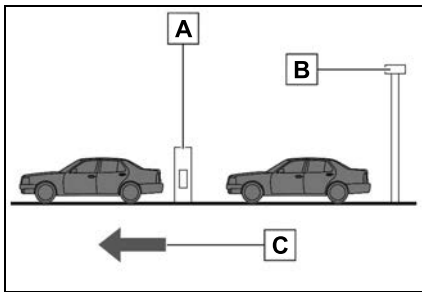
注意

- 高速道路をご利用中の場合は、出口料金所での通行料金のお支払いは、係員のいる車線（「一般」又は「ETC/一般」）で、一旦停車して、ETC カードを係員にお渡しください。料金精算機のある車線では、「係員呼出ボタン」を押して係員を呼び出してください。

車両走行中の ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットのランプ表示と音声案内について

走行中は、次のように ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットのランプ表示と通知が行われます。ただし、運転者は走行中にランプ表示を見ないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ ETC ゲート（入口）、検札所、予告アンテナ、ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過したとき



A 開閉バー

B 予告アンテナ／ETC カード未挿入お知らせアンテナ

C 進行方向

▶ 通信が正常に行われた場合

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニット

ランプ表示：緑ランプ点灯したまま

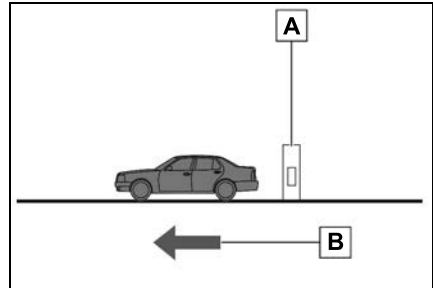
通知音 ※：「ピンポン」

※ ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過したときは通知されません。

▶ 通信が正常に行われなかった場合

橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます。
(→P.232)

■ ETC ゲート（出口／精算用）を通過したとき



A 開閉バー

B 進行方向

▶ 通信が正常に行われた場合

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニット

ランプ表示：緑ランプ点灯したまま

通知音：「ピンポン」

通行料金が画面表示と音声で案内されます。

▶ 通信が正常に行われなかった場合

橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます。
(→P.232)

□ 知識

- 路側無線装置により通信が正常に行われた場合、1 つの ETC ゲートで「ピンポン」音が 2 回通知されることがあります。
- 予告アンテナは、料金所の手前に設置され、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットと通信し、ETC ゲートを利用できるかどうかを運転者にあらかじめ通知するためのアンテナです。
- ETC カード未挿入お知らせアンテナは、料金所の手前に設置され、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットと通信し、ETC カードが挿入されていない場合に、運転者にあらかじめ通知するためのアンテナです。
- 予告アンテナ・ETC カード未挿入お知らせアンテナは、道路側のシステムにより、設置されている場合と設置されていない場合があります。
- 通行料金の画面表示・音声による案内は、割り引きなどにより実際と異なる場合があります。
また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の画面表示・音声による案内は行われない場合があります。

⚠ 注意

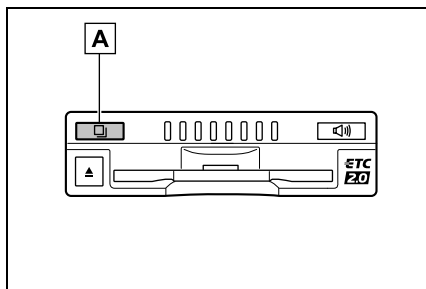
- ETC ゲート通過時は、ETC ゲート付近に表示されている案内にしたがって走行してください。ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットやナビゲーションシステムでは、エラーが案内されない場合があります。

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットでの利用履歴を確認する

有料道路の利用日および通行料金を音声で確認できます。

ETC カードが挿入され、緑ランプが点灯している状態で停車中に利用できます。

1 利用履歴確認スイッチを押す。



A 利用履歴確認スイッチ

- 最新の利用履歴が音声で案内されます。
- 押すごとに、古い利用履歴に切り替わります。なお、最も古い利用履歴の次は、最新の利用履歴に切り替わります。
- 利用履歴発話中は、緑ランプが点滅します。
- 案内終了後、約 1 秒以上たってからスイッチを押した場合は、最新の利用履歴から案内されます。

□ 知識

- 利用履歴は ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。(最大 100 件)
- 利用履歴は消去することができません。ただし、利用履歴の最大記録件数を超えた場合は、最も古い利用履歴が消去されます。
- 利用履歴がない場合は、「利用履歴はあ

りません」と案内されます。

- 利用日の情報が正しくない場合は、「利用日付は不明です」と案内されます。
- 通行料金の情報が正しくない場合は、「料金は不明です」と案内されます。
- 利用履歴は画面でも確認することができます。(→P.229)
- カード接点の汚れ等により料金所情報が ETC カードに書き込みできなかった場合、該当する料金所の料金履歴は案内されません。ただし、該当料金所を無線走行または ETC カードで料金清算された場合は、道路事業者のインターネットサービス (ETC 利用照会サービス) で料金履歴を確認できます。サービス詳細は道路事業者にお問い合わせ下さい。

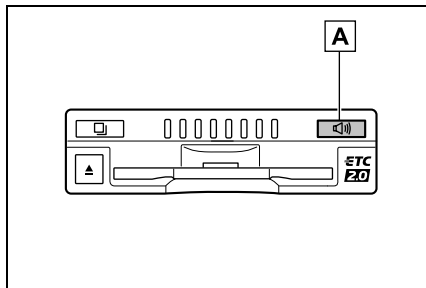
⚠ 注意

- ETC ゲート付近では、利用履歴の確認を行わないでください。路側無線装置と通信ができなくなるなど、ETC 車線に設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの音量を調整する

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットから出力される音声案内の音量を調整することができます。

1 音量調整スイッチを押す。



A 音量調整スイッチ

- 音量は、スイッチを押すごとに音量 0 から音量 4 まで 1 ずつ切り替わり、音量 4 の次は音量 0 になります。
- 音量 1 から音量 4 に調整したときは、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットから「音量〇〇です」と音声案内が出力されます。
- 音量 0 に調整したときは、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットから「音声案内を中止します」と音声案内が出力されます。

□ 知識

- ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの音量調整は以下のような案内に有効です。
 - ・未セットアップ状態の通知
 - ・エラー発生時のブザー音
 - ・カード抜き忘れ警告
 - ・クリーニングカード使用通知
 - ・カード書き込みエラー通知
 - ・ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットでの利用履歴の確認
 - ・ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの音

量調整時の案内

- 音声案内を中止（音量 0）、または音量 1 に設定してあっても、エラー発生時には音量 2 で出力されます。
- ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットが未セットアップ状態（セットアップ手続きをしていない状態）の通知は、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの消音（音量 0）にすると出力されません。

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットでセットアップ情報を確認する

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットでのセットアップ情報を音声で確認できます。

- カード未挿入状態で ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの電源を入れ、緑ランプと橙ランプが点灯中に利用履歴確認スイッチを押し続けると、セットアップ情報通知モードが起動します。
 - セットアップ情報通知モードに入ると、車載器管理番号を通知します。その後、利用履歴確認スイッチを押す毎に、型式登録番号、型式、ETC セットアップカード発行年月日、DSRC セットアップカード発行年月日の順に通知します。DSRC セットアップカード発行年月日の通知の後に利用履歴確認スイッチを押すと、車載器管理番号の通知に戻ります。
 - セットアップ情報通知モード起動後は、以下の操作を行うことによりモード状態を抜け、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットは通常の動作となります。
- ・ ETC カード挿入
 - ・ エンジンスイッチ<パワースイッチ>の操作
 - ・ セットアップ情報通知の発話終了から約 1 分後

ETC/ETC2.0 画面の操作

ETC/ETC2.0 画面を表示する

- 1 “MENU” スイッチを押す。
- 2 “情報” を選択。
- 3 “ETC” または “ETC2.0” を選択。
- 4 ETC/ETC2.0 画面が表示される。



ETC/ETC2.0 メッセージについて

現在の ETC/ETC2.0 システムの状態が表示されます。

メッセージ	状態
ETC カード 確認中	ETC カードを読み込んでいます。
ETC カード 挿入済み	ETC カードが挿入されていることを確認しました。
システム異常	ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットまたは ETC アンテナに何らかの異常が発生しています。
ETC カード 異常	ETC カードを読み込むことができませんでした。
ETC カード 未挿入	ETC カードが挿入されていません。
未セットアップ	ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットがセットアップされていません。
セットアップ 完了	ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットがセットアップされました。

ETC 割込表示について

ETC ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。

ETC カードを ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットに挿入したときの認証状態や、ETC カードの有効期限が切れている、または当月末で切れるときは、表示とともに音声でも案内されます。

知識

- 地図を表示しているときの通行料金案内は、通知設定画面の ETC 割込表示（→P.231）を「しない」に設定しているときでも、画面左上に表示されます。
- 表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。
また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割込表示・音声による案内は行われない場合があります。

ETC/ETC2.0 マーク表示について

ETC カードを挿入すると、画面上部に ETC/ETC2.0 マークが表示されます。

- ▶ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ（光ビーコン機能付）装着車



A ETC2.0 マーク表示

- ▶ ETC 車載器（ビルトイン）ナビキット連動タイプ装着車



A ETC マーク表示

- ETC/ETC2.0 マーク表示はカード挿入状態を表しており、必ずしも ETC ゲートを通過できることを表してはいません。
- ETC カードの有効期限が切れている場合は、ETC/ETC2.0 マークは表示されません。
- ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定を「しない」とした場合、ETC マークが表示されます。

(→P.45) ※

- ナビゲーションシステムを 12V バッテリーターミナルから脱着したあとに起動した場合、GPS 情報受信後、数分間は ETC/ETC2.0 マークが表示されないことがあります。(→P.143)

※ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ（光ビーコン機能付）装着車

履歴を表示する

- 1 ETC/ETC2.0 画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “情報” → “ETC” または “ETC2.0” を順に選択。
- 2 “履歴情報表示” を選択。
- 3 履歴表示を切り替える。
 - “最新”：最新の履歴に戻る
 - “詳細”：利用区間を表示する

知識

- 表示させることができる履歴は、ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。（最大 100 件）
- 道路事業者の設定する料金所情報に追加・変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。
- カード接点の汚れ等により料金所情報が ETC カードに書き込みできなかった場合、該当する料金所の履歴情報は表示されません。ただし、該当料金所を無線走行または ETC カードで料金清算された場合は、道路事業者のインターネットサービス（ETC 利用照会サービス）で料金履歴を確認できます。サービス詳細は道路事業者にお問い合わせ下さい。

注意

- ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができなくなるなど、ETC 車線に設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

統一エラーコードを表示する

最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

- 1 ETC/ETC2.0 画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “情報” → “ETC” または “ETC2.0” を順に選択。
- 2 エラー発生時、“登録情報表示”を選択。

 知識

- 現在のエラーを表示している訳ではありません。各エラーコードの対処方法については、「統一エラーコード一覧」の対処方法にしたがってください。（→P.232）
対処を実施してもエラーが続くときは、トヨタ販売店に相談をしてください。

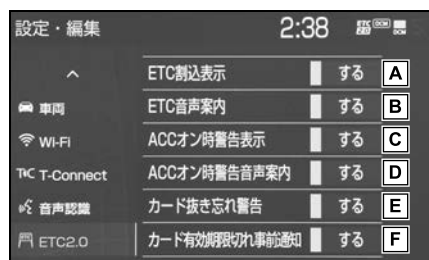
ETC/ETC2.0 登録情報を表示する

お客様の車の ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットに登録された情報が表示されます。

- 1 ETC/ETC2.0 画面を表示する：
 - “MENU” スイッチ → “情報” → “ETC” または “ETC2.0” を順に選択。
- 2 “登録情報表示”を選択。

ETC の通知設定をする

- 1 “MENU” スイッチを押す。
 - 2 “設定・編集” を選択。
 - 3 “ETC” または “ETC2.0” を選択。
 - 4 設定したい項目を選択。
- 選択することにより、する／しないが切り替わります。



- A** 「ETC 割込表示」 (→P.228)
- B** ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットを利用するときに、音声を出力します。
- C** エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF から ACC または ON にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告します。
- D** エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF から ACC または ON にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告します。
- E** ETC カードが挿入されている状態で、エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ACC または ON から OFF にしたとき、カードの抜き忘れを ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットから

の音声で警告します。

- F** ETC カードを挿入したとき、または ETC カード挿入状態でエンジンスイッチ<パワースイッチ>を ACC または ON にすると、ETC カードの有効期限が当月であるときに、画面表示および音声案内します。

知識

- ナビゲーションシステムを 12V バッテリーターミナルから脱着したあとに起動した場合、「ACC オン時警告表示」及び「ACC オン時警告音声案内」の、画面表示と音声案内がされないことがあります。また、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットから音声案内がされることがあります。

⚠ 注意

- ETC カードを更新して新しいものに変更した場合、カード有効期限切れ事前通知を「する」に設定して下さい。通知設定を「しない」のままですと、事前通知がされません。

エラーコードについて

統一エラーコード一覧について

エラーが発生すると、統一エラーコードが画面に表示されます。

この場合は、次の表にもとづき、対処をしてください。

(例) エラー 01 が発生したときは、次のように音声で案内されると同時に、統一エラーコードが画面に表示されます。

音声案内：「ポーン ETC カードが挿入されていません」

画面表示：「ETC カードが挿入されていませんコード [01]」

統一エラーコード	エラー発生タイミング	エラー発生の主な原因	対処方法
01	料金所通過前	ETC カードを挿入していない	安全を確保して ETC カードを正しく入れ直すか、「一般」又は「ETC/一般」車線に進入してください
	●料金所通過時 ●高速道路走行時		●ETC カードを正しく入れ直してください ●料金所では係員の指示に従ってください
02	●ETC カード挿入時 ●利用履歴読出時	ETC カードのデータが読み出せない	●ETC カードを正しく入れ直してください ●カード接点のクリーニングをしてください (→P.218)
03	ETC カード挿入時	●ETC カード以外を挿入した ●挿入する向き（前後表裏）が正しくない ●ETC カードが汚れている	●挿入したカードが ETC カードかを確認ください ●ETC カードを正しい向きで入れてください ●カード接点のクリーニングをしてください (→P.218)
04	エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ACC または ON 時	ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの故障	●エンジン<ハイブリッドシステム>をかけなおす ●トヨタ販売店に相談してください

統一エラーコード	エラー発生タイミング	エラー発生の主な原因	対処方法
05	ETC カード挿入時	● ETC カード以外を挿入した ● ETC カード認証エラー	● 挿入したカードが ETC カードかを確認ください ● ETC カードを正しく入れ直してください ● カード接点のクリーニングをしてください (→P.218)
06	● 料金所通過時 ● 高速道路走行時	ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットと路側無線装置とのデータ処理エラー	料金所の係員の指示に従ってください
07	● 料金所通過時 ● 高速道路走行時	ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットと路側無線装置とのデータ処理エラー	料金所の係員の指示に従ってください
	● エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ACC または ON 時 ● ETC カード挿入時	アンテナの接続が外れている	トヨタ販売店に相談してください
11	料金所通過時	ETC カードにデータの書き込みができない	● 高速道路利用中、カード書込みエラー通知があった時は係員のいる車線に進入してください (→P.222) ● 高速道路を降りた後にカード書込みエラー通知があった時は、その後の ETC ゲートでは正常にご利用できます (→P.222) ● カード接点のクリーニングをしてください (→P.218)

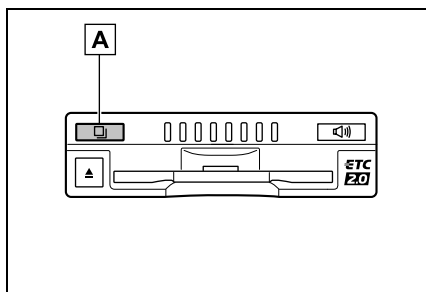
□ 知識

- 以下の設定にした場合は、エラーが発生しても音声案内は出力されません。
ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットからブザー音のみが出力されます。
- ・ ETC/ETC2.0 の設定・編集画面で、ETC 音声案内（→P.231）を「しない」に設定したとき
- ・ ナビゲーションの音量設定画面（→P.89）で、「消音」に設定したとき
- ETC カード未挿入お知らせアンテナなどと通信した際に、統一エラーコード〔01〕と通知されることがありますが、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの故障ではありません。
- ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの無線通信を利用して、駐車場管理システムが運用されています。有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、画面表示・“登録情報表示”で確認できる統一エラーコードが〔01〕もしくは〔07〕と表示されることがありますが、ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの故障ではありません。

記録されている統一エラーコードを確認する

ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットは、最後に発生した統一エラーコードを記録しています。

- 1 ETC カードが挿入されている場合は、ETC カードを抜く。
- 2 利用履歴確認スイッチを約 2 秒以上押す。



A 利用履歴確認スイッチ

- 最後に案内された統一エラーコードが音声で案内されます。
なお、統一エラーコードの確認は、ETC/ETC2.0 画面でも行うことができます。（→P.230）

道路事業者からのお願い

はじめに

必ず、ETC システム利用規程等をお読みください

ETC システム利用規程、同実施細則（以下「利用規程等」という。）、ETC カードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。また、特にエラーや事故の発生原因になり得る重要な事項について、以下に記載しましたので、ETC のご利用前に、利用規程等と併せて必ずお読みください。

乗車前のご注意

専門の取付店で車載器を取り付けてください

車両への車載器の取り付けは、専門の取付店等で確実に行ってください。車載器のアンテナユニット（一体型の場合は車載器本体）は、車両の中心付近に車載器メーカーの推奨する方法で取り付けてください。取り付け位置などが不適切な場合、正常に通信できず開閉バーが開かないことがあります。

車載器メーカーが販売する車載器を分解・改造することは、禁止されています。分解・改造された車載器で ETC 無線走行を行わないようお願いいたします。

※ 車載器の取り付けは、車載器メーカーの示す方法で行ってください。メーカーが示す方法以外（シガーソケット等による簡易取付など）では、利用できません。

※ 分解・改造された車載器は、利用規程等に違反するため、セットアップすることはできません。

※ 二輪車用 ETC 車載器を四輪車に取り付けた場合も、利用規程等に違反するため、セットアップすることはできません。

ETC カードを車載器に確実に挿入し、エラー等がないかの確認を !!

ご乗車時に、ETC カードを車載器へ確実に挿入し、エラー等がないかを確認してご利用ください。ETC カードが確実に挿入されていても、車載器が正しく作動していない場合、開閉バーが開きません。車載器への ETC カードの挿し忘れ、挿し込み不良により、開閉バーが開かないケースが多発しています。

※ ETC カードの挿し込み方向（前後・表裏）にご注意ください。

※ ETC カードを車載器へ挿入し、ETC が利用可能である旨の音声案内等を確認してください。

※ 料金所の手前等に、ETC カードが正常に挿入されていないことをお知らせするアンテナが設置されている箇所があります。ETC カードが正常に挿入されていないことのお知らせがあった場合には、ETC 無線走行はできませんので、一般車線又は「ETC / 一般」と表示している車線（以下、「混在車線」という。）をご利用ください。

※ 何らかの問題がある場合、車載器によっては、音声や画面によってエラーが表示されます。ETC カード挿入の際や、料金所通過の際にはご注意ください。くようお願いいたします。

車載器が ETC カードを認証するまでには数秒かかります。料金所直

前での ETC カードの挿入は、エラーの原因となる場合がありますのでご注意ください。

車載器のアンテナ周辺に物を置いたり、取り付け箇所の変更などをしないでください。正常に通信できず開閉バーが開かない場合があります。

ETC カードの有効期限のご注意

有効期限切れの ETC カードは、ご利用いただけません。車載器によっては、有効期限切れの ETC カードを挿入してもエラー表示がされない場合がありますので、お手持ちの ETC カードに記載された有効期限をあらかじめご確認ください。

ETC カードの保管上のご注意

ETC カードを車載器へ挿入したまま車内に放置すると、カードが高温で変形し、車載器が正常に動作しなくなることがあります。また、ETC カードに強い力を加えることも変形の原因となりますので、取扱いにはご注意ください。

盗難防止の観点から、車両から離れる際は ETC カードを車載器から抜いて、携行していただくことをお勧めします。

なお、SA・PA 等で休憩後、走行を再開される際には、同一の ETC カードを車載器へ確実に挿入してください。入口料金所を通過の際に挿入されていた ETC カードと異なる ETC カードを挿入した場合、出口料金所では開閉バーが開きま

せん。

ETC カードにはデータを読み書きするための金属端子があります。この部分が汚損しますと、ETC 車線通行時、正常に通信ができず開閉バーが開かない可能性がありますので、取扱いにご注意ください。清掃される場合には、市販の IC カードクリーナーをご利用ください。

ETC 車線通行時のご注意

十分な車間距離を取り、20 km/h 以下に減速、徐行してください !!

ETC 車線に設置されている開閉バーは、車載器とアンテナとの間の通信等が正常に行われなかった場合には、開かないことがありますので、ご注意ください。

また、前車に接近して通行しようとしたときにエラーが発生すると、前車通過後、開閉バーが閉まりますので、ご注意ください。

料金所では、案内板などにより ETC 無線走行が利用可能な車線（ETC 専用車線：「ETC 専用」又は混在車線：「ETC / 一般」）であることを確認して、進入してください。

ETC 車線を通行する際は、前車と十分な車間距離をとった上で、開閉バーの手前で安全に停止できるよう十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認して、ご通行ください。

ETC 車線を通行する際は、20 km/h 以下に減速して進入し、徐行して通過していただくようお願い

います。

※ 利用規程等によらないご利用方法により、道路設備に損傷を与えた場合には、復旧に要する費用をご負担していただく場合がありますので、ご注意ください。

入口料金所の ETC 車線で通信エラー等により、通行券を受け取られた場合には、出口料金所での通行料金のお支払いは、係員のいる車線（一般車線又は混在車線）で、一旦停車して、ETC カードと通行券を係員にお渡しください。料金精算機のある車線では、「係員呼出ボタン」を押して係員を呼び出してください。

通行料金をお支払いいただく料金所で異常が発生した場合は、係員へお知らせしていただき、係員の案内に従ってください。

入口料金所を ETC で通行した場合で、出口料金所で ETC 車線がご利用できない場合又は設置されていない場合は、一旦停車して ETC カードを係員にお渡しください。なお、料金所の無い出口の場合は、入口で使用した ETC カードを抜かずにそのままご通行ください。

機器の点検等により、ETC 車線を閉鎖する場合がございます。通行料金をお支払いいただく料金所では、係員のいる車線（一般車線又は混在車線）でも ETC カードでお支払いいただくことができ、車載器が適正に取り付けられていることをご確認させていただいたうえで各種割引等もご利用いただけます。

有料道路への進入から退出までは、同一の ETC カードを継続してご使

用ください。料金所以外にも ETC アンテナが設置されている箇所があり、走行中、ETC カードには通行料金の計算に必要な情報が随時記録されます。途中で ETC カードを入れ替えたりむやみに抜き差しされますと、正しく通行料金が計算されない場合やエラーを引き起こす場合がありますのでご注意ください。

入口料金所で ETC が正常に通信できなかった場合（入口料金所通過直後の車載器のエラー音あるいは音声案内にご注意ください）は、出口料金所では、係員のいる車線（一般車線又は混在車線）で一旦停車し、係員にお申し出ください。料金精算機のある車線では、「係員呼出ボタン」を押して係員を呼び出してください。

なお、料金所の無い出口の場合は、ご走行後、当該道路を管理する道路事業者にお申し出ください。

スマート IC をご利用の場合は、次の事項にご注意ください

スマート IC は、ETC 専用インターチェンジです。所定の方法で車両に取り付け・セットアップされた車載器に、有効な ETC カードを確実に挿入し、ETC システムをご利用可能な場合に通行することができます。

営業時間、出入方向及び対象車種等に制約がある場合がありますので、ご注意ください。

スマート IC では、その他の料金所の ETC システムとは異なり、車両が停止した状態で通信のやりとりが行われ、開閉バーが開くシステ

ムとなっておりますので、必ず開閉バーの手前の停止線で一旦停止してください。停止位置が適切でない場合、通信できない場合があります。

なお、一旦停止してもバーが開かない場合には、車線に設置されたインターホン等で係員に連絡し、係員の案内に従ってください。

通行止めなどを実施した場合や道路を管理するうえで必要な場合、やむを得ず、予告なく出入口を閉鎖することがあります。この場合、通行可能な最寄りの IC をご利用ください。

退出路が設置されているスマート IC においては、エラー等で正常に ETC 通信ができない場合、直進せずに退出路へお進みいただくことが可能です。標識や路側表示をよくご確認の上、注意して走行いただきますようお願いいたします。

もしも、開閉バーが開かなかったら ……

ETC 車線では、絶対に車をバックさせないで !!

ETC 車線で、開閉バーが開かなかった場合、危険ですので絶対に車をバックさせず、ハザードランプを点灯して停止し、係員の案内に従って下さい。

高速道路上でのバックは後続車との接触事故の危険性が高く、重大事故に繋がります。

※ バックして他の車線に入りなおすことは、お客さま及び後続車のエラー発生の原因となります。

ETC カードを挿入せずに（又は通信できなかった状態で）ETC 車線を通過してしまったときは、速やかに道路事業者にご連絡を !!

うっかり ETC カードを車載器に挿し忘れて ETC 車線を通過された場合などは、速やかに、当該道路を管理する道路事業者にご通行の状況を連絡してください。

車載器の再セットアップ

車両ナンバー変更時（車載器付きの中古車購入等）、車載器の移し替え時は再セットアップを!!

車載器付きの中古車を購入又は譲渡を受ける場合・住所変更等により車両のナンバープレートが変更になる場合・車載器を他の車両に移す場合・けん引ができる構造に変更する場合などは、再度のセットアップ（車載器への車両情報の登録）が必要となります。再度、車載器をセットアップする場合は、車載器をお買い求めになった販売店又は最寄りのセットアップ店にご相談ください。

※「普通車→普通車」、「軽自動車→軽自動車」等の同じ料金設定車種の車両に移す場合においても再セットアップが必要です。

正しくセットアップ及び再セットアップを行っていない場合

- 正しい ETC のご利用とならず、開閉バーが開かない可能性があります。
- 正しい通行料金が請求されない場合があります。
- ETC 利用照会サービスなど、一部の ETC サービスがご利用いただけません。
- 各種 ETC 割引等が適用されない場合があります。

車載器管理番号に関するお願い

車載器管理番号は、ETC の各種登録型サービスのために必要な番号です。

車載器管理番号は、お持ちの車載器又は車載器のパッケージに記載されている 19桁の固有の番号で、ETC の各種登録型サービスを受ける場合又は今後の新たなサービスを受けるにあたって必要な番号です。「ETC 車載器セットアップ申込書・証明書（お客さま保存用）」を大切に保管していただくとともに、車載器管理番号を別に記録し、保管するようにしてください。

障害者割引制度における ETC 利用について

ETC 無線走行で障害者割引の適用を受けるには、事前に市区町村の福祉担当窓口での手続きと、併せて有料道路事業者が設置する窓口への登録が必要になります。両方の手続きがなされていない場合、ETC 無線走行での障害者割引が適用されません。

事前に登録された ETC カードを、登録された車載器（手帳に記載された車両に取り付けられ、当該車両でセットアップ作業を行ったもの）に挿入し、ETC 車線を無線通行した場合のみ割引が適用されます。

※ 既に ETC 無線走行以外のお支払いでの障害者割引適用の手続きをしている場合でも、改めて同様の手続きと登録を行う必要があります。

※ 通行料金の請求を受ける料金所で ETC

車線が閉鎖されている場合は、係員のいる車線（一般車線又は混在車線）で、一旦停車して係員に ETC カードを渡し、身体障害者手帳又は療育手帳を呈示して確認を受けてください。料金精算機のある車線では、「障がい者用係員呼出ボタン（レバー）」を操作して係員を呼び出してください。

- ※ ETC 無線走行で障害者割引の適用を受けようとする場合でも、必ず身体障害者手帳又は療育手帳を携行してください。（ETC 車線が閉鎖されている場合で、上記手帳をご呈示いただけない場合は、割引が適用できません。）
- ※ 障害者割引には有効期限があります。ご利用の前に有効期限を確認してください。なお、有効期限の更新手続きは市区町村の福祉担当窓口で行ってください。
- ※ 登録済の ETC カード、車載器、車両を変更される場合は、ETC のご利用前に市区町村の福祉担当窓口で変更手続きを行ってください。

お問合せ先一覧

ETC のご利用に関して

■ 東日本高速道路株式会社

NEXCO 東日本お客さまセンター 0570-024-024

または 03-5308-2424

受付時間：24 時間（年中無休）

■ 中日本高速道路株式会社

NEXCO 中日本お客さまセンター 0120-922-229

（フリーダイヤルがご利用できないお客さまは 052-223-0333）

受付時間：24 時間（年中無休）

■ 西日本高速道路株式会社

NEXCO 西日本お客さまセンター 0120-924-863

（フリーダイヤルがご利用できないお客さまは 06-6876-9031）

受付時間：24 時間（年中無休）

■ 本州四国連絡高速道路株式会社

本四高速お客さま窓口 078-291-1033

受付時間：9：00 ～ 17：30（年中無休）

■ 首都高速道路株式会社

首都高お客さまセンター 03-6667-5855

受付時間：24 時間（年中無休）

■ 阪神高速道路株式会社

阪神高速お客さまセンター 06-6576-1484

受付時間：24 時間（年中無休）

ETC カード及び請求金額に関して

お手持ちの ETC カード発行元にご確認ください。

車載器に関して

車載器の購入先、又は取扱説明書に記載されている連絡先にお問合せください。

セットアップに関して

一般財団法人 ITS サービス高度化機構 (ITS-TEA)

ETC お問い合わせ窓口 03-5216-3856

受付時間：月～金 9：00 ～ 18：00（土日・祝日・年末年始を除く）

5-1. 参考情報

アフターサービスについて **244**

お手入れについて **244**

アフターサービスについて

保証について

故障したときの保証や、アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げのトヨタ販売店にお問い合わせください。

お手入れについて

本機のお手入れ

- 汚れをおとす場合、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布をお使いください。汚れがひどい場合、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、柔らかく乾いた布でしあげます。タッチパネルおよび操作スイッチ（画面外）は傷がつきやすいのでご注意ください。化学ぞうきんをご使用の場合、その注意書にしたがってください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れ

- フィルムアンテナおよびケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの揮発性のある薬品でふかないでください。表面処理を傷める原因となります。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下することがあります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

さくいん



五十音順さくいん **246**

アルファベット順さくいん **250**

五十音順さくいん

あ

暗証番号	204
安全・快適走行の設定	130
安全・快適走行設定画面を表示する ...	130

う

迂回	101, 107
----------	----------

え

エージェントを利用する	187
-------------------	-----

お

オペレーターサービス	184
音声操作システム	156
音声認識画面	158
音声認識画面について	158
音声認識コマンド一覧	160
音声認識システム	156
音声認識を操作する	159
音声認識の設定をする	165
音声認識を利用する	158
オンライン詳細設定	207
オンライン詳細設定を変更する	205
サポートアドレスを確認・変更する ...	207

く

クリーニングカードについて	218
---------------------	-----

け

契約内容・契約者情報の確認・変更	206
現在地の修正	127
検索した地図の操作	68
住所で絞り込む	70
提携駐車場を検索する	70
ピンポイント検索について	68
検索した地図を操作する	
施設の内容を表示する	69
地図の位置を変更する	69

こ

交通ナビ関連情報について	57
交通ナビ関連情報を表示する	57

さ

先読みエコドライブ	141
先読み減速支援	141
先読み SOC 制御	142

し

自転車位置マークがずれているとき ...	127
自宅を登録する	14
自宅を登録する	14
自宅を目的地に設定する	14
渋滞予測情報を表示する	192

せ

設定・編集	231
設定・編集 (T-Connect)	201
設定・編集 (音声認識)	165
設定・編集 (ナビ)	113
全ルート図表示について	
全ルート表示画面	76

そ

走行軌跡 27

ち

地図画面について 15

地図画面の見方 15

地図画面を操作する 12

地図に現在の車の位置を表示する 12

地図を動かす 12

地図を拡大／縮小する 12

地図更新 178

地図データ情報 146

地図データについて 146

地図データの更新について 147

地図データベースについて 147

データベースの情報を見る 146

地図の表示 / 設定 18

DSSS (Driving Safety Support Systems) 運転支援機能について 30

現在の車の位置を表示する 18

高速分岐案内表示について 34

市街図を表示する 20

施設記号を表示する 24

施設の情報を表示する 23

走行した経路を表示する (走行軌跡) 27

近くの施設を検索する 25

地図記号・地図表示について 27

地図のスケール (縮尺) を切り替える 19

地図のスケール表示について 19

地図の向きについて 20

地図の向きを切り替える 21

地図を動かす 22

ハイウェイモードについて 32

表示変更画面 22

立体ランドマーク施設情報を表示する 26

つ

通信設定 201

て

T ルート探索 (プローブ情報付) 182

と

到着予想時刻 85

道路事業者からのお願い 235

な

ナビゲーションについて 10

知っておいていただきたいこと 10

ナビゲーション用アンテナ (GPS アンテナ) について 11

ナビゲーションの設定 113

案内表示設定をする 117

音声設定をする 120

自動表示切替を設定する 117

その他の設定をする 125

地図表示設定をする 113

ナビの詳細設定画面を表示する 113

ルート系設定をする 122

ナビ設定を記憶する 128

ナビ設定を呼び出す 129

ナビの設定を記憶して使う (ユーザーカスタマイズ) 128

に

2 画面表示 26

は

ハイブリッドナビ 181

ふ

プライバシー設定	202
通信ロックを使う	203
プライバシー設定を変更する	202

ま

マップオンデマンド（地図差分更新）	174
故障とお考えになる前に	180
地図を更新する	178
マップコード	67

め

メモリ地点を登録する	102
迂回メモリを登録する	107
自宅を登録する	102
特別メモリを修正する	104
特別メモリを消去する	105
特別メモリを登録する	104
メモリ地点登録・編集画面を表示する	102
メモリ地点の情報を修正する	109
メモリ地点をグループで絞り込む	112
メモリ地点を修正する	106
メモリ地点を消去する	107
メモリ地点を登録する	105

も

目的地案内の開始 / 中止	80
目的地案内を開始する	80
目的地案内を中止する	80
目的地の検索	59
施設で検索する	67
ジャンルで検索する	64
住所で検索する	66
電話番号で検索する	65
マップコードで検索する	67
目的地検索画面	59
目的地検索画面を表示する	59
読みまたは名称で検索する	61
履歴で検索する	68
目的地を設定してルート探索	71
自宅を目的地に設定する	74
地図画面から目的地を設定する	73
特別メモリ地点を目的地に設定する	74
メモリ地点を目的地に設定する	75
目的地検索画面から目的地を設定する	72
目的地候補情報から目的地を設定する	72

る

ルート案内について	81
案内画面について	81
音声案内について	87
音声案内の音量を設定する	89
全ルート図を表示する	86
到着予想時刻・残距離表示を切り替える	86
到着予想時刻について	85
料金案内について	85
ルート案内をする	13
目的地を決める	13
目的地を消去する	13
ルート案内を中止する	13
ルートの再探索	90
ルートの再探索方法を選ぶ	90
ルートを自動で再探索する	90
ルートを変更する	92
季節規制区間の迂回ルートを探索する	101
探索条件を変更する	93
通過する道路を設定する	98
出入り口 IC（インターチェンジ）を指定する	97
目的地の順番を並び替える	95
目的地を消去する	95
目的地を追加する	94
ルート変更画面を表示する	92
ルート変更画面	93

アルファベット順さくいん

D

DSSS (Driving Safety Support Systems)	30
---	----

E

ESPO.....	208
ETC2.0 画面の操作.....	227
ETC2.0 画面の表示	227
ETC2.0 登録情報の表示.....	230
ETC2.0 マーク表示	228
ETC2.0 メッセージ	227
ETC の通知設定	231
ETC 割込表示	228
統一エラーコードの表示	230, 232
履歴表示	229
ETC2.0 サービスについて	210
ETC2.0 システム.....	210
ETC サービスについて	212
ETC を利用する前に.....	212
ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットの操作.....	217
ETC カードについて.....	218
ETC カードを挿入する.....	219
ETC カードを抜く	221
ETC 車載器及び ETC2.0 ユニットについて	217
音量調整	225
クリーニングカードについて	218
セットアップ情報の確認	226
表示と音声案内.....	223
有効期限切れ通知.....	220
利用履歴の確認.....	224

G

GPS について.....	143
GPS 情報について	143
自車位置マークがずれているとき	145
ナビの精度について	143
G メモリ地点.....	196
G メモリ地点情報	
G メモリ地点情報を表示する	196
G メモリ地点を本機に登録する.....	196

N

NaviCon (スマートフォン連携)	139
--------------------------	-----

P

POWER VOLUME ノブ	172
-----------------------	-----

T

T-Connect Apps を使用する.....	197
T-Connect Viewer.....	170
T-Connect の設定	201
オンライン詳細設定	207
設定・編集画面を表示する.....	201
通信設定	201
プライバシー設定	202
T-Connect トップ画面	169
T-Connect 画面の使い方	169
T-Connect について.....	168
TC 情報マーク	173
TC 情報マークを非表示にする	173
施設の情報を表示する	173

V

VICS・交通情報を使う.....	35
VICS 記号・表示について	55
VICS 図形情報・文字情報を表示する...	39
VICS について	47
VICS 放送局を選択する.....	46
VICS・ETC2.0(ITS スポット)・DSSS の問い合わせ先.....	49
VICS・交通情報について	35
VICS・交通情報の表示設定	37
VICS 記号の内容を表示する	37
VICS センター著作権.....	49
VICS の用語	48
気象・災害情報を表示する	40
緊急情報を表示する	40
知っておいていただきたいこと.....	57
渋滞・規制音声案内について	38
渋滞・規制音声案内を再出力する.....	39
新旧ルートを比較して表示する.....	45
タイムスタンプについて	36
割込情報（ビーコン即時案内）を表示する	41
割込情報の表示設定を変更する.....	43

W

WEB で目的地を検索する	195
---------------------	-----

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

(約款の適用)

第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターと VICS サービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランブラー

FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章 契約

(契約の単位)

第 6 条 当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができます。

(VICS サービスの種類の変更)

第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第 12 条 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、

VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章 料金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章 保守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。

ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第 17 条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

【別表】

視聴料金 330 円（税込み）

ただし、車載機購入価格に含まれております。



YEFM0412793B
2019年 8 月 8 日 初版
2022年12月20日 5 版
ナビゲーション